

成 田 市
市民意識調査

<報告書>

令和5年4月
成 田 市

はじめに

本市では、平成28（2016）年度を初年度とする12年間の「総合計画『NARITAみらいプラン』」のもと、将来都市像として掲げている「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まち なりた」の実現に向けて、「若者や子育て世代に魅力のあるまちづくり」「医療・福祉の充実したまちづくり」「空港と共に発展するまちづくり」という3つの基本姿勢を掲げ、未来を見据えた次世代に誇れるまちづくりを推進しています。

このような中、『NARITAみらいプラン』における第2期基本計画の計画期間が令和5年度をもって終了となりますことから、現在、12年間の集大成となります第3期基本計画を策定しているところであります。

今回の計画策定にあたり、市民の皆様のニーズや普段の行動様式を的確に把握することを目的に、15歳以上の市民5,000名を対象としたアンケート調査を実施いたしました。

調査結果につきましては、本市が持続的に発展していくための各種施策の充実を図る貴重な基礎資料として活用させていただきます。

おわりに、本調査にご協力いただきました皆様に心から御礼を申し上げますとともに、これからのまちづくりにあたりまして、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年4月

成田市長 小泉 一成

目次

<第1部> 調査の概要	1
(1) 調査の目的	3
(2) 調査の実施概要	3
(3) アンケート結果の集計と解析について	3
<第2部> 『市民意識調査』結果	5
1 回答者の属性について	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	8
(3) 居住地区	9
(4) 職業	11
(5) 家族構成	13
(6) 住宅の種類	14
(7) 心配ごとや困っていること	15
(8) 暮らしや生活環境の変化	17
(9) 良くなったところ ～暮らしや生活環境の変化	18
(10) 悪くなったところ ～暮らしや生活環境の変化	20
(11) 成田市の居住状況	22
(12) 成田市に住んでからの年数	23
(13) 成田市への転入前に居住していた地域	25
2 住み心地について	27
(1) 住みごころ	27
(2) 今後の居住希望	29
(3) 住み続けたい理由	31
(4) 市外に移り住みたい理由	33
(5) 成田市への誇りや愛着	35
(6) 成田らしいもの、成田で誇れるもの	36
3 個別施策について	38
【a 住環境について】	38
(1) 災害への備えでしていること	38
(2) 防災まちづくりで重要なこと	40
(3) 犯罪等で不安を感じることに	42
(4) 防犯まちづくりで重要なこと	44
(5) 環境保全で取り組んでいること	46
(6) 自然保護や緑のまちづくりで取り組むべきこと	48

【b 保健・医療・福祉について】	50
(1) 健康のために取り組んでいること	50
(2) 医療サービス向上に必要なこと	52
(3) 障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり	54
(4) 高齢化の進展で力を入れるべきこと	56
(5) 理想の子どもの人数	58
(6) 現在のお子様も含め現状で予定している子どもの人数	59
(7) 子育て支援で力を入れるべきこと	60
【c 教育・文化について】	62
(1) 義務教育で力を入れるべきこと	62
(2) 最近1年間で行った学習やスポーツ	64
(3) スポーツ振興で力を入れるべきこと	66
(4) 最近1年間で観賞した文化芸術	68
(5) 文化芸術振興で力を入れるべきこと	70
【d 空港・都市基盤について】	72
(1) 成田空港が立地するメリット	72
(2) 成田空港の魅力を高め地域で支えるための取り組み	74
(3) 空港を活かしたまちづくりで重要なこと	76
(4) 都市基盤で改善されたと感じるもの	78
(5) 都市基盤の充実に望ましい取り組み	80
【e 産業振興について】	82
(1) 雇用の場の確保	82
(2) 各産業の状況	83
(3) 産業振興で力を入れるべきこと	85
【f 自治体経営について】	87
(1) 成田市に関する情報の入手手段	87
(2) 市政に対する関心度	89
(3) 市政に関心がない理由	90
(4) 協働のまちづくりに必要な取り組み	92
(5) 現在参加している地域活動	94
(6) 日本人と外国人の共生社会	96
【g 成田市の発展方向について】	98
(1) 今後の成田市の方向性	98

<第1部> 調査の概要

「＜第1部＞ 調査の概要」では、本調査の目的や実施方法、調査結果の表記に関する基本事項などを記載しています。

(1) 調査の目的

市民ニーズや市民の普段の行動様式を的確に把握することで、現行の成田市総合計画「NARITA みらいプラン」第2期基本計画の進捗状況を把握し、第3期基本計画の策定に活用することを目的としています。

(2) 調査の実施概要

実施概要は下表のとおりとなります。

○調査対象・抽出方法	成田市に居住する15歳以上の市民5,000名を無作為抽出
○調査方法	市民意識調査票の郵送により配布、回収
○調査期間	令和4年10月中旬 ～11月上旬
○回収結果	回収件数：2,205件 (回収率44.1%)

(3) アンケート結果の集計と解析について

- 図表の数値は回答率を表しています。小数点第一位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 有効回答数が少ない設問については、回答比率が極端な結果となる場合があります。

<第2部> 『市民意識調査』結果

「＜第2部＞『市民意識調査』結果」では、15歳以上の全世代を対象とした意識調査の結果を記載しています。

（表記に関する補足事項）

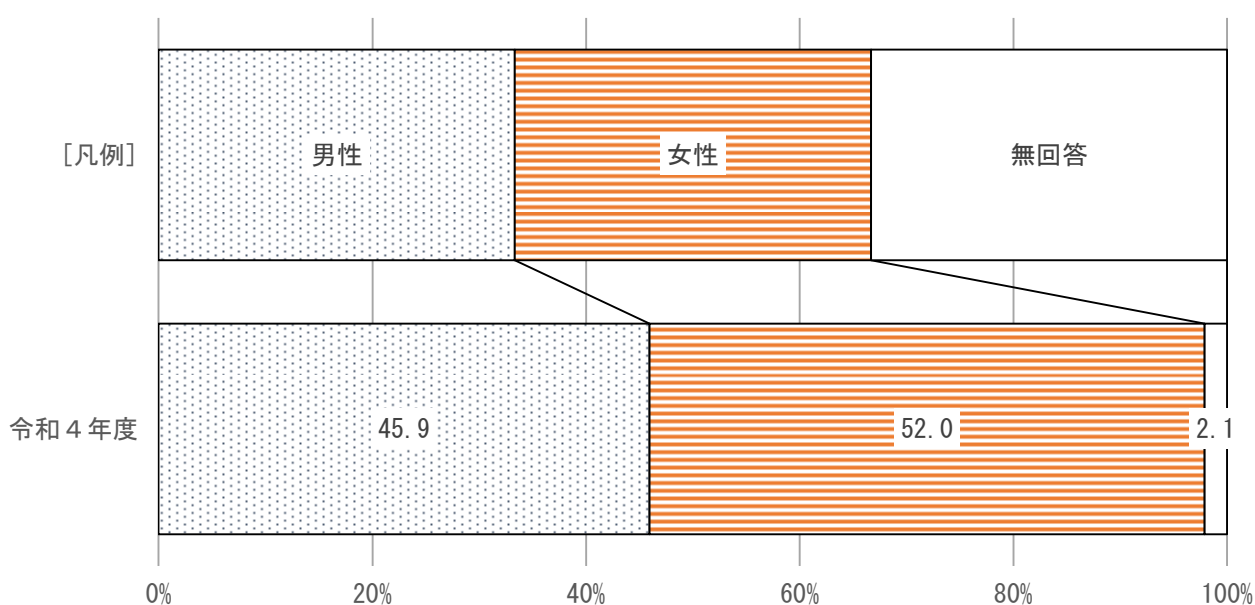
- 過去に実施した同様の調査（前回：平成31年度に5,000名を対象として実施、前々回：平成26年度に10,000名を対象として実施）と同じ設問については、経年比較を行っています。
- 経年比較表記の際、過去の調査において設けていない選択肢は「-」、選択項目の表記が異なる場合は過去の表記を〈カッコ〉書き、現在の調査において設けていない選択項目は（カッコ）書きにて、それぞれ表記しています。

1 回答者の属性について

(1) 性別

問1 あなたの性別と年齢、お住まいのご住所について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ〇で囲んでください。

回答者を性別で見ると、「男性」が45.9%、「女性」が52.0%と、回答者は女性の割合がやや多くなっています。

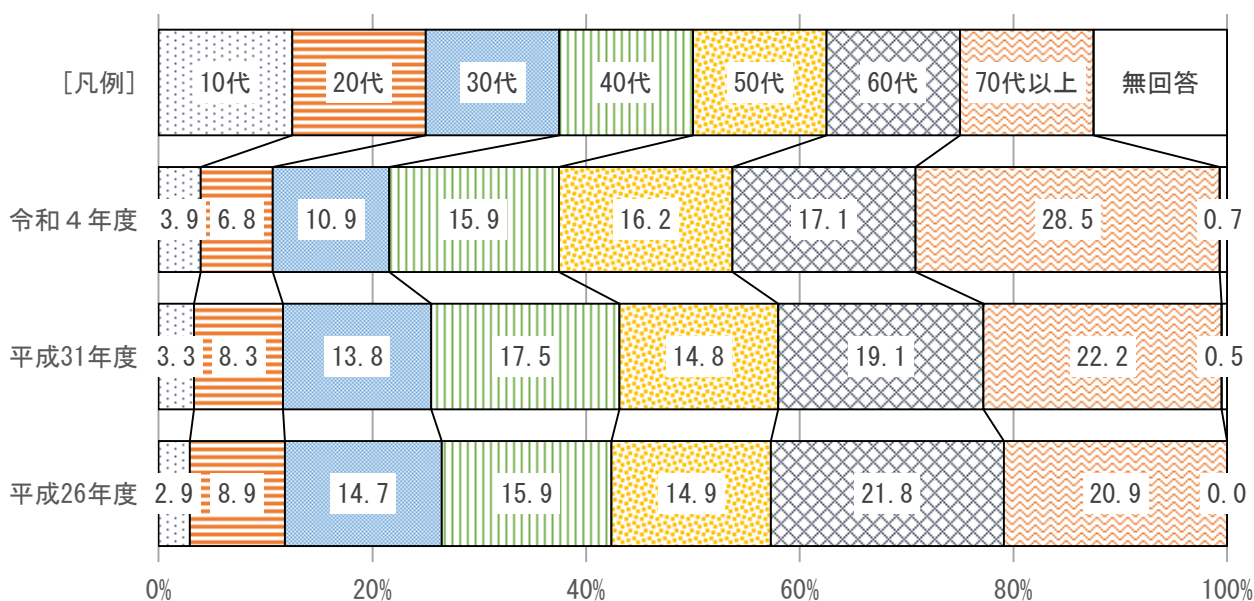


選択項目	令和4年度	
	人数	構成比
(1) 男性	1,013	45.9%
(2) 女性	1,146	52.0%
無回答	46	2.1%
合計	2,205	100.0%

(2) 年齢

問1 あなたの性別と年齢、お住まいのご住所について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ〇で囲んでください。

年齢は、「70代以上」が28.5%と最も多く、次いで「60代」17.1%、「50代」16.2%となっています。過去の調査結果からの経年比較では、「70代以上」の増加が目立っています。

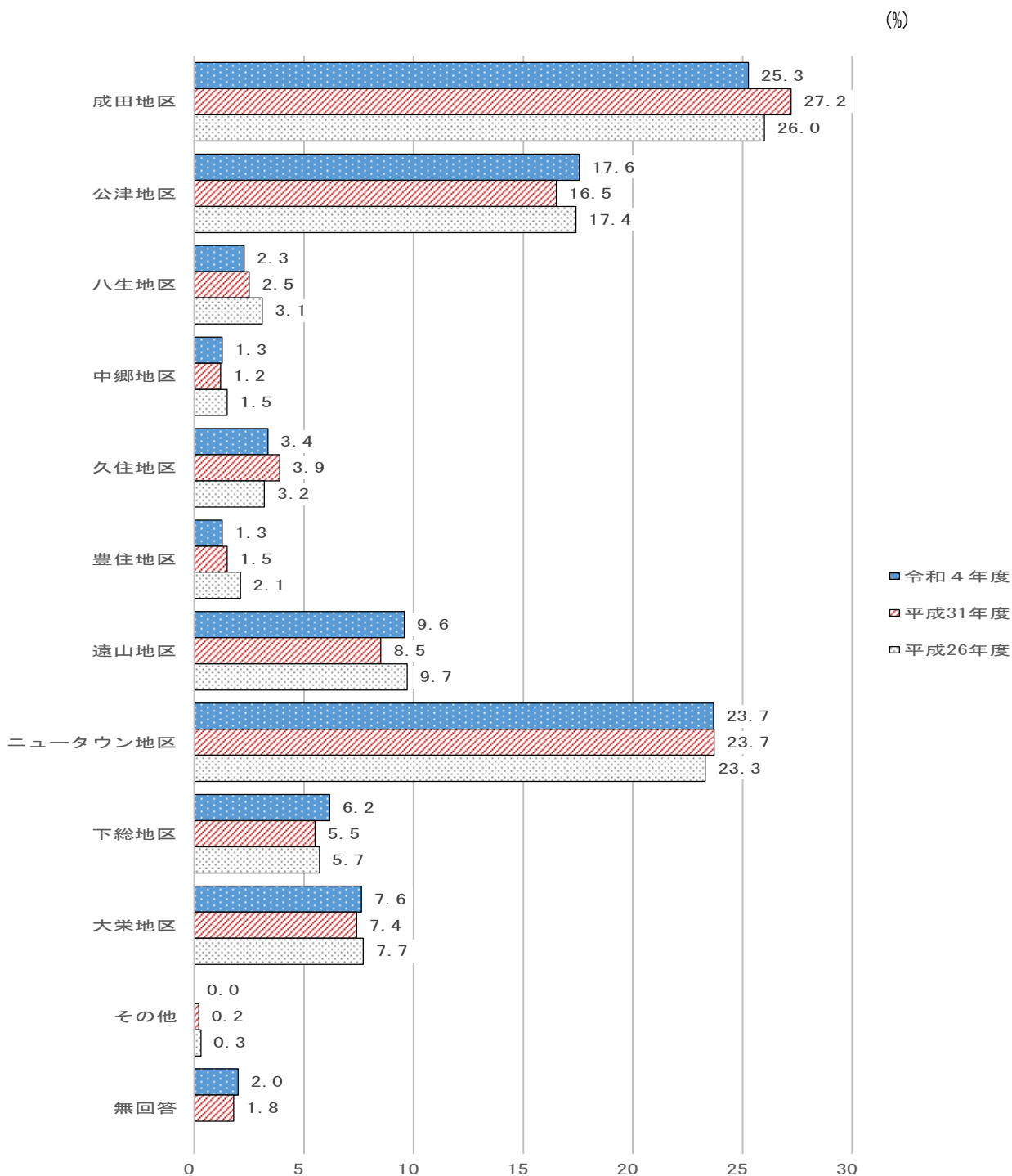


選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 10代	87	3.9%	71	3.3%	126	2.9%
(2) 20代	149	6.8%	180	8.3%	389	8.9%
(3) 30代	240	10.9%	300	13.8%	647	14.7%
(4) 40代	350	15.9%	380	17.5%	698	15.9%
(5) 50代	358	16.2%	321	14.8%	656	14.9%
(6) 60代	378	17.1%	415	19.1%	957	21.8%
(7) 70代以上	628	28.5%	482	22.2%	917	20.9%
無回答	15	0.7%	10	0.5%	-	-
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%	4,390	100.0%

(3) 居住地区

問1 あなたの性別と年齢、お住まいのご住所について、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ〇で囲んでください。

居住地区については、「成田地区」が25.3%と最も多く、次いで「ニュータウン地区」23.7%、「公津地区」17.6%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向を示しています。



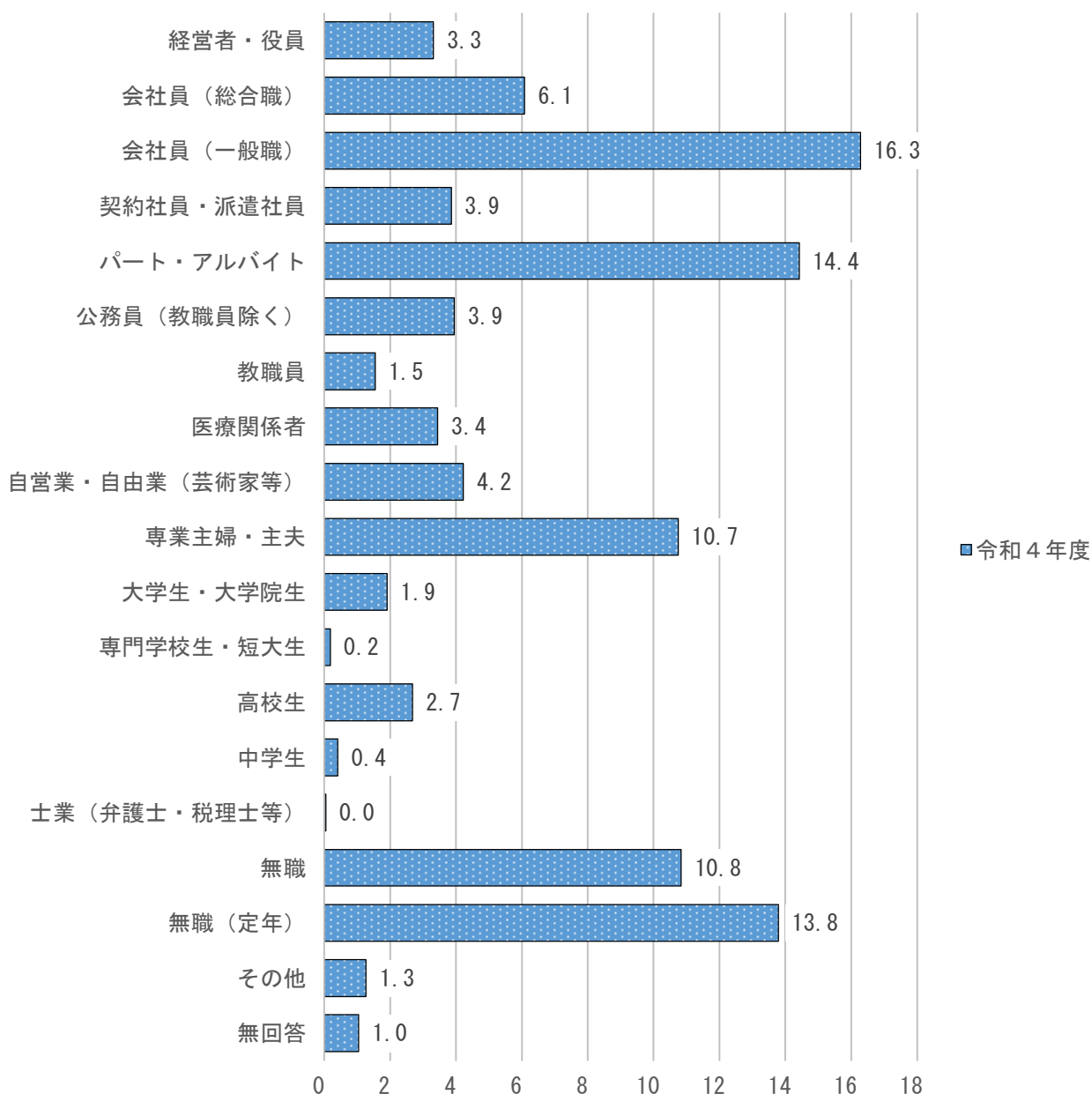
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 成田地区	557	25.3%	592	27.2%	1,128	26.0%
(2) 公津地区	387	17.6%	360	16.5%	754	17.4%
(3) 八生地区	50	2.3%	54	2.5%	133	3.1%
(4) 中郷地区	28	1.3%	27	1.2%	66	1.5%
(5) 久住地区	74	3.4%	85	3.9%	137	3.2%
(6) 豊住地区	28	1.3%	33	1.5%	89	2.1%
(7) 遠山地区	211	9.6%	184	8.5%	421	9.7%
(8) ニュータウン地区	522	23.7%	515	23.7%	1,010	23.3%
(9) 下総地区	136	6.2%	120	5.5%	247	5.7%
(10) 大栄地区	168	7.6%	161	7.4%	335	7.7%
(11) その他	0	0.0%	5	0.2%	13	0.3%
無回答	44	2.0%	40	1.8%	-	-
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%	4,333	100.0%

(4) 職業

問2 あなたの職業について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

職業は、「会社員（一般職）」が16.3%と最も多く、次いで「パート、アルバイト」14.4%、「無職（定年）」13.8%、「無職」10.8%、「専業主婦・主夫」10.7%となっています。

(%)



(※選択項目が前回と大きく異なるため、経年比較は行っていない。)

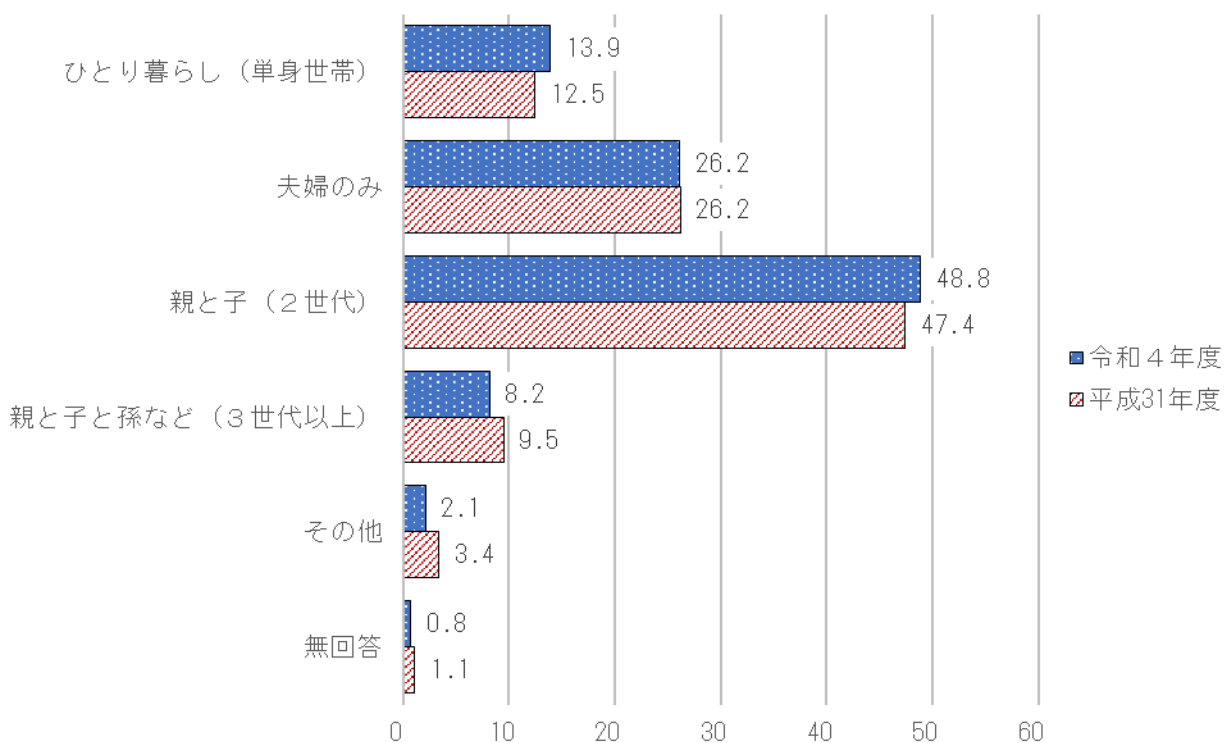
選択項目	令和4年度	
	人数	構成比
(1) 経営者・役員	73	3.3%
(2) 会社員（総合職）	134	6.1%
(3) 会社員（一般職）	359	16.3%
(4) 契約社員・派遣社員	85	3.9%
(5) パート・アルバイト	318	14.4%
(6) 公務員（教職員除く）	87	3.9%
(7) 教職員	34	1.5%
(8) 医療関係者	76	3.4%
(9) 自営業・自由業（芸術家等）	93	4.2%
(10) 専業主婦・主夫	237	10.7%
(11) 大学生・大学院生	42	1.9%
(12) 専門学校生・短大生	4	0.2%
(13) 高校生	59	2.7%
(14) 中学生	9	0.4%
(15) 士業（弁護士・税理士等）	1	0.0%
(16) 無職	239	10.8%
(17) 無職（定年）	304	13.8%
(18) その他	28	1.3%
無回答	23	1.0%
合計	2,205	100.0%

(5) 家族構成

問3 あなたの家族構成について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

家族構成は、「親と子（2世代）」が48.8%と最も多く、次いで「夫婦のみ」26.2%、「ひとり暮らし（単身世帯）」13.9%となっています。

(%)



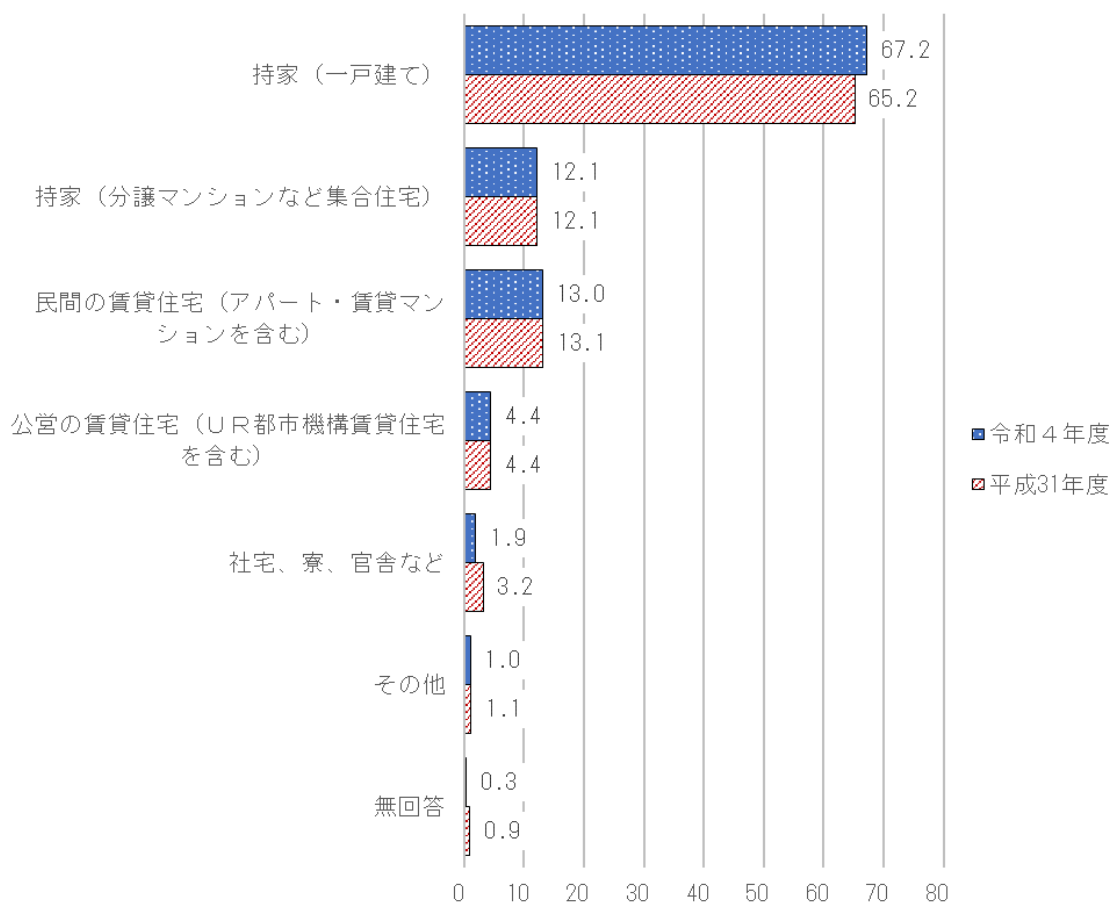
選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) ひとり暮らし（単身世帯）	307	13.9%	271	12.5%
(2) 夫婦のみ	577	26.2%	570	26.2%
(3) 親と子（2世代）	1,077	48.8%	1032	47.4%
(4) 親と子と孫など（3世代以上）	180	8.2%	206	9.5%
(5) その他	47	2.1%	74	3.4%
無回答	17	0.8%	23	1.1%
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%

(6) 住宅の種類

問4 あなたの住んでいる住宅について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

居住している住宅の種類は、「持家（一戸建て）」が67.2%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅（アパート・賃貸マンションを含む）」13.0%、「持家（分譲マンションなど集合住宅）」12.1%となっています。

(%)



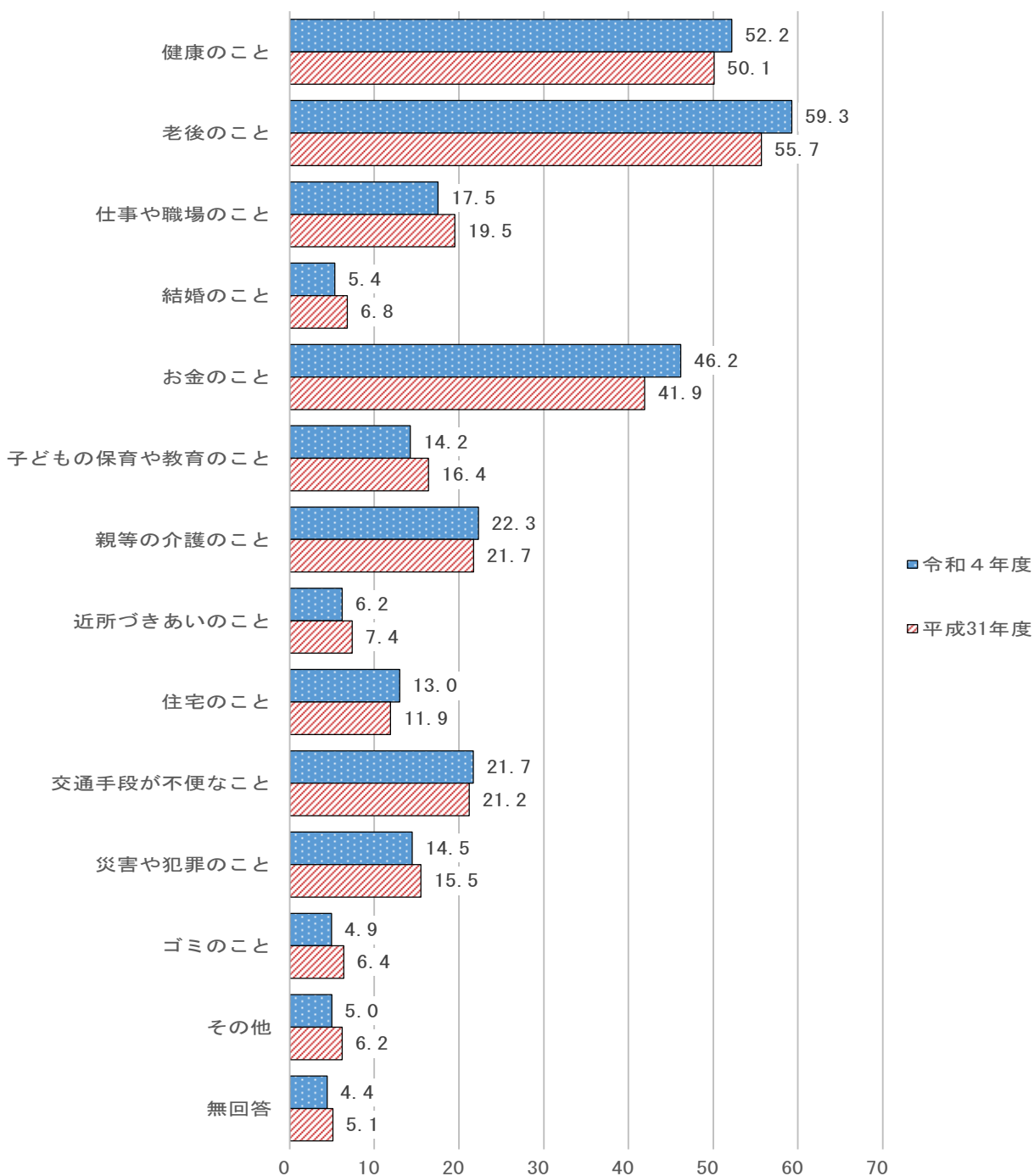
選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 持家（一戸建て）	1,482	67.2%	1,418	65.2%
(2) 持家（分譲マンションなど集合住宅）	267	12.1%	286	13.1%
(3) 民間の賃貸住宅（アパート・賃貸マンションを含む）	287	13.0%	263	12.1%
(4) 公営の賃貸住宅（UR都市機構賃貸住宅を含む）	98	4.4%	96	4.4%
(5) 社宅、寮、官舎など	41	1.9%	69	3.2%
(6) その他	23	1.0%	24	1.1%
無回答	7	0.3%	20	0.9%
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%

(7) 心配ごとや困っていること

問5 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

心配ごとや困っていることについては、「老後のこと」が59.3%と最も多く、次いで「健康のこと」52.2%、「お金のこと」46.2%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向を示しています。

(%)

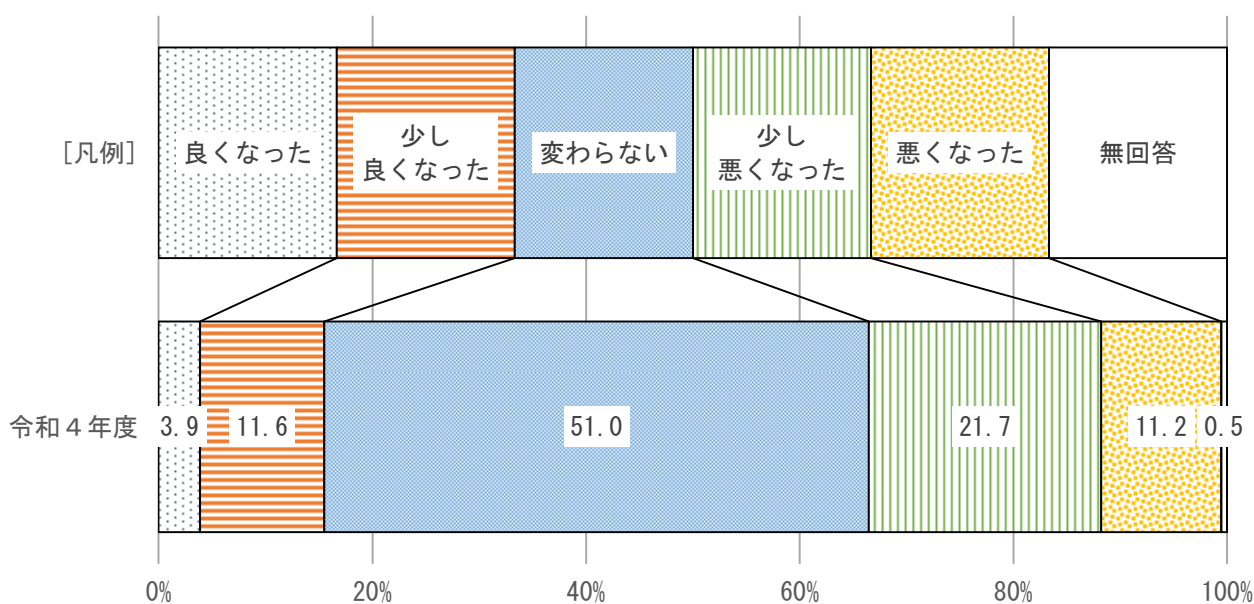


選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 健康のこと	1,151	52.2%	1,090	50.1%
(2) 老後のこと	1,307	59.3%	1,212	55.7%
(3) 仕事や職場のこと	386	17.5%	424	19.5%
(4) 結婚のこと	118	5.4%	149	6.8%
(5) お金のこと	1,018	46.2%	912	41.9%
(6) 子どもの保育や教育のこと	314	14.2%	357	16.4%
(7) 親等の介護のこと	491	22.3%	472	21.7%
(8) 近所づきあいのこと	137	6.2%	160	7.4%
(9) 住宅のこと	286	13.0%	258	11.9%
(10) 交通手段が不便なこと	478	21.7%	462	21.2%
(11) 災害や犯罪のこと	319	14.5%	337	15.5%
(12) ゴミのこと	109	4.9%	140	6.4%
(13) その他	110	5.0%	135	6.2%
無回答	98	4.4%	111	5.1%
合計	6,322	-	6,219	-

(8) 暮らしや生活環境の変化

問6 あなたの暮らしや生活環境は、2～3年の間にどのように変わったと思いますか。当てはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

ここ2～3年の間での、自身の暮らしや生活環境の変化については、「変わらない」が51.0%と最も多く、次いで「少し悪くなった」21.7%、「少し良くなった」11.6%、「悪くなった」11.2%、「良くなった」3.9%となっています。



選択項目	令和4年度	
	人数	構成比
(1) 良くなった	86	3.9%
(2) 少し良くなった	256	11.6%
(3) 変わらない	1,124	51.0%
(4) 少し悪くなった	479	21.7%
(5) 悪くなった	248	11.2%
無回答	12	0.5%
合計	2,205	100.0%

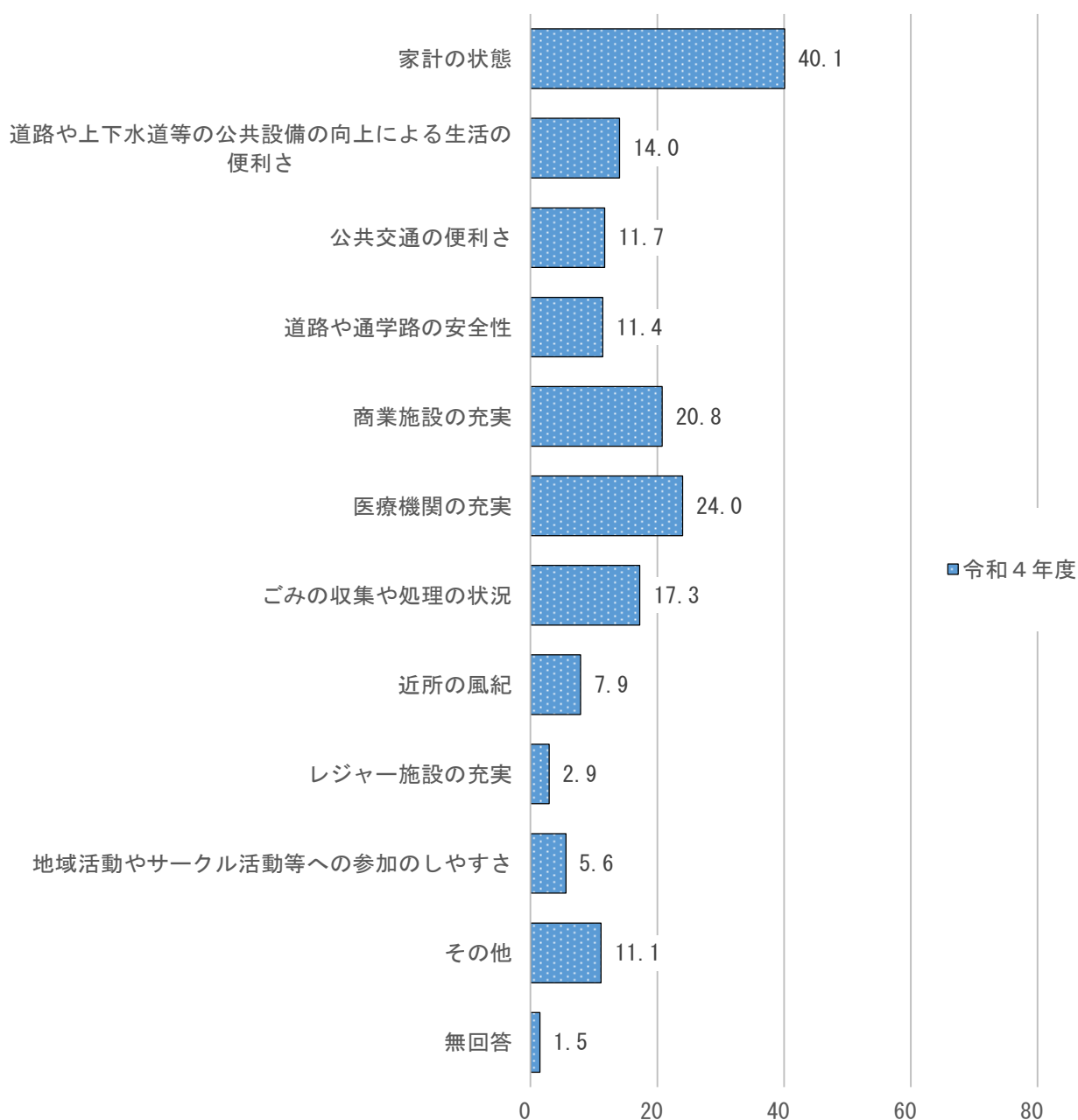
(9) 良くなったところ ～暮らしや生活環境の変化

◆問6で「1」もしくは「2」と答えた方におうかがいします。

問6-① どのようなところが良くなったと思いますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

ここ2～3年の間での、自身の暮らしや生活環境の変化について、「良くなった」「少し良くなった」と回答した方の、良くなったと考える点に関しては、「家計の状態」が40.1%と最も多く、次いで「医療機関の充実」24.0%、「商業施設の充実」20.8%、「ごみの収集や処理の状況」17.3%となっています。

(%)



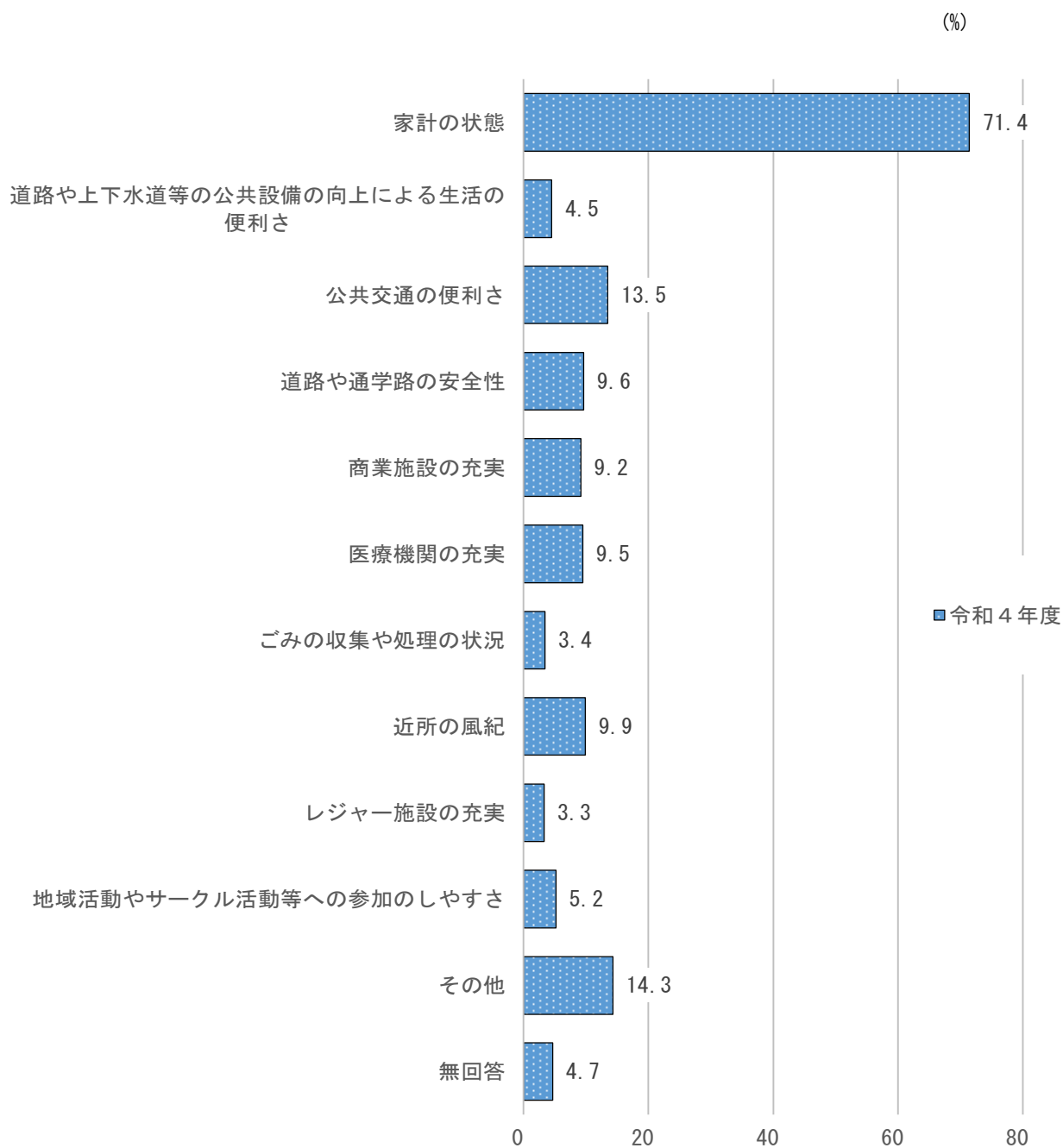
選択項目	令和4年度	
	人数	構成比
(1) 家計の状態	137	40.1%
(2) 道路や上下水道等の公共設備の向上による生活の便利さ	48	14.0%
(3) 公共交通の便利さ	40	11.7%
(4) 道路や通学路の安全性	39	11.4%
(5) 商業施設の充実	71	20.8%
(6) 医療機関の充実	82	24.0%
(7) ごみの収集や処理の状況	59	17.3%
(8) 近所の風紀	27	7.9%
(9) レジャー施設の充実	10	2.9%
(10) 地域活動やサークル活動等への参加のしやすさ	19	5.6%
(11) その他	38	11.1%
無回答	5	1.5%
合計	575	-

(10) 悪くなったところ ～暮らしや生活環境の変化

◆問6で「4」もしくは「5」と答えた方におうかがいします。

問6-② どのようなところが悪くなったと思いますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

ここ2～3年の間での、自身の暮らしや生活環境の変化について、「悪くなった」「少し悪くなった」と回答した方の、悪くなったと考える点に関しては、「家計の状態」が71.4%と最も多く、次いで「その他」14.3%、「公共交通の便利さ」13.5%、「近所の風紀」9.9%となっています。



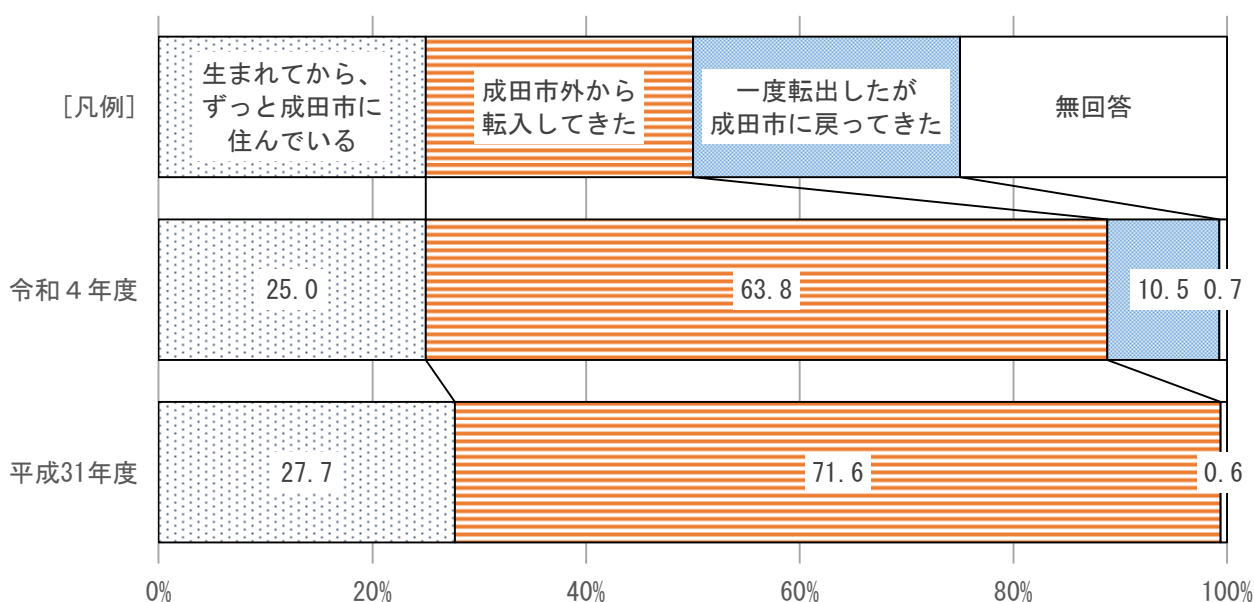
選択項目	令和4年度	
	人数	構成比
(1) 家計の状態	519	71.4%
(2) 道路や上下水道等の公共設備の向上による生活の便利さ	33	4.5%
(3) 公共交通の便利さ	98	13.5%
(4) 道路や通学路の安全性	70	9.6%
(5) 商業施設の充実	67	9.2%
(6) 医療機関の充実	69	9.5%
(7) ごみの収集や処理の状況	25	3.4%
(8) 近所の風紀	72	9.9%
(9) レジャー施設の充実	24	3.3%
(10) 地域活動やサークル活動等への参加のしやすさ	38	5.2%
(11) その他	104	14.3%
無回答	34	4.7%
合計	1,153	-

(11) 成田市の居住状況

問7 あなたは、生まれてからずっと成田市に住んでいますか。それとも、成田市外から転入してきましたか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

居住状況については、「成田市外から転入してきた」方が63.8%「生まれてから、ずっと成田市に住んでいる」方が25.0%、「一度転出したが成田市に戻ってきた」方が10.5%となっています。

経年比較では、今回調査において新たな選択項目「一度転出したが成田市に戻ってきた」が加わっており、いわゆる成田市へのUターン者が1割程度見られる状況となっています。



選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 生まれてから、ずっと成田市に住んでいる	551	25.0%	603	27.7%
(2) 成田市外から転入してきた	1,407	63.8%	1,559	71.6%
(3) 一度転出したが成田市に戻ってきた	231	10.5%	-	-
無回答	16	0.7%	14	0.6%
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%

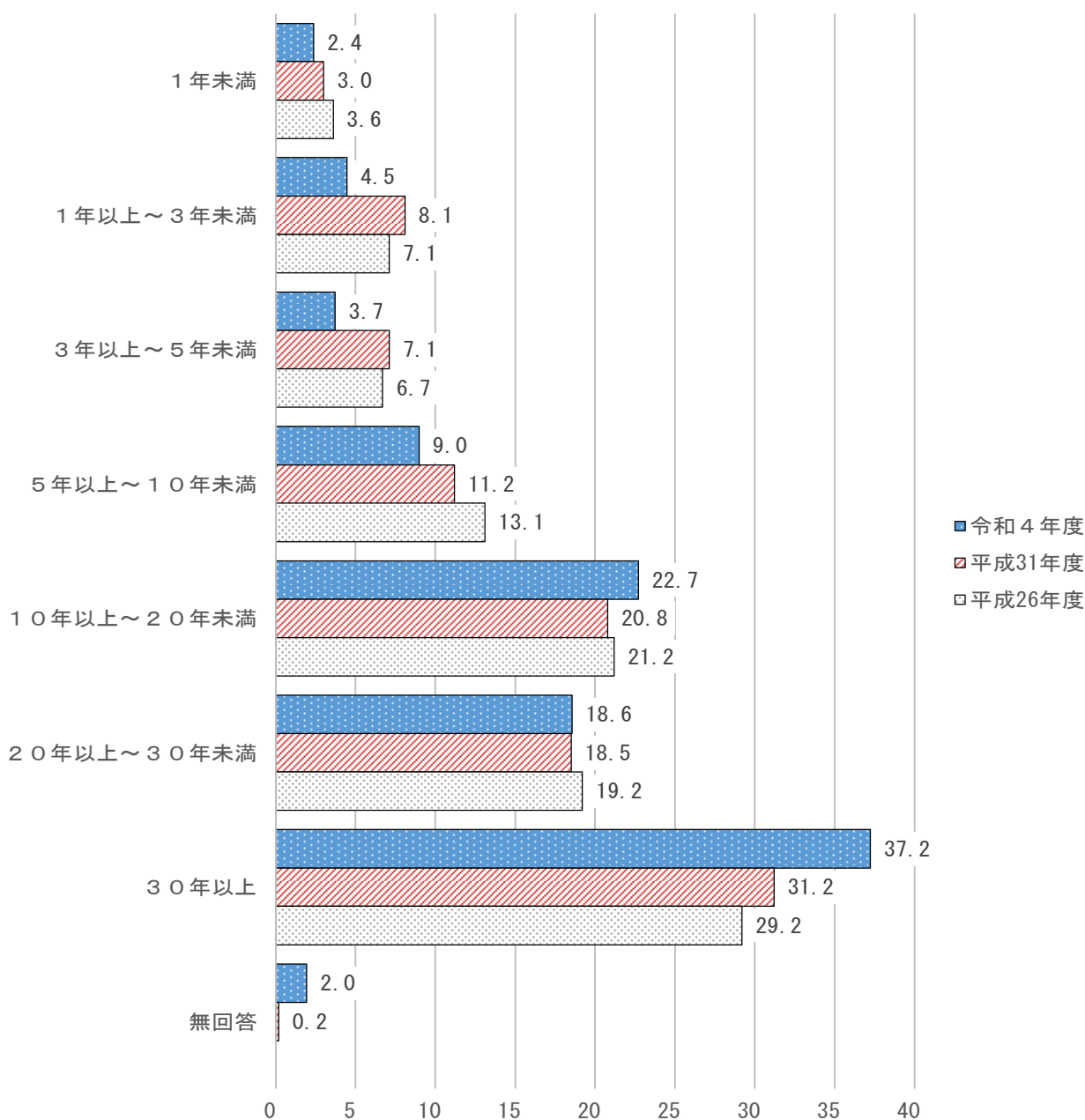
(12) 成田市に住んでからの年数

◆問7で「2」もしくは「3」と答えた方におうかがいします。

問7-① あなたは、成田市に住むようになってからどれくらいになりますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。なお、以前成田市に住んでいた場合はそれを含めてください。

成田市外から転入してきた方が成田市に住んでいる年数は、「30年以上」が37.2%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」22.7%、「20年以上～30年未満」18.6%となっています。経年比較では、30年以上等、長期年数の占める割合が高くなる傾向にあります。

(%)



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 1年未満	39	2.4%	46	3.0%	110	3.6%
(2) 1年以上～3年未満	73	4.5%	126	8.1%	217	7.1%
(3) 3年以上～5年未満	61	3.7%	110	7.1%	204	6.7%
(4) 5年以上～10年未満	147	9.0%	174	11.2%	399	13.1%
(5) 10年以上～20年未満	372	22.7%	324	20.8%	647	21.2%
(6) 20年以上～30年未満	304	18.6%	289	18.5%	687	19.2%
(7) 30年以上	610	37.2%	487	31.2%	892	29.2%
無回答	32	2.0%	3	0.2%	-	-
合計	1,638	100.0%	1,559	100.0%	3,056	100.0%

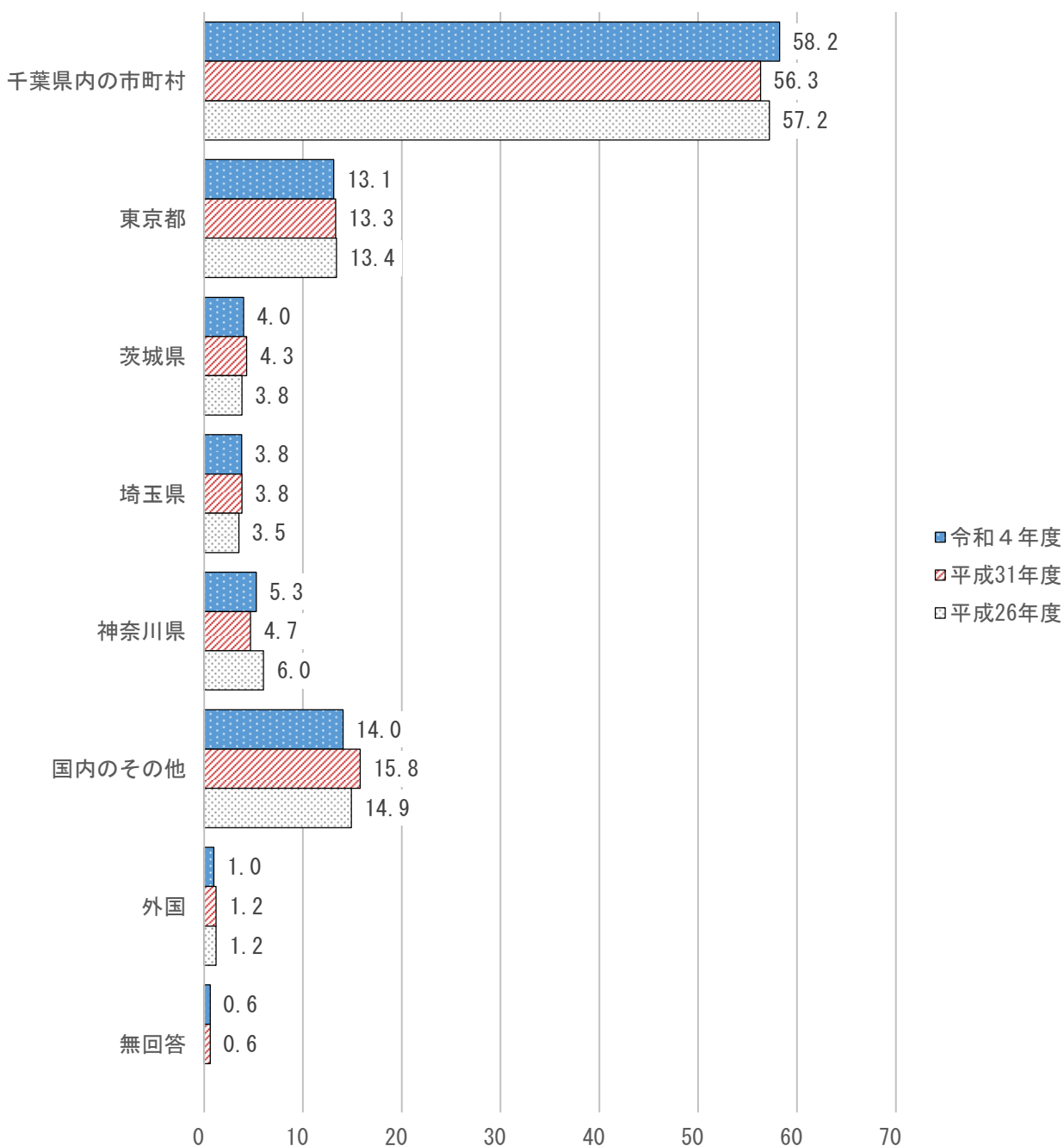
(13) 成田市への転入前に居住していた地域

◆問7で「2」もしくは「3」と答えた方におうかがいします。

問7-② 成田市に転入する前はどこに住んでいましたか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

成田市外から転入してきた方が、転入前に住んでいた地域については、「千葉県内の市町村」が58.2%と最も多く、次いで「国内のその他」14.0%、「東京都」13.1%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向を示しています。

(%)



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 千葉県内の市町村	954	58.2%	878	56.3%	1,740	57.2%
(2) 東京都	215	13.1%	207	13.3%	409	13.4%
(3) 茨城県	65	4.0%	67	4.3%	117	3.8%
(4) 埼玉県	62	3.8%	59	3.8%	106	3.5%
(5) 神奈川県	86	5.3%	73	4.7%	181	6.0%
(6) 国内のその他	230	14.0%	246	15.8%	453	14.9%
(7) 外国	16	1.0%	19	1.2%	35	1.2%
無回答	10	0.6%	10	0.6%	-	-
合計	1,638	100.0%	1,559	100.0%	3,041	100.0%

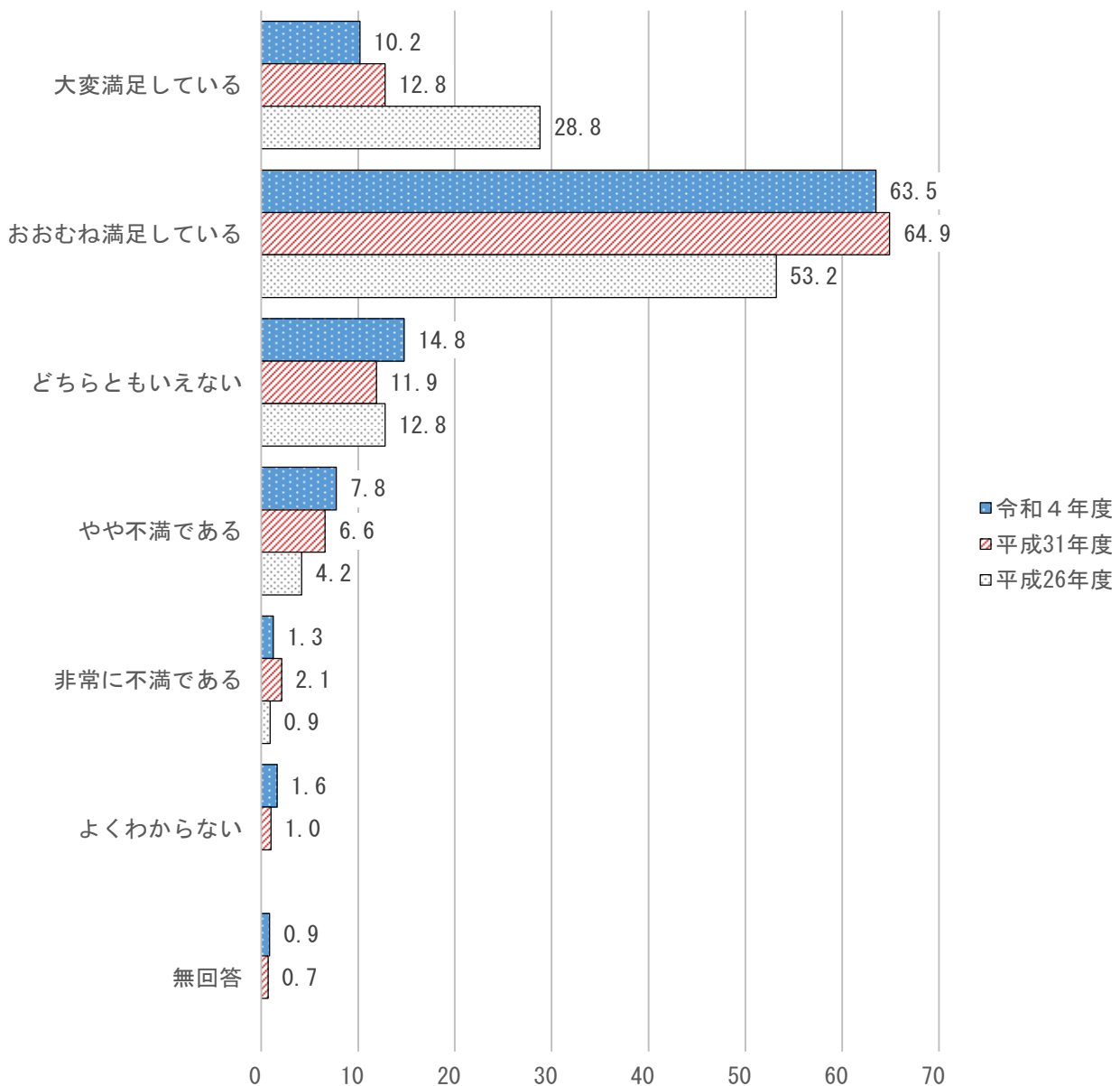
2 住み心地について

(1) 住みごころ

問8 あなたにとって、現在の成田市に住み心地はいかがですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

住み心地については、「おおむね満足している」が63.5%と最も多く、次いで「どちらともいえない」14.8%、「大変満足している」10.2%となっています。市民の7割以上が成田市を「住み良い」と感じています。経年比較では、概ね同様の傾向を示しています。

(%)



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 大変満足している	225	10.2%	278	12.8%	1,270	28.8%
(2) おおむね満足している	1,400	63.5%	1,413	64.9%	2,344	53.2%
(3) どちらともいえない	326	14.8%	259	11.9%	566	12.8%
(4) やや不満である	171	7.8%	144	6.6%	184	4.2%
(5) 非常に不満である	28	1.3%	46	2.1%	41	0.9%
(6) よくわからない	36	1.6%	21	1.0%	-	-
無回答	19	0.9%	15	0.7%	-	-
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%	4,405	100.0%

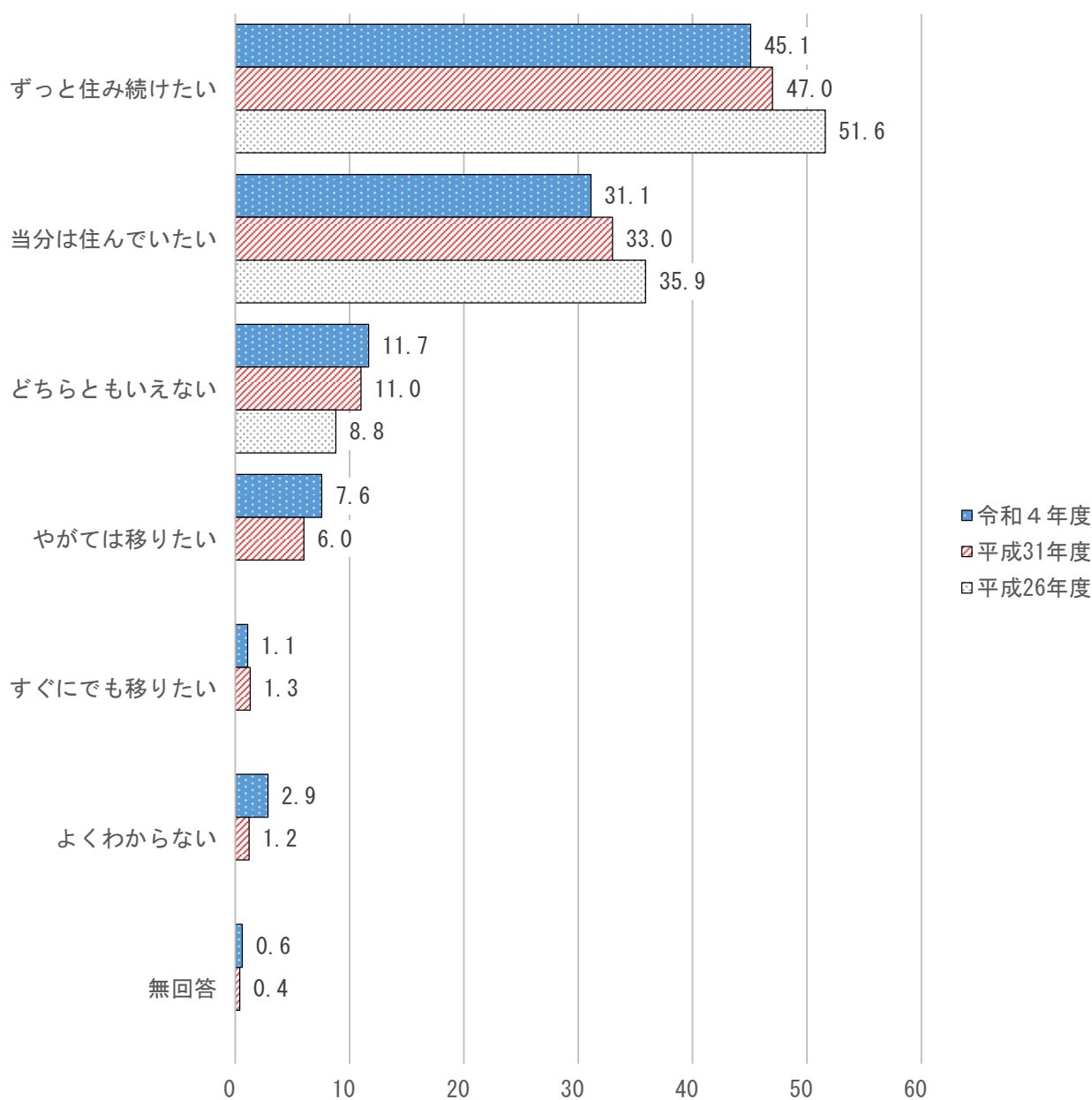
※平成26年度の選択項目は、「1. とても住みよい」「2. どちらかといえば住みよい」「4. どちらかといえば住みにくい」「5. とても住みにくい」となっています。

(2) 今後の居住希望

問9 あなたは、成田市に住み続けたいですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

今後も住み続けたいかについては、「ずっと住み続けたい」が45.1%と最も多く、次いで「当分は住んでいたい」31.1%、「どちらともいえない」11.7%となっています。市民の過半が成田市に「住み続けたい」と感じています。経年比較では、概ね同様の傾向を示していますが、「ずっと住み続けたい」「当分は住んでいたい」の合計は、平成31年度で80.0%ですが、令和4年度では76.2%と、やや減少しています。

(%)



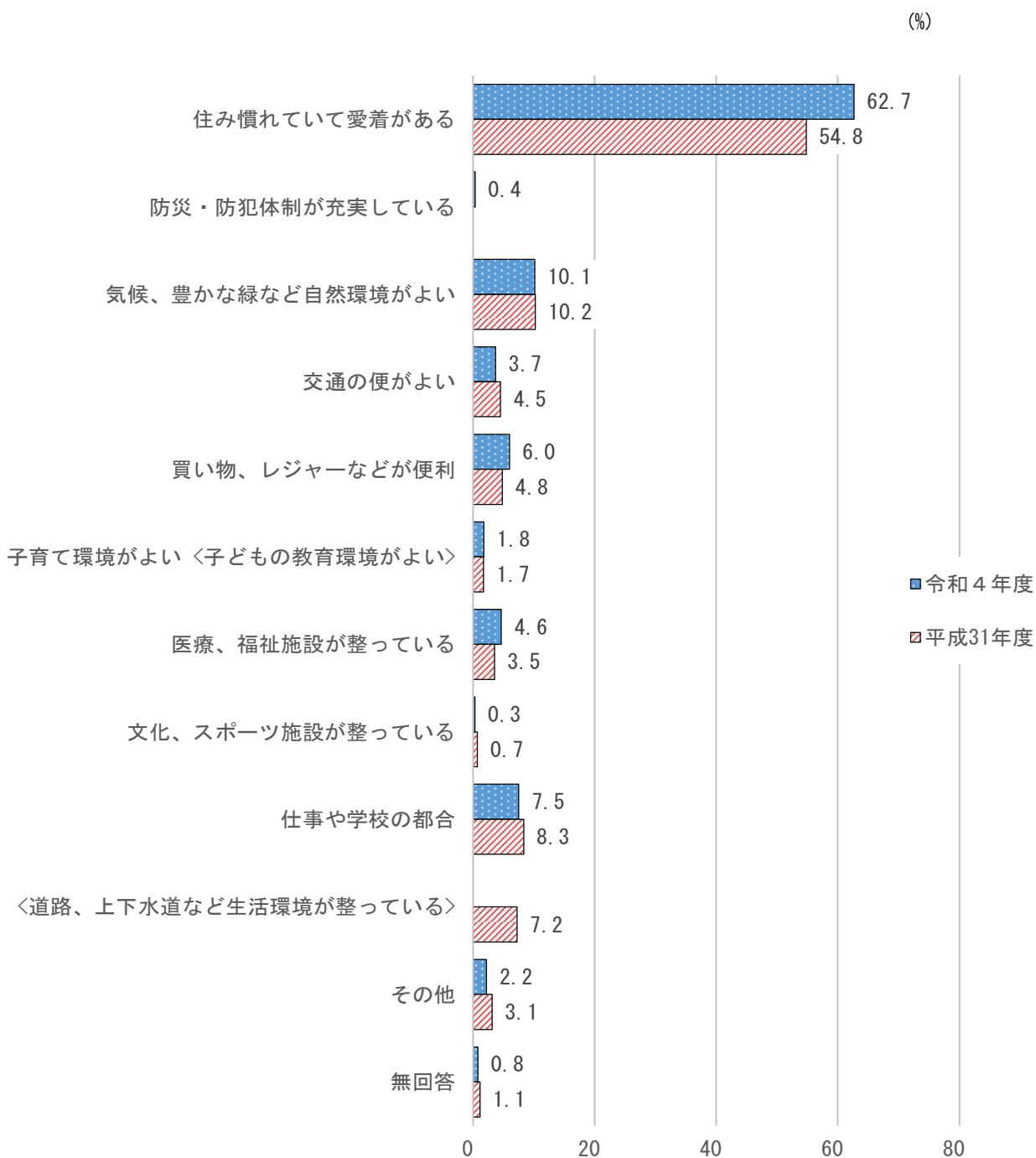
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) ずっと住みたい	994	45.1%	1,023	47.0%	2,279	51.6%
(2) 当分は住んでいたい	686	31.1%	719	33.0%	1,584	35.9%
(3) どちらともいえない	257	11.7%	240	11.0%	389	8.8%
(4) やがては移りたい	167	7.6%	130	6.0%	-	-
(5) すぐにでも移りたい	24	1.1%	28	1.3%	-	-
(6) よくわからない	63	2.9%	27	1.2%	-	-
無回答	14	0.6%	9	0.4%	-	-
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%	4,416	-

(3) 住み続けたい理由

◆問9で「1」または「2」と答えた方におうかがいします。

問9-① 住み続けたい理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

住み続けたい理由については、「住み慣れていて愛着がある」が62.7%と最も多く、次いで「気候、豊かな緑など自然環境がよい」10.1%、「仕事や学校の都合」7.5%となっています。



選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 住み慣れていて愛着がある	1,053	62.7%	955	54.8%
(2) 防災・防犯体制が充実している	6	0.4%	-	-
(3) 気候、豊かな緑など自然環境がよい	170	10.1%	178	10.2%
(4) 交通の便がよい	62	3.7%	78	4.5%
(5) 買い物、レジャーなどが便利	100	6.0%	84	4.8%
(6) 子育て環境がよい〈子どもの教育環境がよい〉	30	1.8%	30	1.7%
(7) 医療、福祉施設が整っている	78	4.6%	61	3.5%
(8) 文化、スポーツ施設が整っている	5	0.3%	12	0.7%
(9) 仕事や学校の都合	126	7.5%	144	8.3%
(10) 〈道路、上下水道など生活環境が整っている〉	-	-	126	7.2%
(11) その他	37	2.2%	54	3.1%
無回答	13	0.8%	20	1.1%
合計	1,680	100.0%	1,742	100.0%

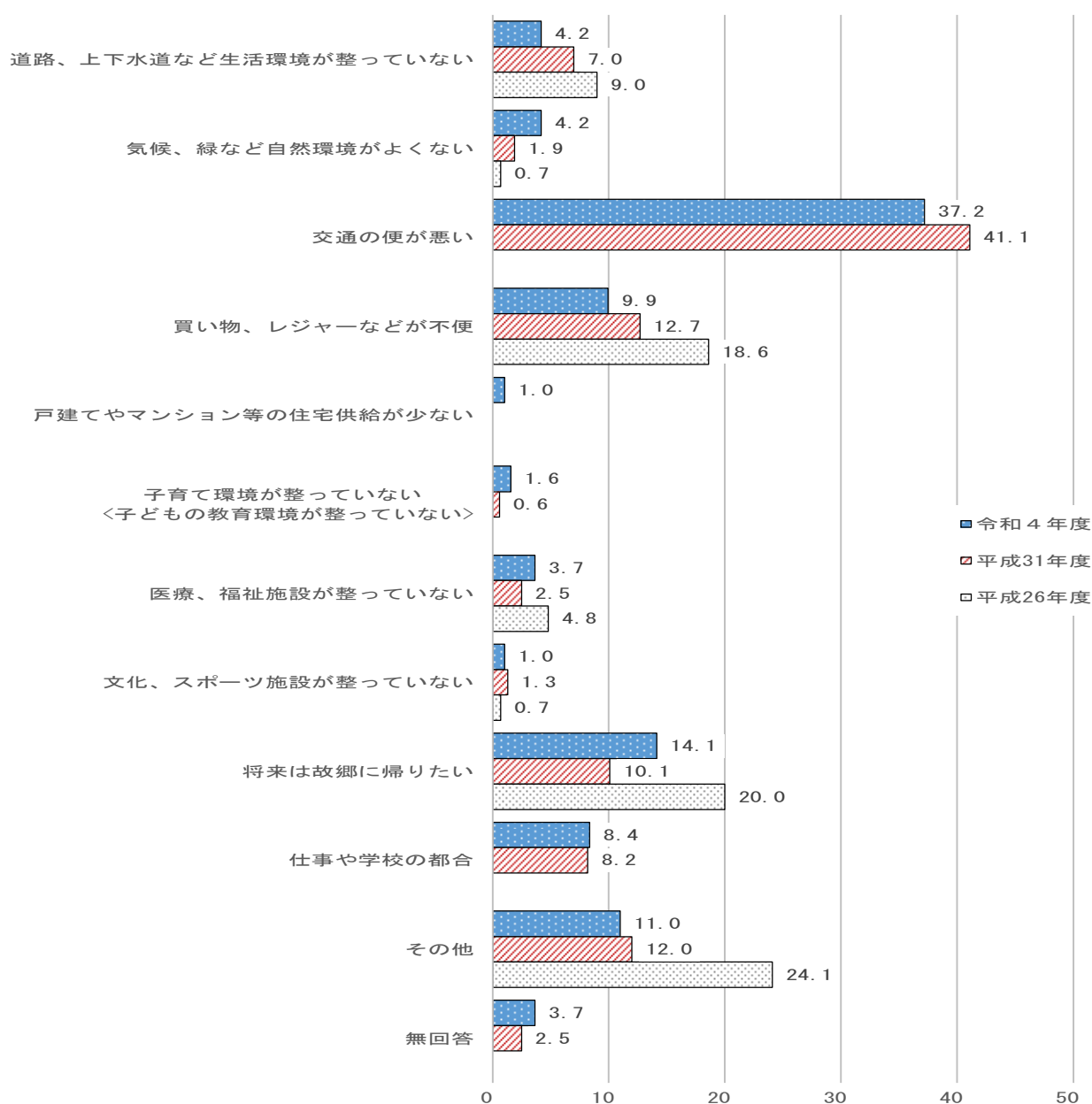
(4) 市外に移り住みたい理由

◆問9で「4」または「5」と答えた方におうかがいします。

問9-② 市外に移り住みたい理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

市外に移り住みたい理由については、「交通の便が悪い」が37.2%と最も多く、次いで「将来は故郷に帰りたい」14.1%、「買い物、レジャーなどが不便」9.9%となっています。経年比較では、「交通の便が悪い」「買い物、レジャーなどが不便」がやや減少、「将来は故郷に帰りたい」が前回に比べやや増加するなどの推移が見られます。

(%)



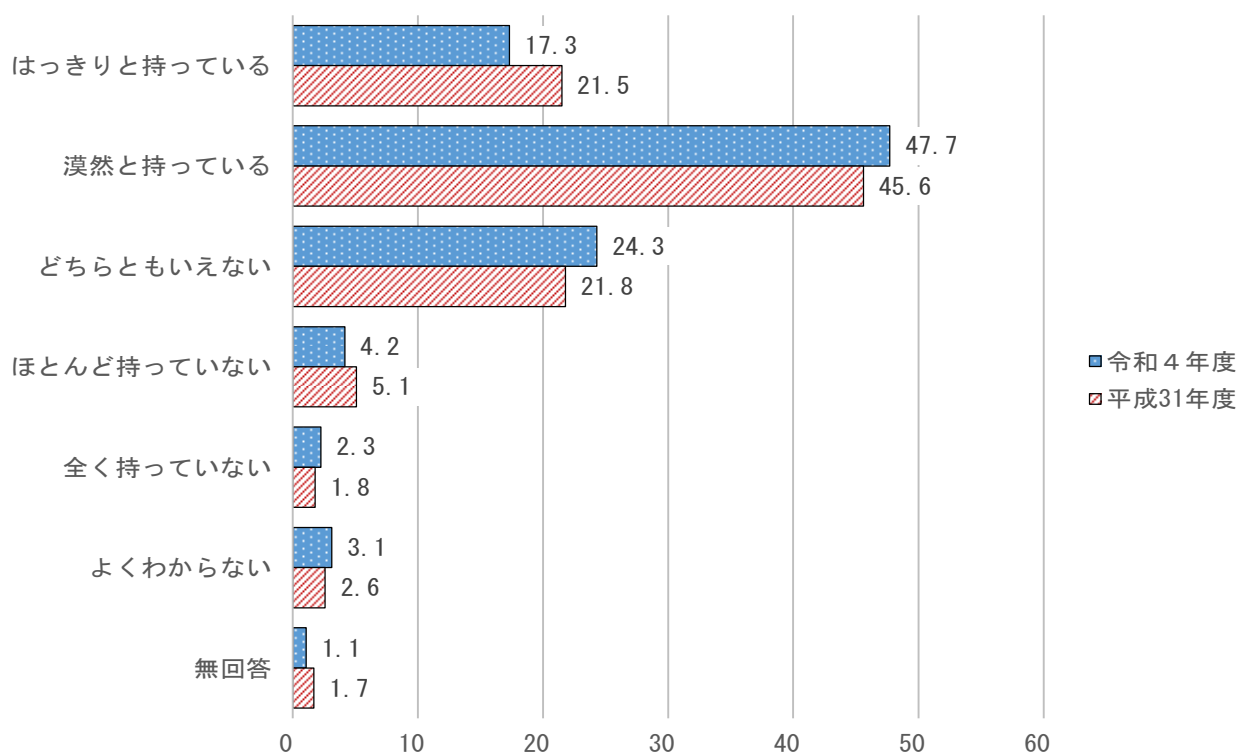
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 道路、上下水道など生活環境が整っていない	8	4.2%	11	7.0%	13	9.0%
(2) 気候、緑など自然環境がよくない	8	4.2%	3	1.9%	1	0.7%
(3) 交通の便が悪い	71	37.2%	65	41.1%	-	-
(4) 買い物、レジャーなどが不便	19	9.9%	20	12.7%	27	18.6%
(5) 戸建てやマンション等の住宅供給が少ない	2	1.0%	-	-	-	-
(6) 子育て環境が整っていない〈子どもの教育環境が整っていない〉	3	1.6%	1	0.6%	-	-
(7) 医療、福祉施設が整っていない	7	3.7%	4	2.5%	7	4.8%
(8) 文化、スポーツ施設が整っていない	2	1.0%	2	1.3%	1	0.7%
(9) 将来は故郷に帰りたい	27	14.1%	16	10.1%	29	20.0%
(10) 仕事や学校の都合	16	8.4%	13	8.2%	-	-
(11) その他	21	11.0%	19	12.0%	35	24.1%
無回答	7	3.7%	4	2.5%	-	-
合計	191	100.0%	158	100.0%	145	100.0%

(5) 成田市への誇りや愛着

問10 あなたは、成田市に誇りや愛着を持っていますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

成田市に誇りや愛着を持っているかについては、「漠然と持っている」が47.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」24.3%、「はっきりと持っている」17.3%となっています。経年比較では、大きな違いは見られないものの、「漠然と持っている」「どちらともいえない」がやや増加、「はっきりと持っている」がやや減少しています。

(%)

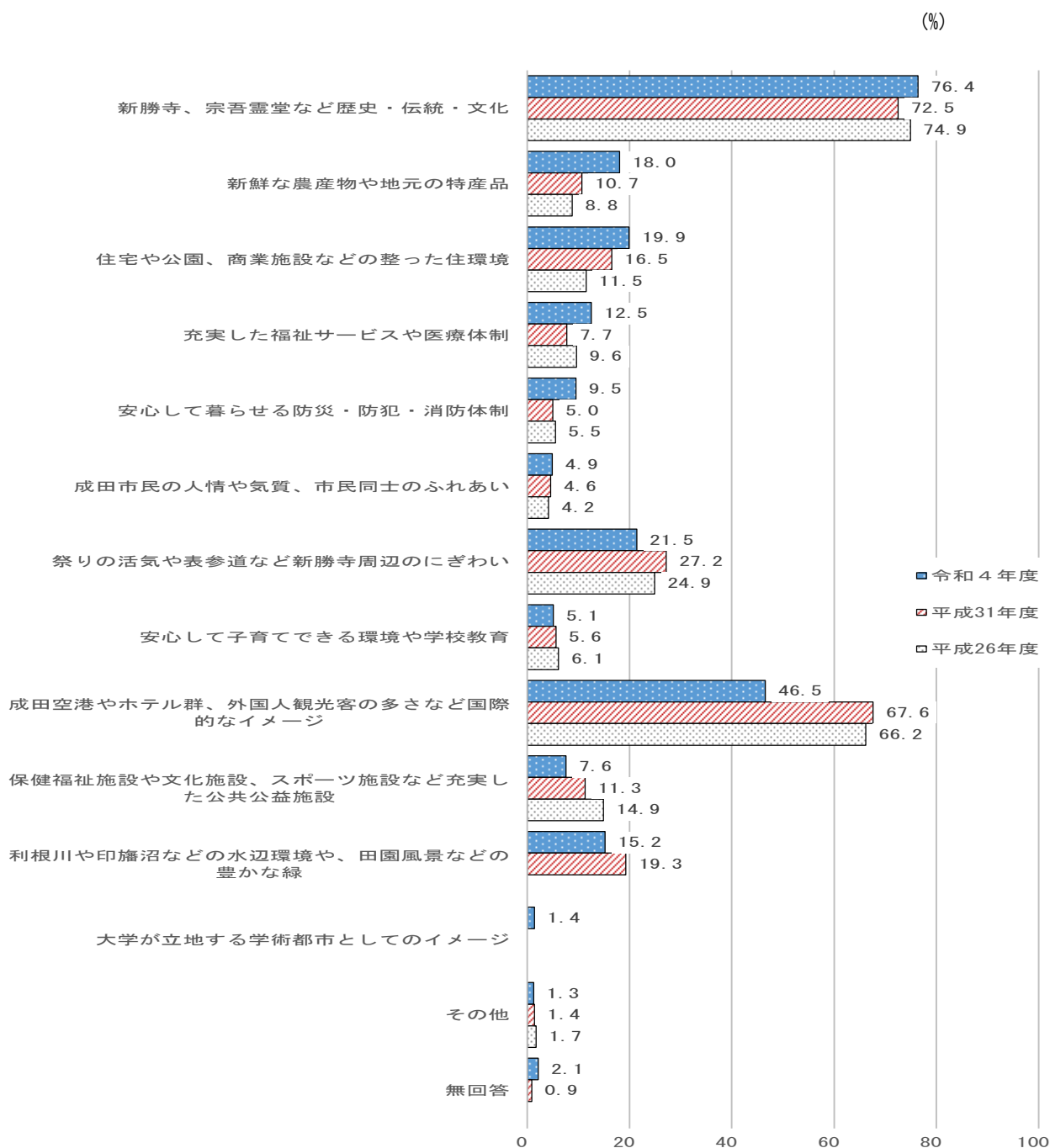


選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) はっきりと持っている	382	17.3%	468	21.5%
(2) 漠然と持っている	1,052	47.7%	993	45.6%
(3) どちらともいえない	536	24.3%	474	21.8%
(4) ほとんど持っていない	92	4.2%	110	5.1%
(5) 全く持っていない	50	2.3%	39	1.8%
(6) よくわからない	69	3.1%	56	2.6%
無回答	24	1.1%	36	1.7%
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%

(6) 成田らしいもの、成田で誇れるもの

問11 成田らしいもの、成田で誇れるものは何ですか。あてはまる番号3つ以内を○で囲んでください。

成田らしいもの、成田で誇れるものについては、「新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化」が76.4%と最も多く、次いで「成田空港やホテル群、外国人観光客の多さなど国際的なイメージ」46.5%、「祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい」21.5%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 新勝寺、宗吾霊堂など歴史・伝統・文化	1,685	76.4%	1,578	72.5%	3,255	74.9%
(2) 新鮮な農産物や地元の特産品	398	18.0%	233	10.7%	384	8.8%
(3) 住宅や公園、商業施設などの整った住環境	439	19.9%	359	16.5%	500	11.5%
(4) 充実した福祉サービスや医療体制	276	12.5%	167	7.7%	419	9.6%
(5) 安心して暮らせる防災・防犯・消防体制	210	9.5%	109	5.0%	238	5.5%
(6) 成田市民の人情や気質、市民同士のふれあい	108	4.9%	100	4.6%	181	4.2%
(7) 祭りの活気や表参道など新勝寺周辺のにぎわい	473	21.5%	592	27.2%	1,082	24.9%
(8) 安心して子育てできる環境や学校教育	112	5.1%	121	5.6%	264	6.1%
(9) 成田空港やホテル群、外国人観光客の多さ など国際的なイメージ	1,026	46.5%	1,470	67.6%	2,877	66.2%
(10) 保健福祉施設や文化施設、スポーツ施設など 充実した公共公益施設	167	7.6%	245	11.3%	647	14.9%
(11) 利根川や印旛沼などの水辺環境や、田園風景 などの豊かな緑	335	15.2%	419	19.3%	-	-
(12) 大学が立地する学術都市としてのイメージ	31	1.4%	-	-	-	-
(13) その他	28	1.3%	30	1.4%	76	1.7%
無回答	47	2.1%	20	0.9%	-	-
合計	5,335	-	5,443	-	9,923	-

3 個別施策について

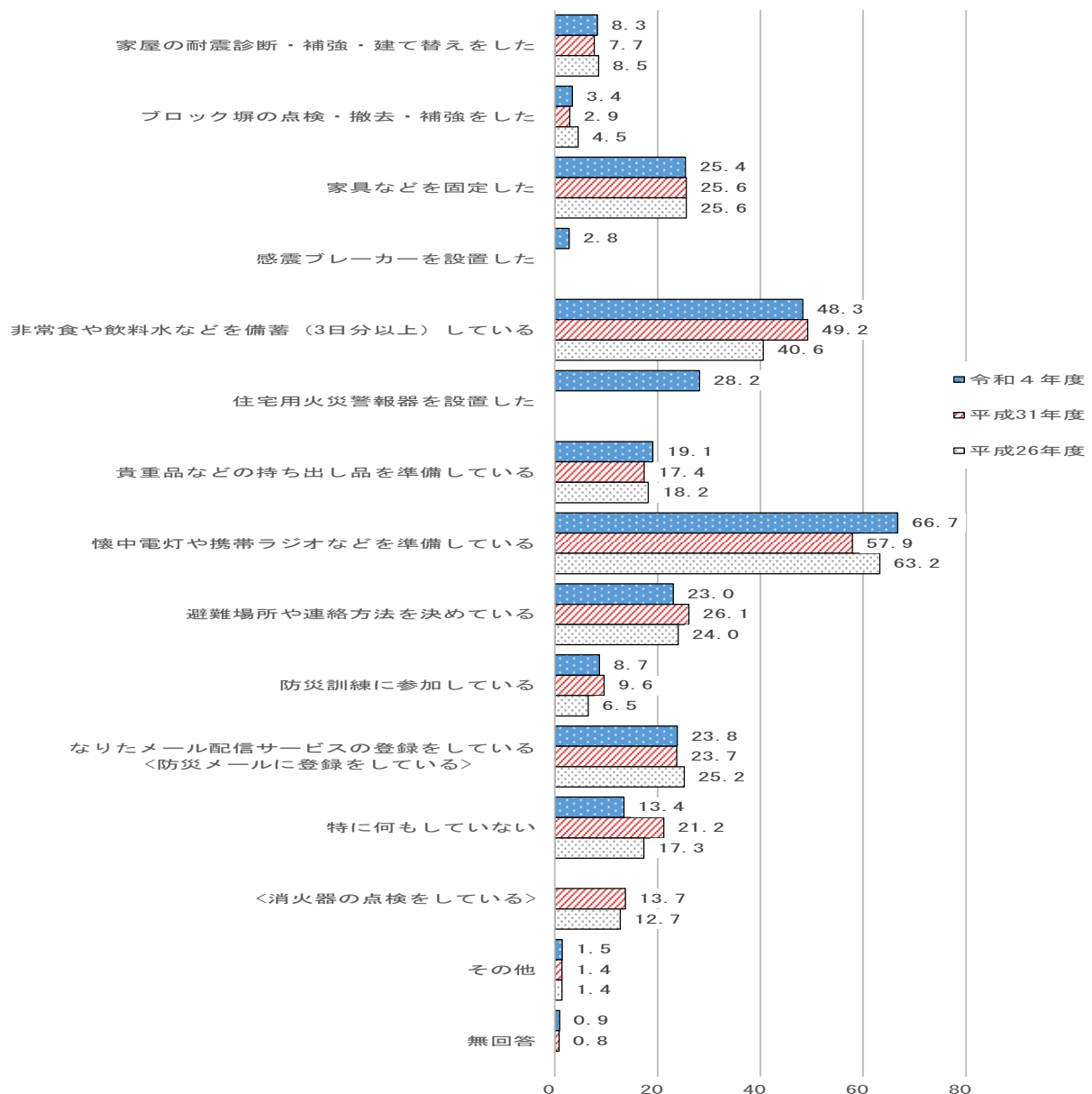
【a 住環境について】

(1) 災害への備えでしていること

問13 あなたのご家庭では、大地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことをしていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

家庭における災害への備えについては、「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が66.7%と最も多く、次いで「非常食や飲料水などを備蓄している」48.3%、「家具などを固定した」25.4%となっています。経年比較では、「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」の増加が見られます。

(%)

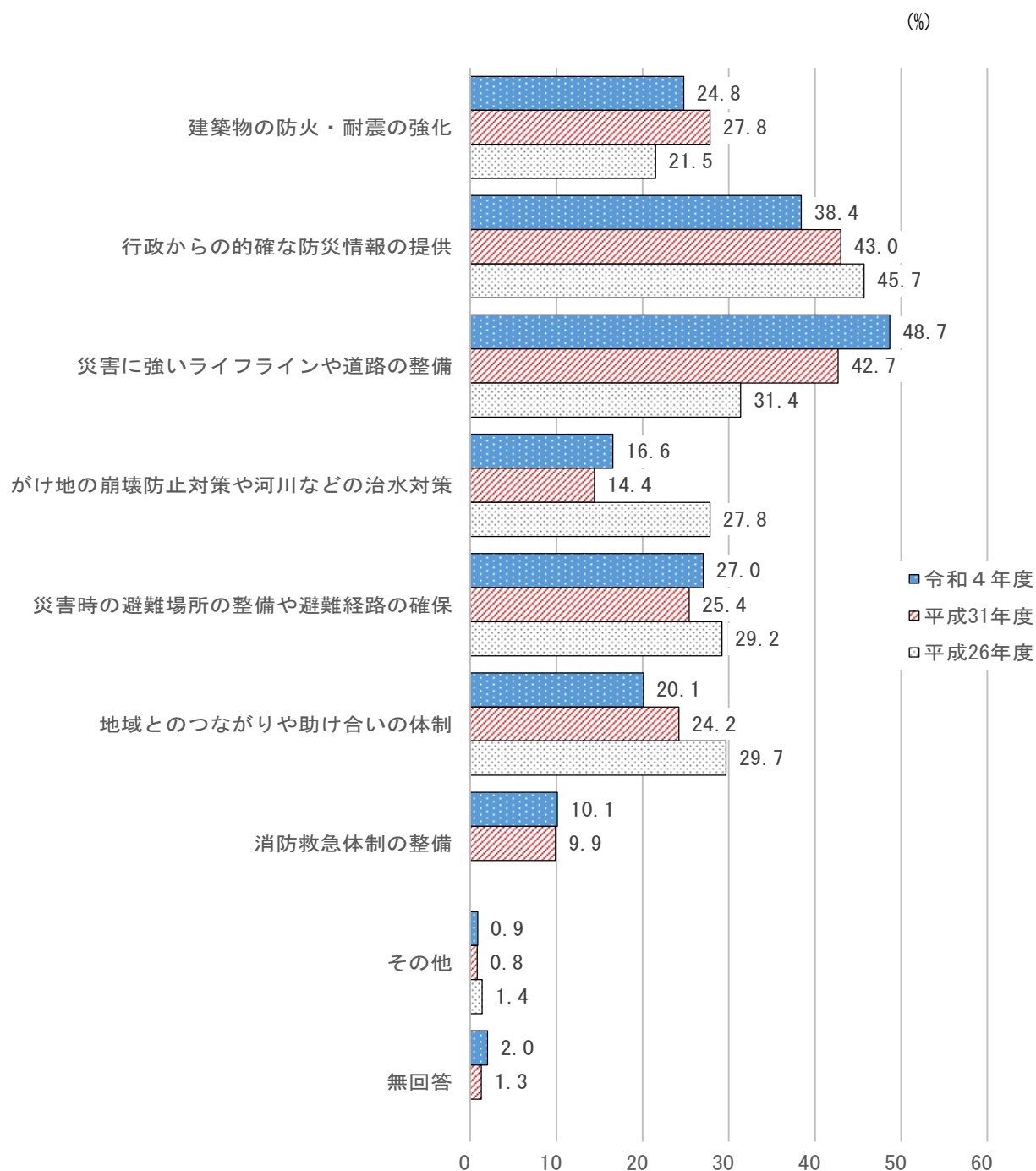


選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 家屋の耐震診断・補強・建て替えをした	183	8.3%	167	7.7%	376	8.5%
(2) ブロック塀の点検・撤去・補強をした	76	3.4%	64	2.9%	200	4.5%
(3) 家具などを固定した	561	25.4%	556	25.6%	1,125	25.6%
(4) 感震ブレーカーを設置した	61	2.8%	-	-	-	-
(5) 非常食や飲料水などを備蓄（3日分以上）している	1,064	48.3%	1,071	49.2%	1,788	40.6%
(6) 住宅用火災警報器を設置した	621	28.2%	-	-	-	-
(7) 貴重品などの持ち出し品を準備している	421	19.1%	379	17.4%	800	18.2%
(8) 懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	1,471	66.7%	1,259	57.9%	2,784	63.2%
(9) 避難場所や連絡方法を決めている	508	23.0%	567	26.1%	1,055	24.0%
(10) 防災訓練に参加している	191	8.7%	209	9.6%	288	6.5%
(11) なりたメール配信サービスの登録をしている 〈防災メールに登録をしている〉	525	23.8%	516	23.7%	1,111	25.2%
(12) 特に何もしていない	296	13.4%	461	21.2%	760	17.3%
(13) 〈消火器の点検をしている〉	-	-	299	13.7%	560	12.7%
(14) その他	32	1.5%	30	1.4%	60	1.4%
無回答	20	0.9%	18	0.8%	-	-
合計	6,030	-	5,596	-	10,907	-

(2) 防災まちづくりで重要なこと

問14 大地震や風水害などの災害に備えて、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

災害に備えてどのようなことが重要だと思うかについては、「災害に強いライフラインや道路の整備」が48.7%と最も多く、次いで「行政からの的確な防災情報の提供」38.4%、「災害時の避難場所の整備や避難経路の確保」27.0%となっています。経年比較では、「災害に強いライフラインや道路の整備」が増加傾向となっています。

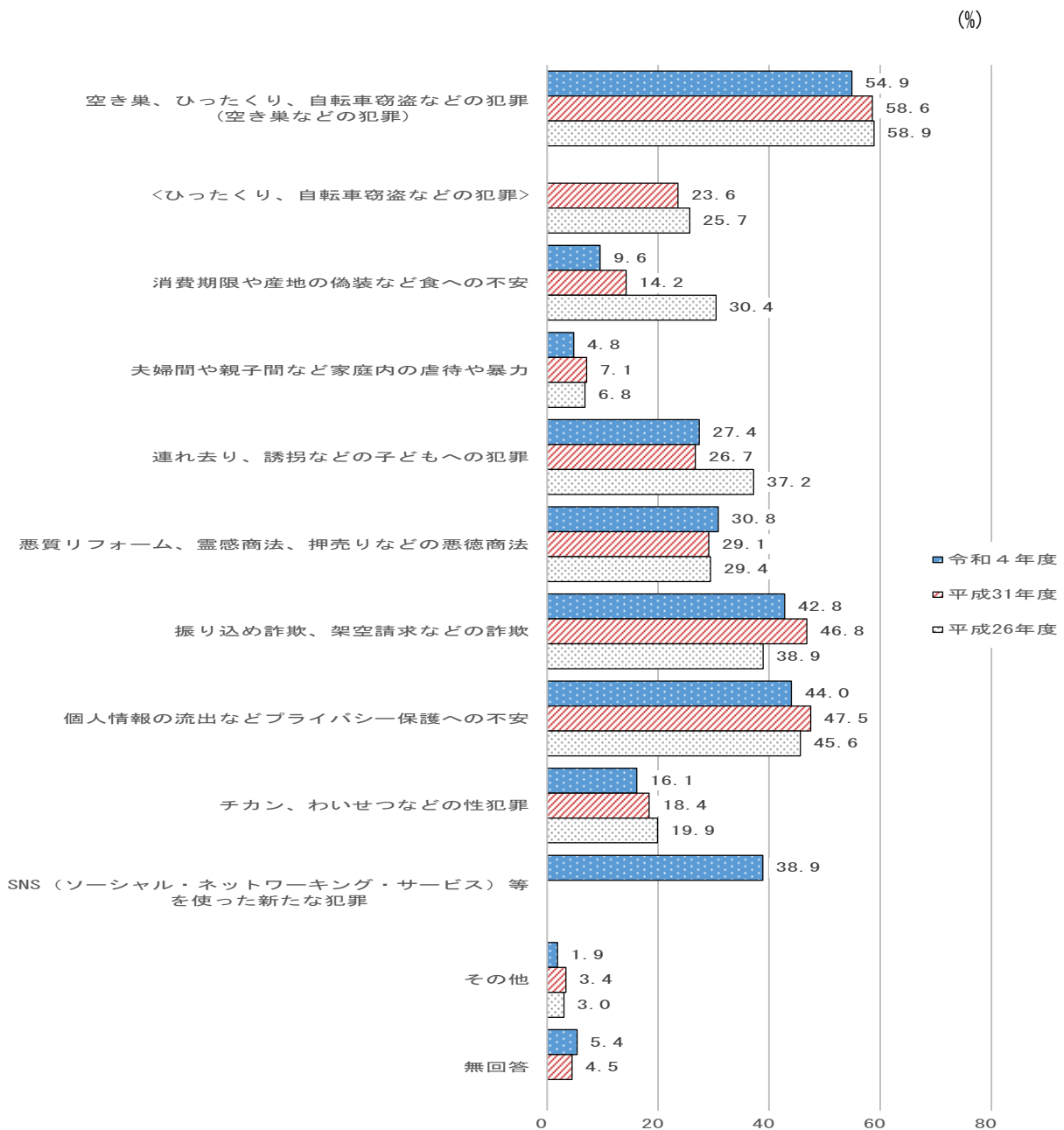


選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 建築物の防火・耐震の強化	546	24.8%	606	27.8%	919	21.5%
(2) 行政からの的確な防災情報の提供	847	38.4%	935	43.0%	1,952	45.7%
(3) 災害に強いライフラインや道路の整備	1,073	48.7%	929	42.7%	1,341	31.4%
(4) がけ地の崩壊防止対策や河川などの治水対策	365	16.6%	314	14.4%	1,188	27.8%
(5) 災害時の避難場所の整備や避難経路の確保	596	27.0%	552	25.4%	1,248	29.2%
(6) 地域とのつながりや助け合いの体制	443	20.1%	527	24.2%	1,268	29.7%
(7) 消防救急体制の整備	223	10.1%	216	9.9%	-	-
(8) その他	19	0.9%	17	0.8%	59	1.4%
無回答	44	2.0%	28	1.3%	-	-
合計	4,156	-	4,124	-	7,975	-

(3) 犯罪等で不安を感じること

問15 あなたの身の回りの犯罪等に関して、何か不安を感じることはありますか。
あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

身の回りの犯罪等に関して不安を感じることは、「空き巣、ひったくり、自転車窃盗などの犯罪」が54.9%と最も多く、次いで「個人情報の流出などプライバシー保護への不安」44.0%、「振り込め詐欺、架空請求などの詐欺」42.8%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向であるとともに、今回新たに選択項目として加えた「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を使った新たな犯罪」が上位3項目に次ぐ多い回答となっています。



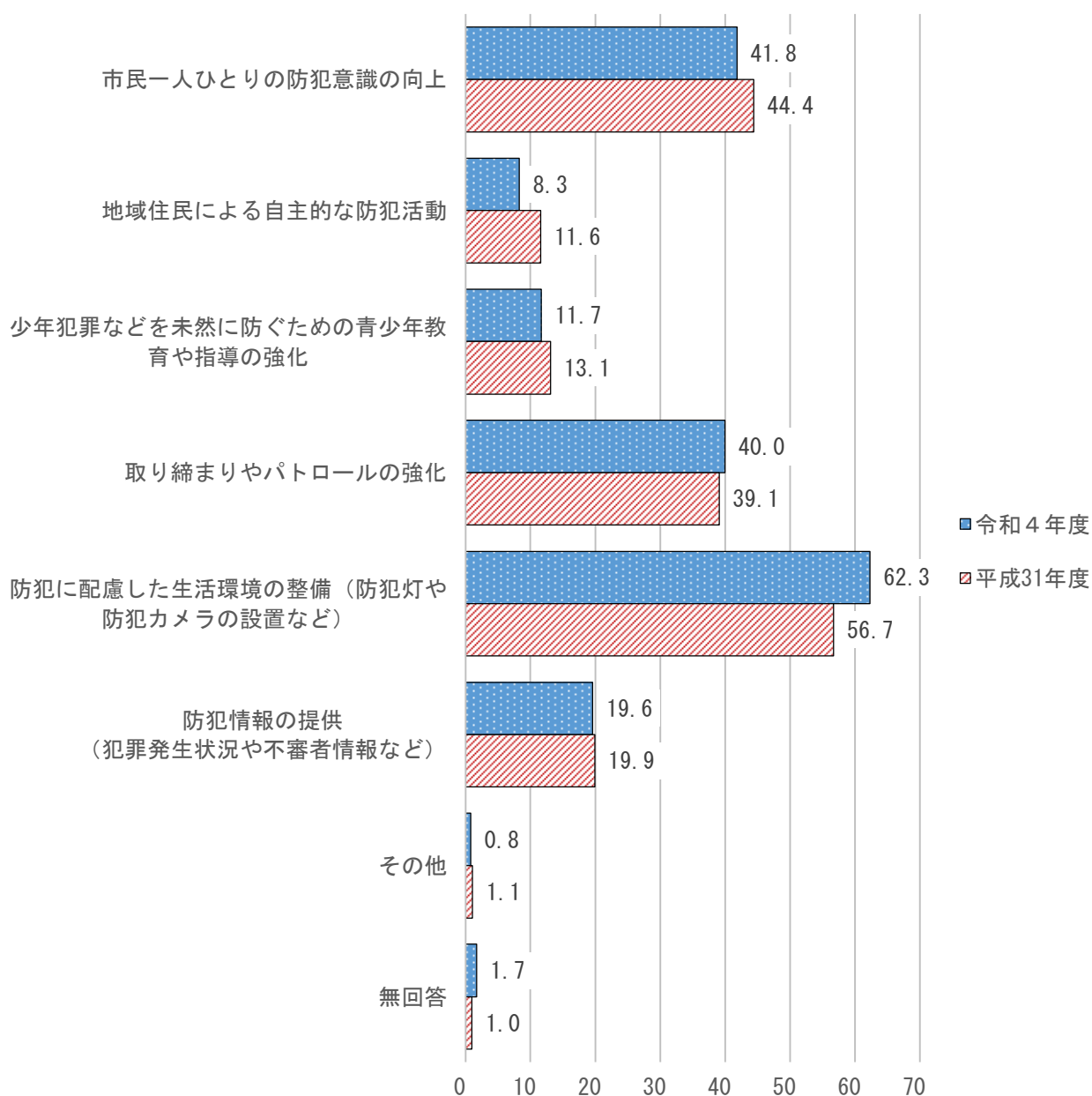
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 空き巣、ひったくり、自転車窃盗などの犯罪（空き巣などの犯罪）	1,211	54.9%	1,276	58.6%	2,517	58.9%
(2) <ひったくり、自転車窃盗などの犯罪>	-	-	514	23.6%	1,100	25.7%
(3) 消費期限や産地の偽装など食への不安	211	9.6%	309	14.2%	1,299	30.4%
(4) 夫婦間や親子間など家庭内の虐待や暴力	106	4.8%	154	7.1%	290	6.8%
(5) 連れ去り、誘拐などの子どもへの犯罪	604	27.4%	582	26.7%	1,589	37.2%
(6) 悪質リフォーム、靈感商法、押売りなどの悪徳商法	680	30.8%	634	29.1%	1,257	29.4%
(7) 振り込め詐欺、架空請求などの詐欺	944	42.8%	1,019	46.8%	1,663	38.9%
(8) 個人情報の流出などプライバシー保護への不安	971	44.0%	1,034	47.5%	1,947	45.6%
(9) チカン、わいせつなどの性犯罪	356	16.1%	400	18.4%	849	19.9%
(10) SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を使った新たな犯罪	857	38.9%	-	-	-	-
(11) その他	41	1.9%	74	3.4%	130	3.0%
無回答	119	5.4%	99	4.5%	-	-
合計	6,100	-	6,095	-	12,641	-

(4) 防犯まちづくりで重要なこと

問16 防犯対策についてどのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

重要だと思う防犯対策については、「防犯に配慮した生活環境の整備（防犯灯や防犯カメラの設置など）」が62.3%と最も多く、次いで「市民一人ひとりの防犯意識の向上」41.8%、「取り締まりやパトロールの強化」40.0%となっています。経年変化でも概ね同様の傾向であり、最も多い「防犯に配慮した生活環境の整備（防犯灯や防犯カメラの設置など）」は増加傾向にあります。

(%)

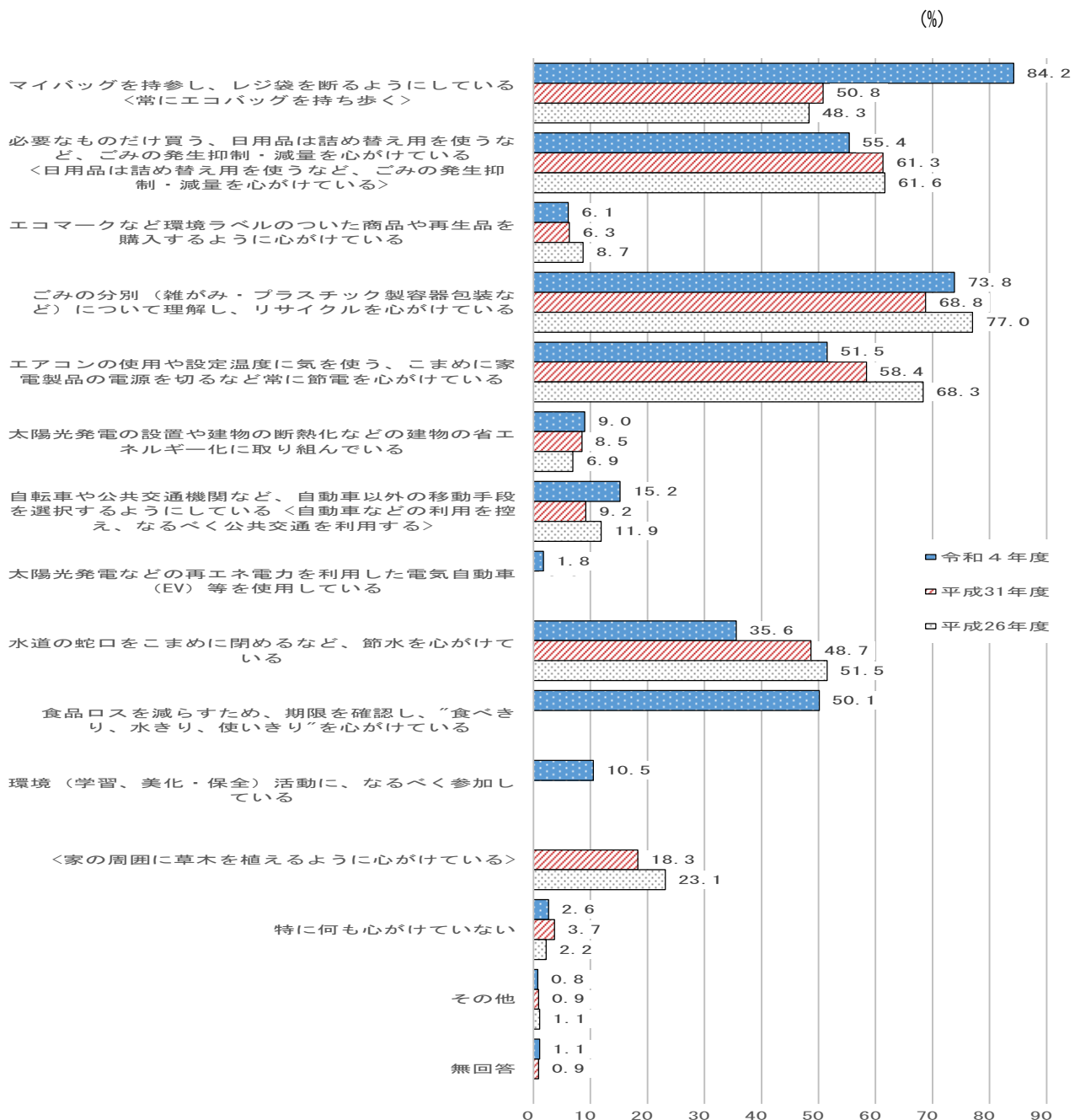


選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 市民一人ひとりの防犯意識の向上	922	41.8%	967	44.4%
(2) 地域住民による自主的な防犯活動	183	8.3%	253	11.6%
(3) 少年犯罪などを未然に防ぐための青少年教育や指導の強化	258	11.7%	286	13.1%
(4) 取り締まりやパトロールの強化	881	40.0%	850	39.1%
(5) 防犯に配慮した生活環境の整備（防犯灯や防犯カメラの設置など）	1,374	62.3%	1,234	56.7%
(6) 防犯情報の提供（犯罪発生状況や不審者情報など）	432	19.6%	433	19.9%
(7) その他	18	0.8%	24	1.1%
無回答	38	1.7%	22	1.0%
合計	4,106	-	4,069	-

(5) 環境保全で取り組んでいること

問17 環境を保全するために、あなたが普段取り組んでいることは、次のうちどのようなことですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

環境保全のために普段取り組んでいることは、「マイバッグを持参し、レジ袋を断るようになっている」が84.2%と最も多く、次いで「ごみの分別（雑がみ・プラスチック製容器包装など）について理解し、リサイクルを心がけている」73.8%、「必要なものだけ買う、日用品は詰め替え用を使うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけている」55.4%となっています。経年比較では、「マイバッグを持参し、レジ袋を断るようになっている」が大きく増加しています。



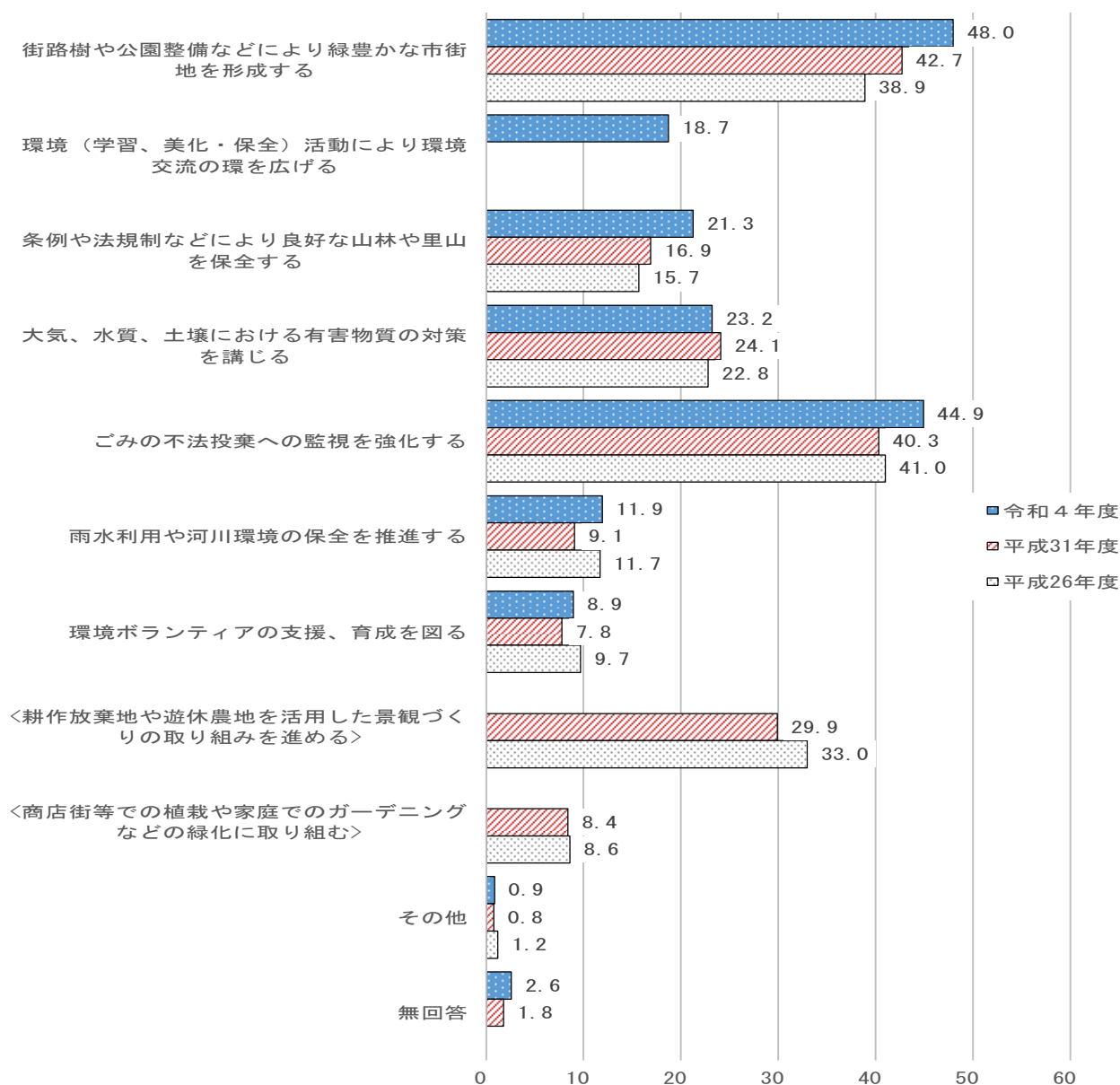
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) マイバッグを持参し、レジ袋を断るよう している<常にエコバッグを持ち歩く>	1,857	84.2%	1,105	50.8%	2,124	48.3%
(2) 必要なものだけ買う、日用品は詰替用を使 うなど、ごみの発生抑制・減量を心がけて いる<日用品は詰替用を使うなど、ごみの 発生抑制・減量を心がけている>	1,221	55.4%	1,334	61.3%	2,704	61.6%
(3) エコマークなど環境ラベルのついた商品や 再生品を購入するように心がけている	135	6.1%	137	6.3%	384	8.7%
(4) ごみの分別（雑がみ・プラスチック製容器 包装など）について理解し、リサイクルを 心がけている	1,628	73.8%	1,496	68.8%	3,382	77.0%
(5) エアコンの使用や設定温度に気を使う、こ まめに家電製品の電源を切るなど常に節電 を心がけている	1,136	51.5%	1,270	58.4%	3,002	68.3%
(6) 太陽光発電の設置や建物の断熱化などの建 物の省エネルギー化に取り組んでいる	199	9.0%	184	8.5%	304	6.9%
(7) 自転車や公共交通機関など、自動車以外の 移動手段を選択するようにしている<自動 車などの利用を控え、なるべく公共交通を 利用する>	335	15.2%	201	9.2%	522	11.9%
(8) 太陽光発電などの再エネ電力を利用した電 気自動車（EV）等を使用している	39	1.8%	-	-	-	-
(9) 水道の蛇口をこまめに閉めるなど、節水を 心がけている	784	35.6%	1,060	48.7%	2,264	51.5%
(10) 食品ロスを減らすため、期限を確認し、“ 食べきり、水きり、使いきり”を心がけて いる	1,105	50.1%	-	-	-	-
(11) 環境（学習、美化・保全）活動に、なるべ く参加している	231	10.5%	-	-	-	-
(12) <家の周囲に草木を植えるように心がけて いる>	-	-	398	18.3%	1,014	23.1%
(13) 特に何も心がけていない	58	2.6%	80	3.7%	96	2.2%
(14) その他	17	0.8%	20	0.9%	50	1.1%
無回答	24	1.1%	20	0.9%	-	-
合計	8,769	-	7,305	-	15,846	-

(6) 自然保護や緑のまちづくりで取り組むべきこと

問18 自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、市民と行政が取り組むべきことは、次のうちどれですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

自然環境を保護し、緑豊かなまちをつくるために、市民と行政が取り組むべきことは、「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」が48.0%と最も多く、次いで「ごみの不法投棄への監視を強化する」44.9%、「大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる」23.2%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向であるとともに、「街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する」が増加傾向にあります。

(%)



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 街路樹や公園整備などにより緑豊かな市街地を形成する	1,058	48.0%	930	42.7%	1,639	38.9%
(2) 環境（学習、美化・保全）活動により環境交流の環を広げる	413	18.7%	-	-	-	-
(3) 条例や法規制などにより良好な山林や里山を保全する	469	21.3%	367	16.9%	662	15.7%
(4) 大気、水質、土壌における有害物質の対策を講じる	512	23.2%	524	24.1%	960	22.8%
(5) ごみの不法投棄への監視を強化する	990	44.9%	876	40.3%	1,725	41.0%
(6) 雨水利用や河川環境の保全を推進する	263	11.9%	197	9.1%	494	11.7%
(7) 環境ボランティアの支援、育成を図る	197	8.9%	170	7.8%	408	9.7%
(8) <耕作放棄地や遊休農地を活用した景観づくりの取り組みを進める>	-	-	651	29.9%	1,391	33.0%
(9) <商店街等での植栽や家庭でのガーデニングなどの緑化に取り組む>	-	-	182	8.4%	363	8.6%
(10) その他	19	0.9%	18	0.8%	50	1.2%
無回答	57	2.6%	39	1.8%	-	-
合計	3,978	-	3,954	-	7,692	-

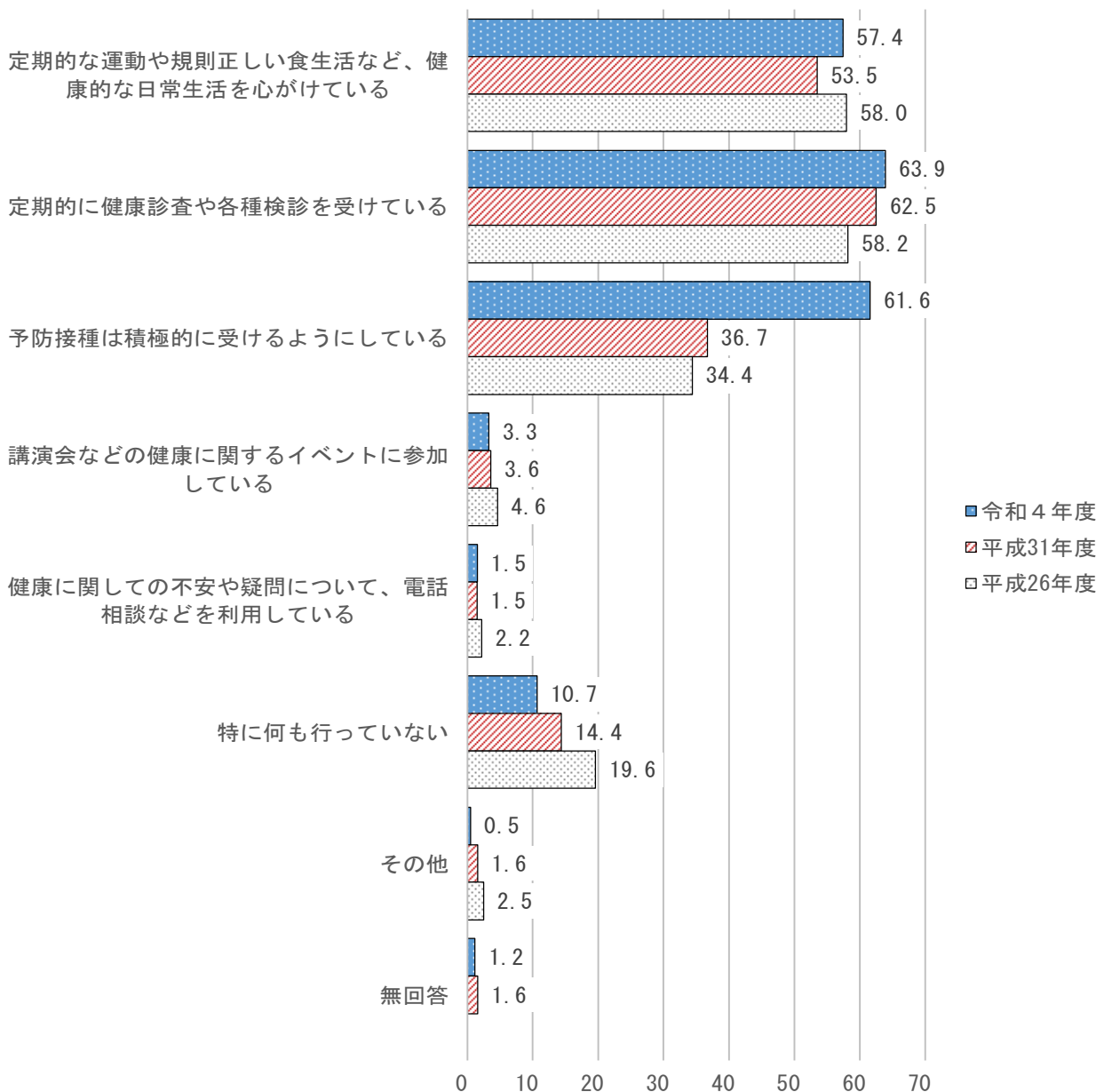
【b 保健・医療・福祉について】

(1) 健康のために取り組んでいること

問19 あなたは、普段の生活の中で、健康のためにどのようなことに取り組んでいますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

健康のために取り組んでいることは、「定期的に健康診査や各種検診を受けている」が63.9%と最も多く、次いで「予防接種は積極的に受けるようにしている」61.6%、「定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている」57.4%となっています。経年比較では、「予防接種は積極的に受けるようにしている」の大きな伸びが目立っており、コロナ禍等の影響から、予防接種への関心が高まっていることも考えられます。

(%)



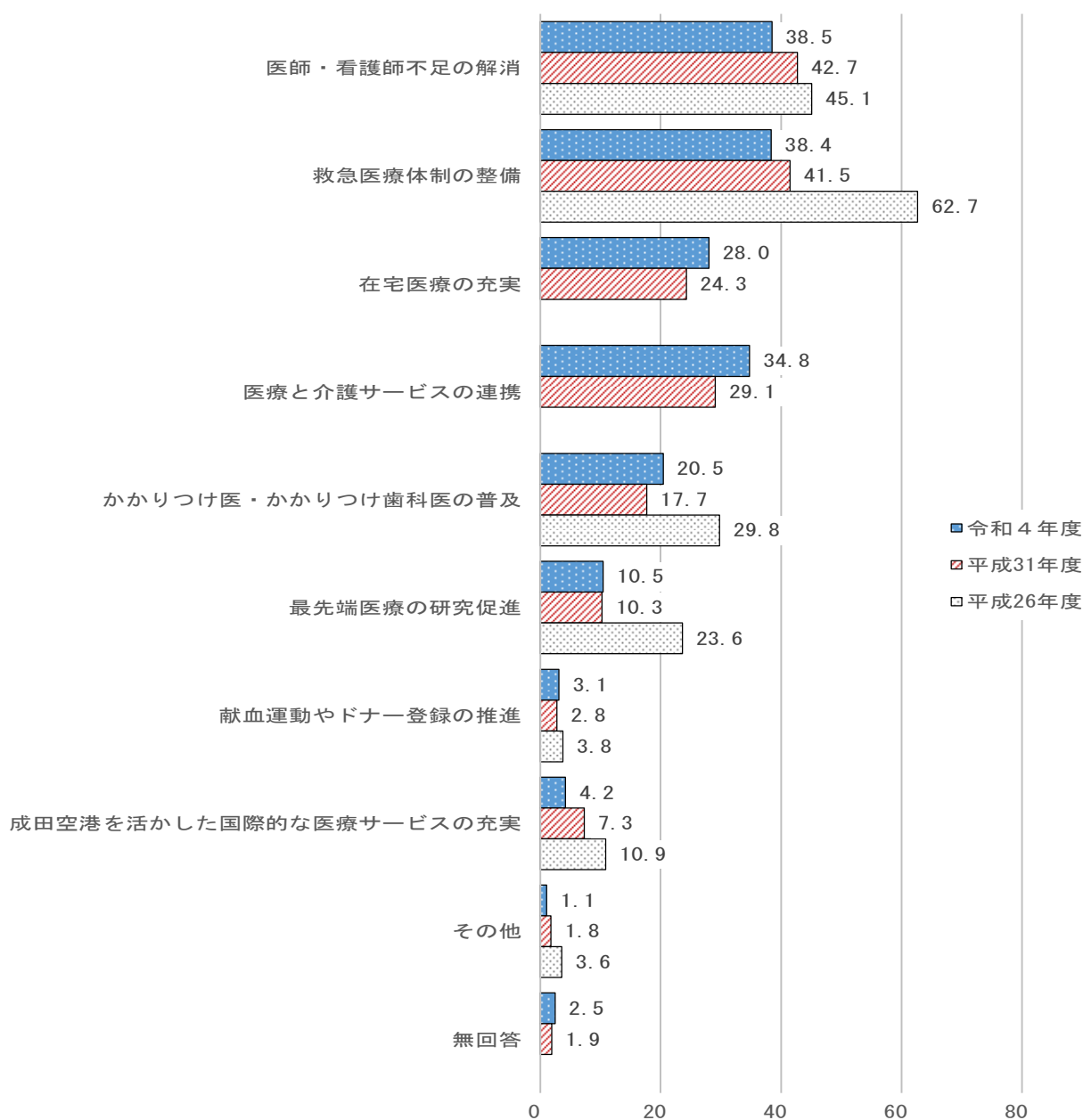
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 定期的な運動や規則正しい食生活など、健康的な日常生活を心がけている	1,266	57.4%	1,165	53.5%	2,549	58.0%
(2) 定期的に健康診査や各種検診を受けている	1,409	63.9%	1,361	62.5%	2,554	58.2%
(3) 予防接種は積極的に受けるようにしている	1,358	61.6%	798	36.7%	1,511	34.4%
(4) 講演会などの健康に関するイベントに参加している	73	3.3%	79	3.6%	203	4.6%
(5) 健康に関しての不安や疑問について、電話相談などを利用している	34	1.5%	33	1.5%	95	2.2%
(6) 特に何も行っていない	235	10.7%	313	14.4%	862	19.6%
(7) その他	11	0.5%	35	1.6%	109	2.5%
無回答	26	1.2%	34	1.6%	-	-
合計	4,412	-	3,818	-	7,883	-

(2) 医療サービス向上に必要なこと

問20 成田市における医療サービスのさらなる向上のために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があるとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

医療サービス向上のために、力を入れていく必要があることは、「医師・看護師不足の解消」が38.5%と最も多く、次いで「救急医療体制の整備」38.4%、「医療と介護サービスの連携」34.8%となっています。経年比較では、「医療と介護サービスの連携」の増加傾向などが見られます。

(%)

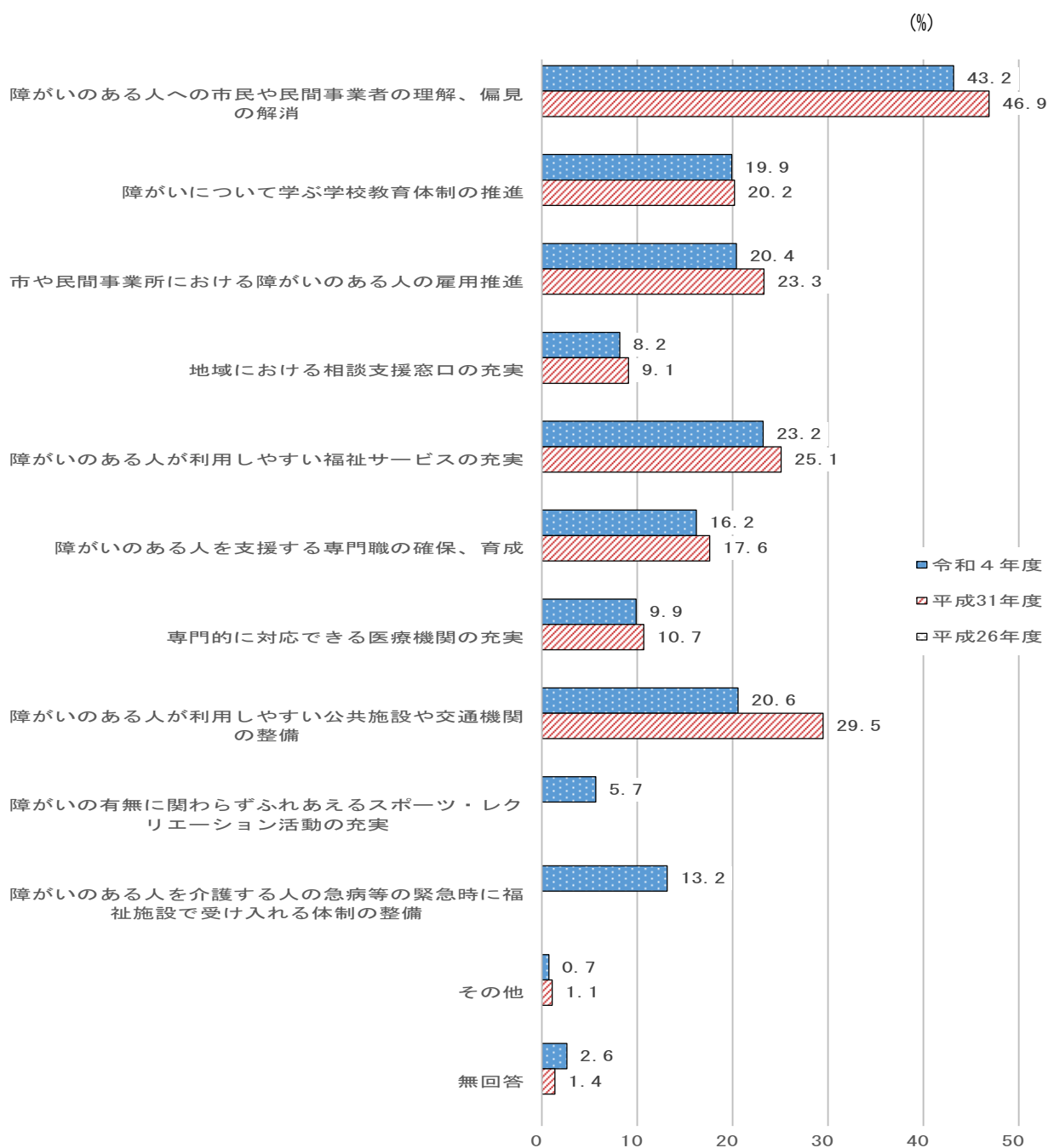


選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 医師・看護師不足の解消	849	38.5%	930	42.7%	1,933	45.1%
(2) 救急医療体制の整備	846	38.4%	902	41.5%	2,686	62.7%
(3) 在宅医療の充実	618	28.0%	528	24.3%	-	-
(4) 医療と介護サービスの連携	767	34.8%	633	29.1%	-	-
(5) かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及	451	20.5%	385	17.7%	1,276	29.8%
(6) 最先端医療の研究促進	231	10.5%	225	10.3%	1,011	23.6%
(7) 献血運動やドナー登録の推進	69	3.1%	62	2.8%	161	3.8%
(8) 成田空港を活かした国際的な医療サービスの充実	93	4.2%	159	7.3%	469	10.9%
(9) その他	24	1.1%	40	1.8%	156	3.6%
無回答	55	2.5%	41	1.9%	-	-
合計	4,003	-	3,905	-	7,692	-

(3) 障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり

問21 障がいのある人もない人も、ともに暮らしやすい社会を築くために、あなたはどのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

障がいのある人もない人もともに暮らしやすい社会の構築のために、力を入れていく必要があることは、「障がいのある人への市民や民間事業者の理解、偏見の解消」が43.2%と最も多く、次いで「障がいのある人が利用しやすい福祉サービスの充実」23.2%、「障がいのある人が利用しやすい公共施設や交通機関の整備」20.6%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

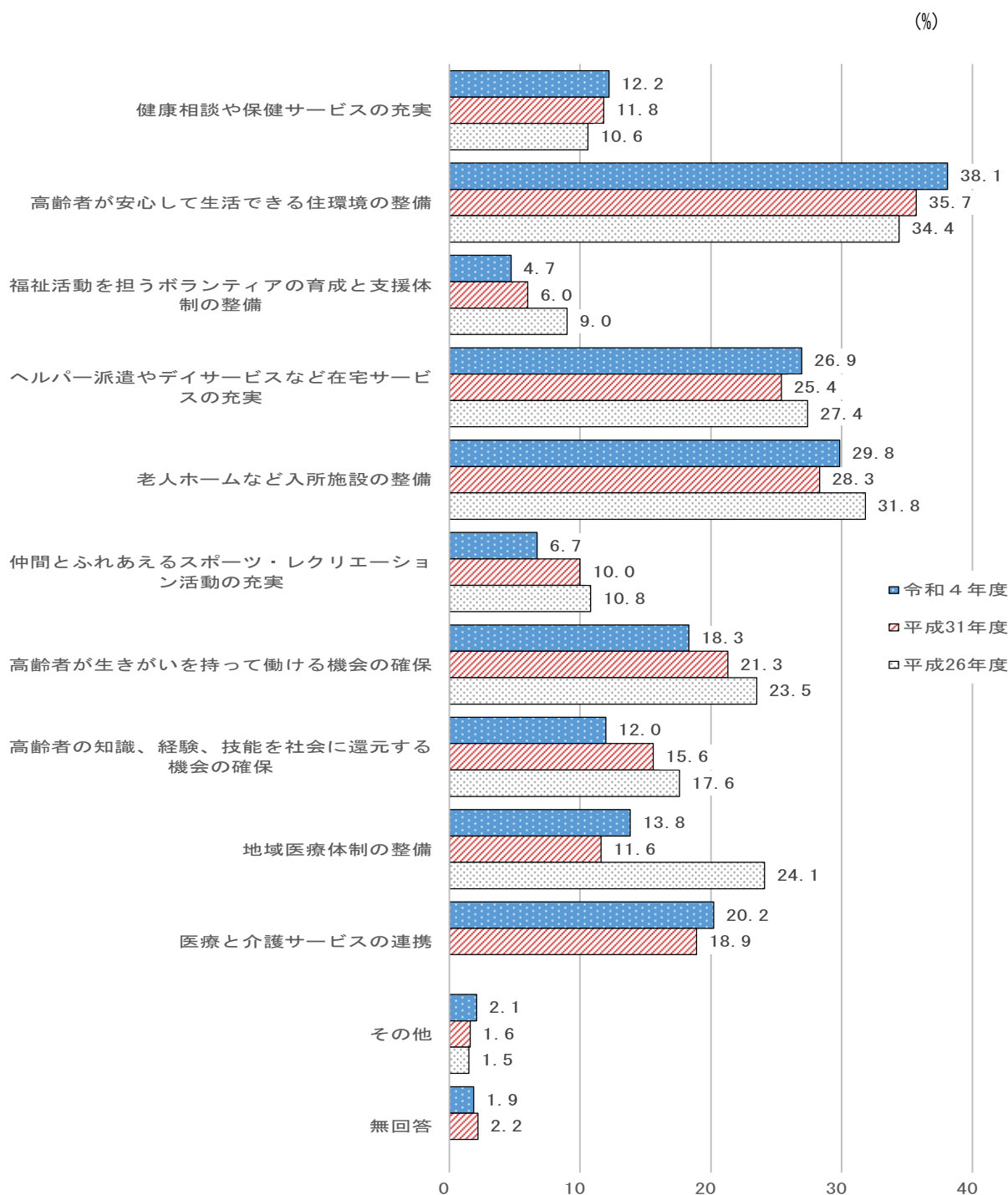


選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 障がいのある人への市民や民間事業者の理解、偏見の解消	952	43.2%	1,020	46.9%
(2) 障がいについて学ぶ学校教育体制の推進	439	19.9%	439	20.2%
(3) 市や民間事業所における障がいのある人の雇用推進	450	20.4%	506	23.3%
(4) 地域における相談支援窓口の充実	180	8.2%	197	9.1%
(5) 障がいのある人が利用しやすい福祉サービスの充実	512	23.2%	546	25.1%
(6) 障がいのある人を支援する専門職の確保、育成	357	16.2%	382	17.6%
(7) 専門的に対応できる医療機関の充実	218	9.9%	233	10.7%
(8) 障がいのある人が利用しやすい公共施設や交通機関の整備	454	20.6%	643	29.5%
(9) 障がいの有無に関わらずふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の充実	125	5.7%	-	-
(10) 障がいのある人を介護する人の急病等の緊急時に福祉施設で受け入れる体制の整備	290	13.2%	-	-
(11) その他	16	0.7%	24	1.1%
無回答	58	2.6%	31	1.4%
合計	4,051	-	4,021	-

(4) 高齢化の進展で力を入れるべきこと

問22 高齢化が進むなかで、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

高齢化が進むなかで、力を入れていく必要があることは、「高齢者が安心して生活できる住環境の整備」が38.1%と最も多く、次いで「老人ホームなど入所施設の整備」29.8%、「ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実」26.9%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。



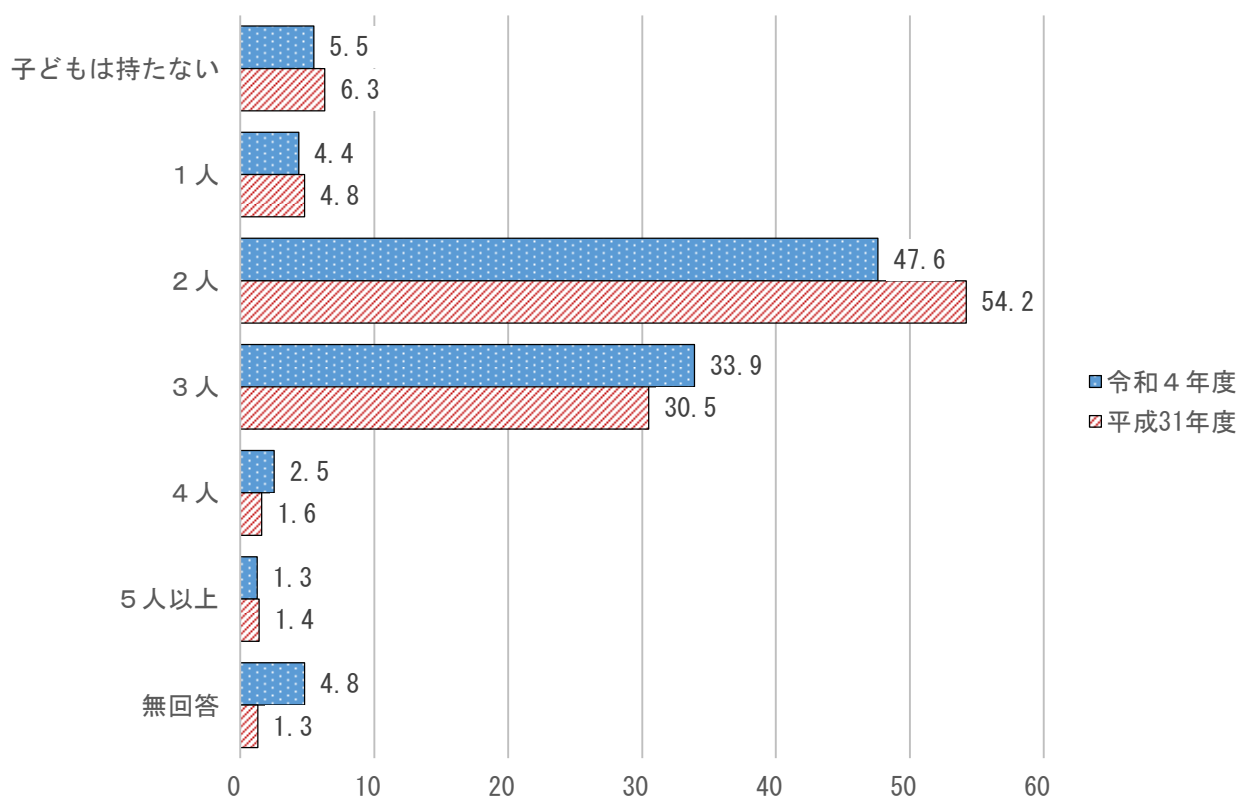
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 健康相談や保健サービスの充実	269	12.2%	256	11.8%	439	10.6%
(2) 高齢者が安心して生活できる住環境の整備	840	38.1%	776	35.7%	1,430	34.4%
(3) 福祉活動を担うボランティアの育成と支援体制の整備	104	4.7%	130	6.0%	376	9.0%
(4) ヘルパー派遣やデイサービスなど在宅サービスの充実	594	26.9%	553	25.4%	1,140	27.4%
(5) 老人ホームなど入所施設の整備	658	29.8%	615	28.3%	1,320	31.8%
(6) 仲間とふれあえるスポーツ・レクリエーション活動の充実	148	6.7%	217	10.0%	448	10.8%
(7) 高齢者が生きがいを持って働ける機会の確保	404	18.3%	464	21.3%	976	23.5%
(8) 高齢者の知識、経験、技能を社会に還元する機会の確保	264	12.0%	340	15.6%	733	17.6%
(9) 地域医療体制の整備	305	13.8%	253	11.6%	1,001	24.1%
(10) 医療と介護サービスの連携	446	20.2%	411	18.9%	-	-
(11) その他	46	2.1%	35	1.6%	64	1.5%
無回答	41	1.9%	48	2.2%	-	-
合計	4,119	-	4,098	-	7,927	-

(5) 理想の子どもの人数

問23 あなたにとって、理想の子どもの数（結婚や妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合の子どもの数）は何人ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

理想の子どもの数は、「2人」が47.6%と最も多く、次いで「3人」33.9%、「子どもは持たない」5.5%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

(%)



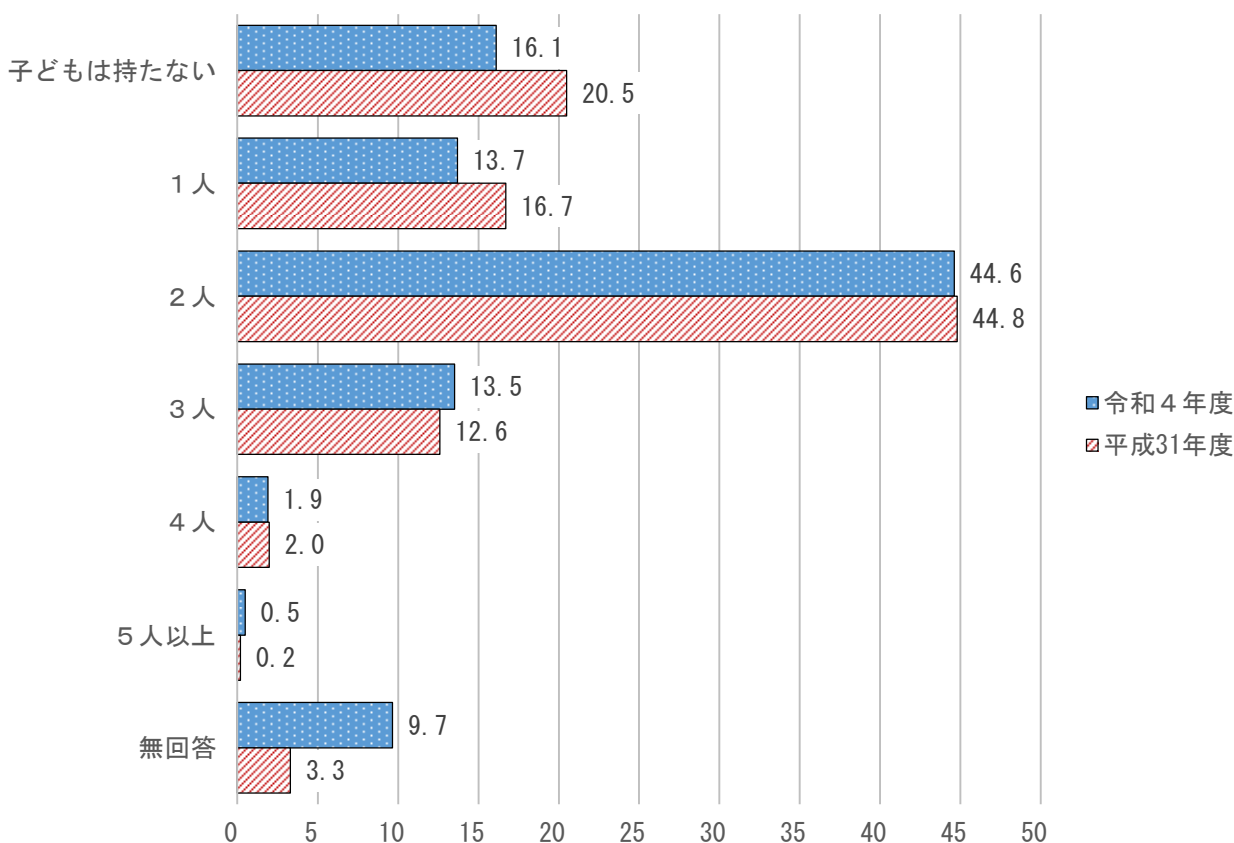
選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 子どもは持たない	121	5.5%	54	6.3%
(2) 1人	96	4.4%	41	4.8%
(3) 2人	1,050	47.6%	466	54.2%
(4) 3人	748	33.9%	262	30.5%
(5) 4人	56	2.5%	14	1.6%
(6) 5人以上	28	1.3%	12	1.4%
無回答	106	4.8%	11	1.3%
合計	2,205	100.0%	860	100.0%

(6) 現在のお子様も含め現状で予定している子どもの人数

問24 あなたにとって、現在のお子様も含めて、現状で予定している子どもの数は何人ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

現在のお子様も含めて、現状で予定している子どもの数は、「2人」が44.6%と最も多く、次いで「子どもは持たない」16.1%、「1人」13.7%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

(%)

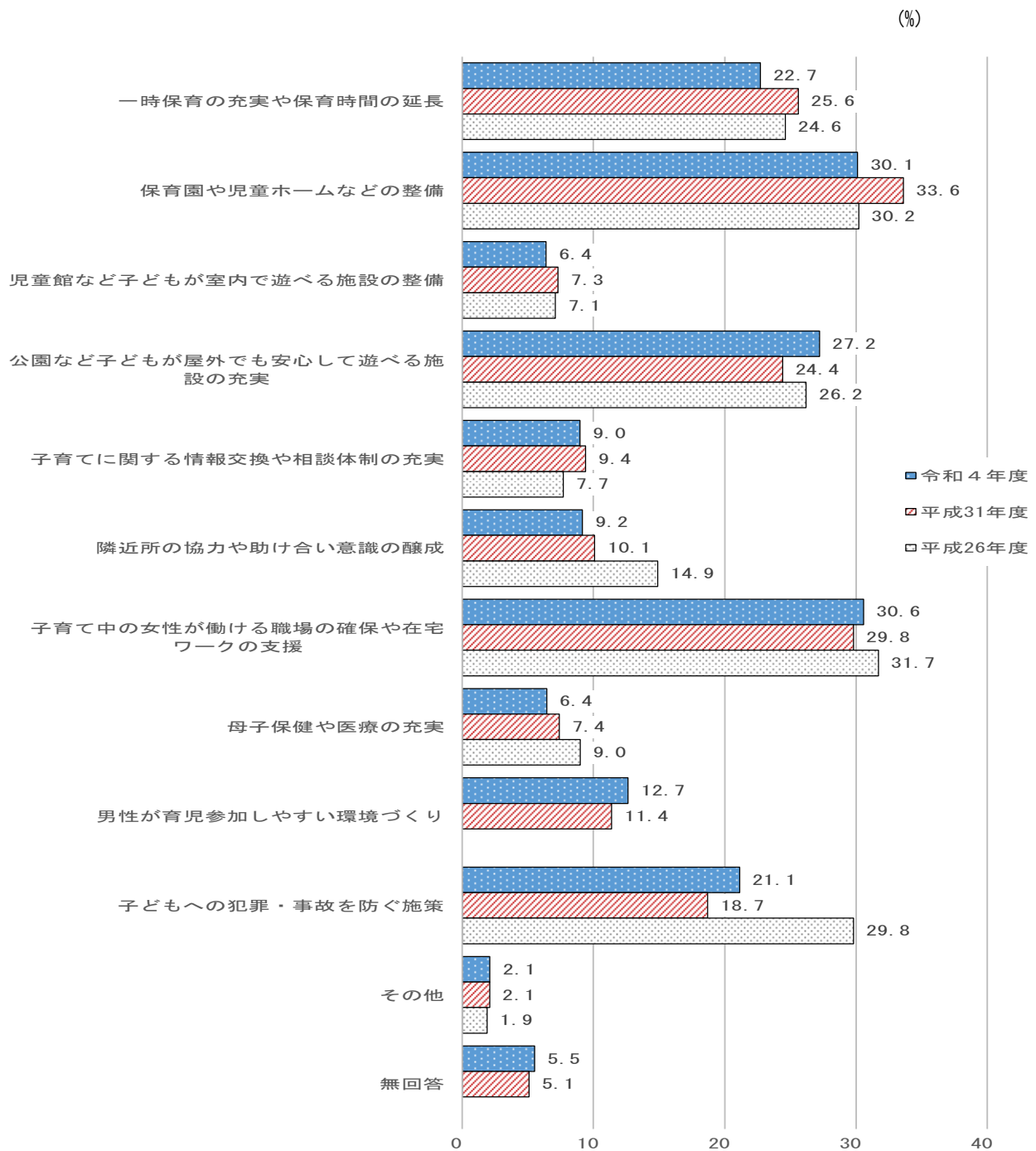


選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 子どもは持たない	355	16.1%	176	20.5%
(2) 1人	302	13.7%	144	16.7%
(3) 2人	984	44.6%	385	44.8%
(4) 3人	298	13.5%	108	12.6%
(5) 4人	42	1.9%	17	2.0%
(6) 5人以上	11	0.5%	2	0.2%
無回答	213	9.7%	28	3.3%
合計	2,205	100.0%	860	100.0%

(7) 子育て支援で力を入れるべきこと

問25 子どもを育てていく上で、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

子どもを育てていく上で力を入れていく必要があることは、「子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援」が30.6%と最も多く、次いで「保育園や児童ホームなどの整備」30.1%、「公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実」27.2%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。



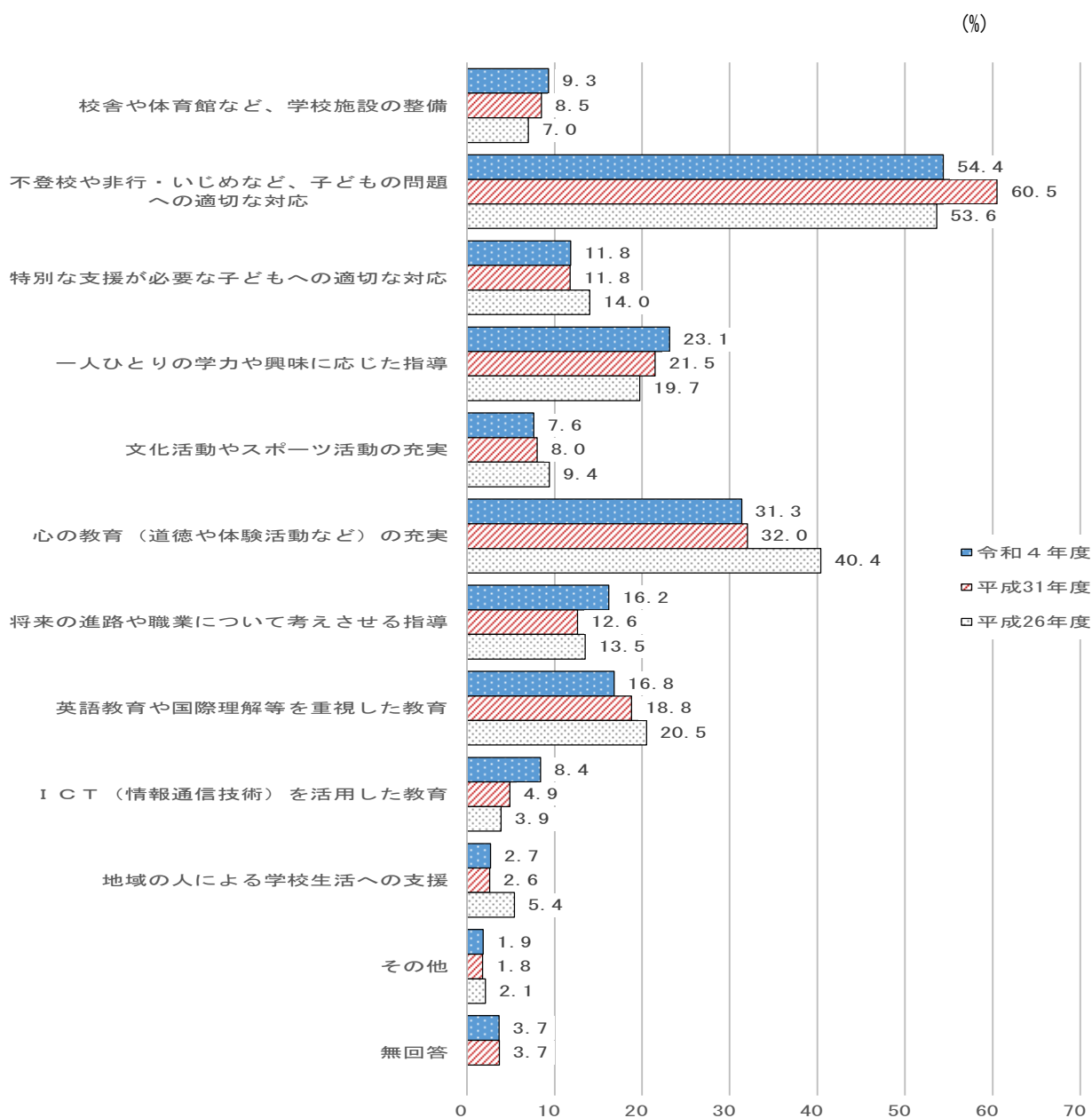
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 一時保育の充実や保育時間の延長	501	22.7%	558	25.6%	1,059	24.6%
(2) 保育園や児童ホームなどの整備	664	30.1%	731	33.6%	1,298	30.2%
(3) 児童館など子どもが室内で遊べる施設の整備	141	6.4%	159	7.3%	306	7.1%
(4) 公園など子どもが屋外でも安心して遊べる施設の充実	600	27.2%	531	24.4%	1,126	26.2%
(5) 子育てに関する情報交換や相談体制の充実	198	9.0%	204	9.4%	332	7.7%
(6) 隣近所の協力や助け合い意識の醸成	202	9.2%	220	10.1%	641	14.9%
(7) 子育て中の女性が働ける職場の確保や在宅ワークの支援	674	30.6%	649	29.8%	1,361	31.7%
(8) 母子保健や医療の充実	142	6.4%	162	7.4%	386	9.0%
(9) 男性が育児参加しやすい環境づくり	279	12.7%	249	11.4%	-	-
(10) 子どもへの犯罪・事故を防ぐ施策	466	21.1%	406	18.7%	1,282	29.8%
(11) その他	47	2.1%	46	2.1%	83	1.9%
無回答	122	5.5%	112	5.1%	-	-
合計	4,036	-	4,027	-	7,874	-

【c 教育・文化について】

(1) 義務教育で力を入れるべきこと

問26 小・中・義務教育学校における教育において、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

小・中・義務教育学校における教育において力を入れていく必要があることは、「不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応」が54.4%と最も多く、次いで「心の教育（道徳や体験活動など）の充実」31.3%、「一人ひとりの学力や興味に応じた指導」23.1%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。



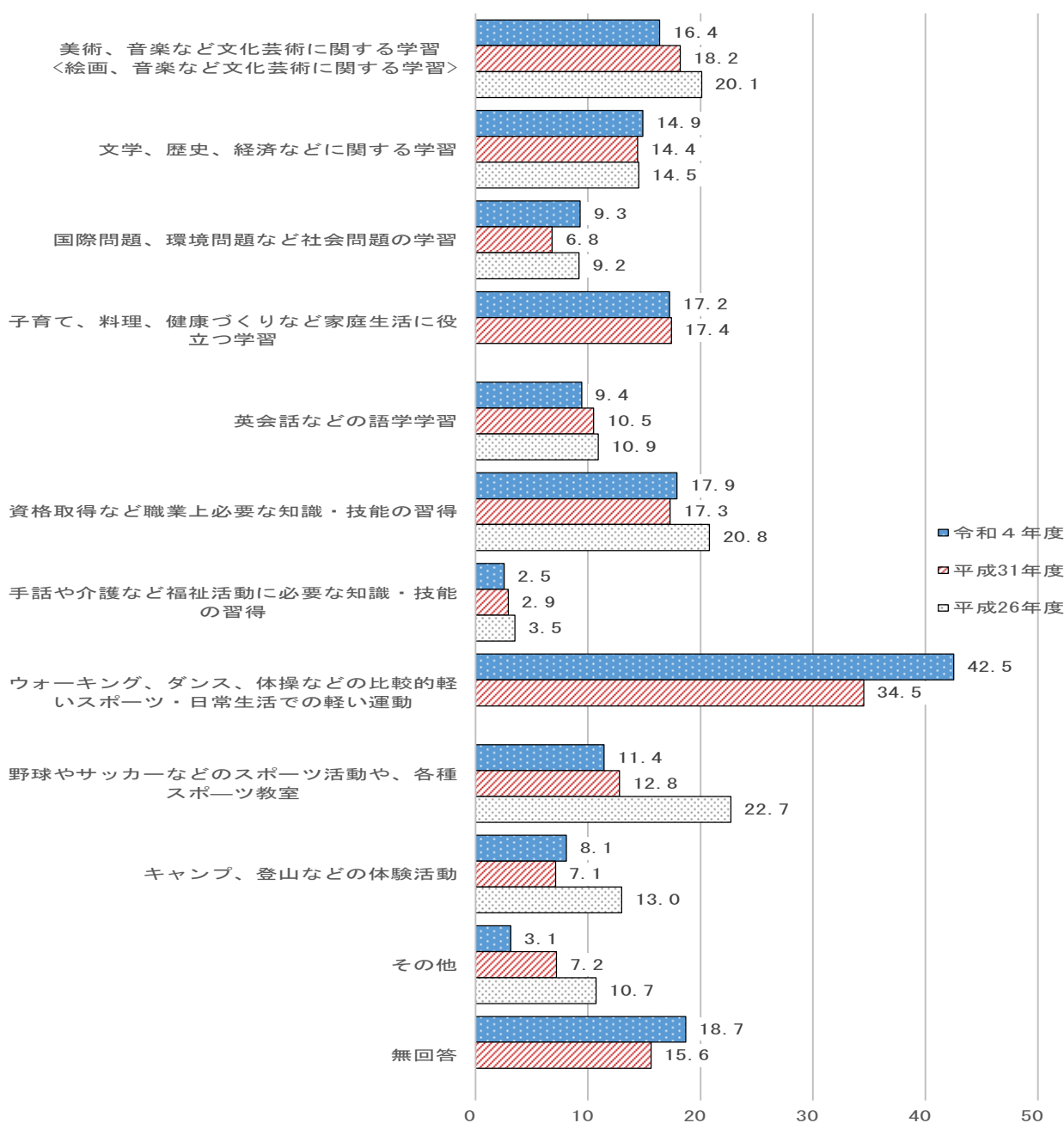
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 校舎や体育館など、学校施設の整備	205	9.3%	185	8.5%	296	7.0%
(2) 不登校や非行・いじめなど、子どもの問題への適切な対応	1,199	54.4%	1,316	60.5%	2,258	53.6%
(3) 特別な支援が必要な子どもへの適切な対応	261	11.8%	257	11.8%	590	14.0%
(4) 一人ひとりの学力や興味に応じた指導	510	23.1%	467	21.5%	829	19.7%
(5) 文化活動やスポーツ活動の充実	168	7.6%	174	8.0%	395	9.4%
(6) 心の教育（道徳や体験活動など）の充実	691	31.3%	697	32.0%	1,705	40.4%
(7) 将来の進路や職業について考えさせる指導	357	16.2%	275	12.6%	571	13.5%
(8) 英語教育や国際理解等を重視した教育	370	16.8%	409	18.8%	863	20.5%
(9) ICT（情報通信技術）を活用した教育	185	8.4%	107	4.9%	165	3.9%
(10) 地域の人による学校生活への支援	59	2.7%	57	2.6%	226	5.4%
(11) その他	41	1.9%	39	1.8%	88	2.1%
無回答	81	3.7%	81	3.7%	-	-
合計	4,127	-	4,064	-	7,986	-

(2) 最近1年間で行った学習やスポーツ

問27 最近1年くらいの中に、あなたが行った学習やスポーツはどのようなもので
 ですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

最近1年間で行った学習やスポーツは、「ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽い運動」が42.5%と最も多く、次いで「資格取得など職業上必要な知識・技能の習得」17.9%、「子育て、料理、健康づくりなど家庭生活に役立つ学習」17.2%となっています。経年比較では、「ウォーキング、ダンス、体操などの比較的軽い運動」の増加が大きくなっています。

(%)



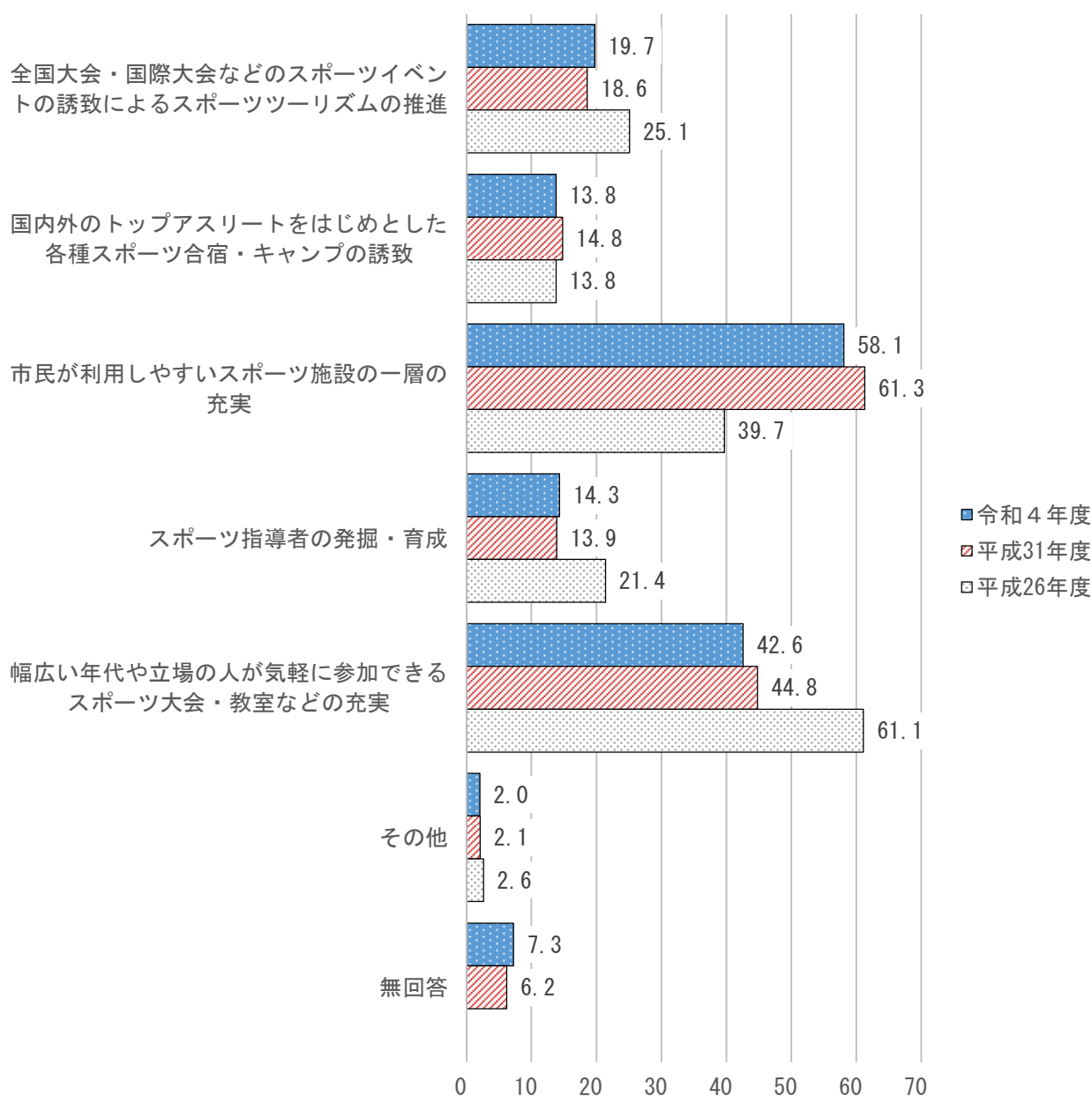
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 美術、音楽など文化芸術に関する学習〈 絵画、音楽など文化芸術に関する学習〉	361	16.4%	396	18.2%	731	20.1%
(2) 文学、歴史、経済などに関する学習	328	14.9%	313	14.4%	529	14.5%
(3) 国際問題、環境問題など社会問題の学習	205	9.3%	148	6.8%	336	9.2%
(4) 子育て、料理、健康づくりなど家庭生活 に役立つ学習	380	17.2%	379	17.4%	-	-
(5) 英会話などの語学学習	208	9.4%	228	10.5%	395	10.9%
(6) 資格取得など職業上必要な知識・技能の 習得	395	17.9%	377	17.3%	756	20.8%
(7) 手話や介護など福祉活動に必要な知識・ 技能の習得	56	2.5%	63	2.9%	126	3.5%
(8) ウォーキング、ダンス、体操などの比較 的軽いスポーツ・日常生活での軽い運動	938	42.5%	750	34.5%	-	-
(9) 野球やサッカーなどのスポーツ活動や、 各種スポーツ教室	252	11.4%	278	12.8%	826	22.7%
(10) キャンプ、登山などの体験活動	178	8.1%	155	7.1%	474	13.0%
(11) その他	69	3.1%	157	7.2%	389	10.7%
無回答	412	18.7%	339	15.6%	-	-
合計	3,782	-	3,583	-	4,562	-

(3) スポーツ振興で力を入れるべきこと

問28 あなたは、スポーツの振興を進めるうえで、どのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

スポーツ振興を進めるうえで力を入れるべきことは、「市民が利用しやすいスポーツ施設の一層の充実」が58.1%と最も多く、次いで「幅広い年代や立場の人が気軽に参加できるスポーツ大会・教室などの充実」42.6%、「全国大会・国際大会などのスポーツイベントの誘致によるスポーツツーリズムの推進」19.7%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

(%)



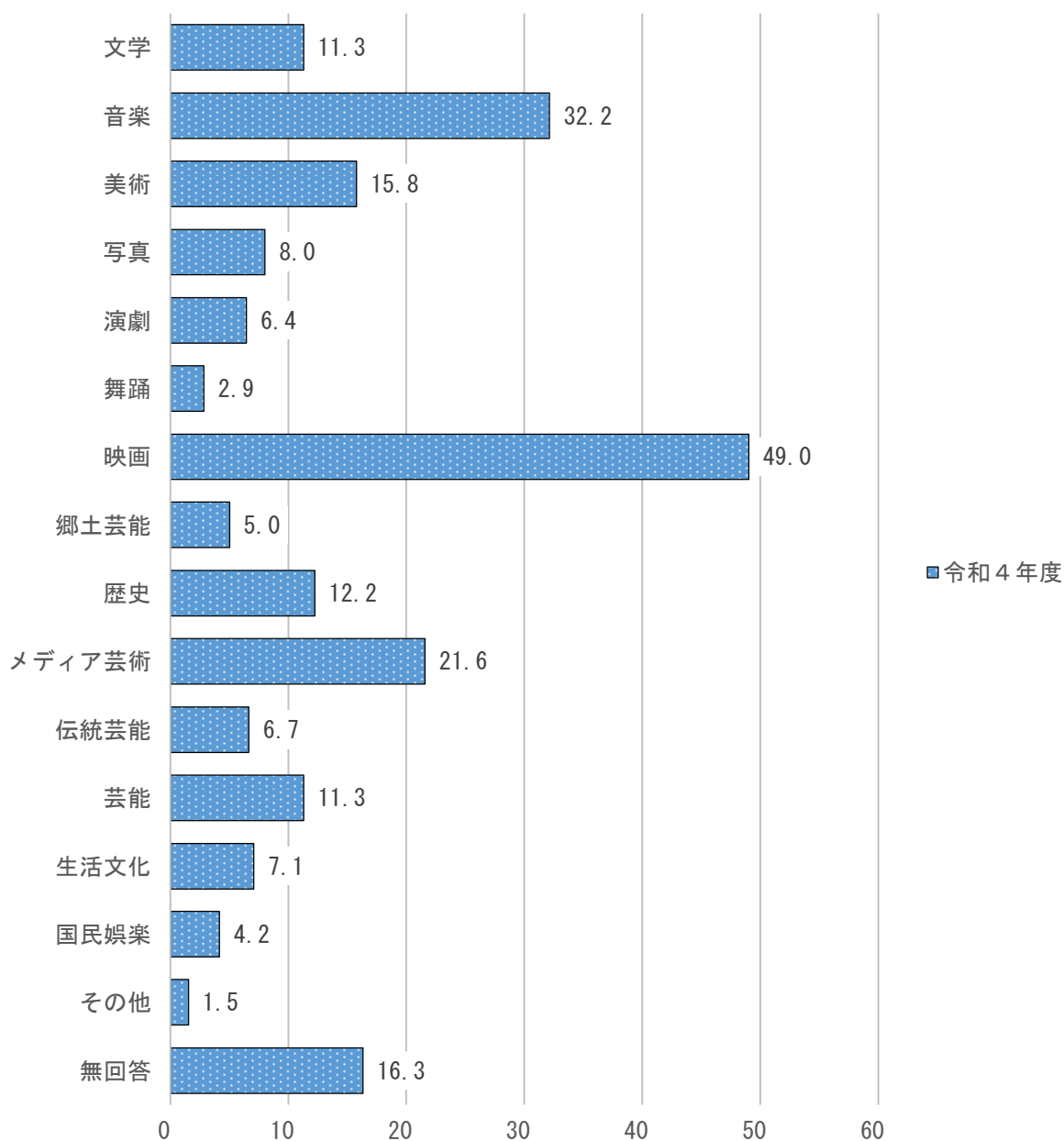
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 全国大会・国際大会などのスポーツイベントの誘致によるスポーツツーリズムの推進	435	19.7%	404	18.6%	1,049	25.1%
(2) 国内外のトップアスリートをはじめとした各種スポーツ合宿・キャンプの誘致	305	13.8%	322	14.8%	577	13.8%
(3) 市民が利用しやすいスポーツ施設の一層の充実	1,281	58.1%	1,334	61.3%	1,658	39.7%
(4) スポーツ指導者の発掘・育成	316	14.3%	302	13.9%	892	21.4%
(5) 幅広い年代や立場の人が気軽に参加できるスポーツ大会・教室などの充実	939	42.6%	975	44.8%	2,549	61.1%
(6) その他	45	2.0%	46	2.1%	108	2.6%
無回答	160	7.3%	135	6.2%	-	-
合計	3,481	-	3,518	-	6,833	-

(4) 最近1年間で観賞した文化芸術

問29 最近1年くらいの中に、あなたが鑑賞した文化芸術はどのようなものですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

文化芸術分野において最近1年間で観賞したものは、「映画」が49.0%と最も多く、次いで「音楽」32.2%、「メディア芸術」21.6%となっています。

(%)

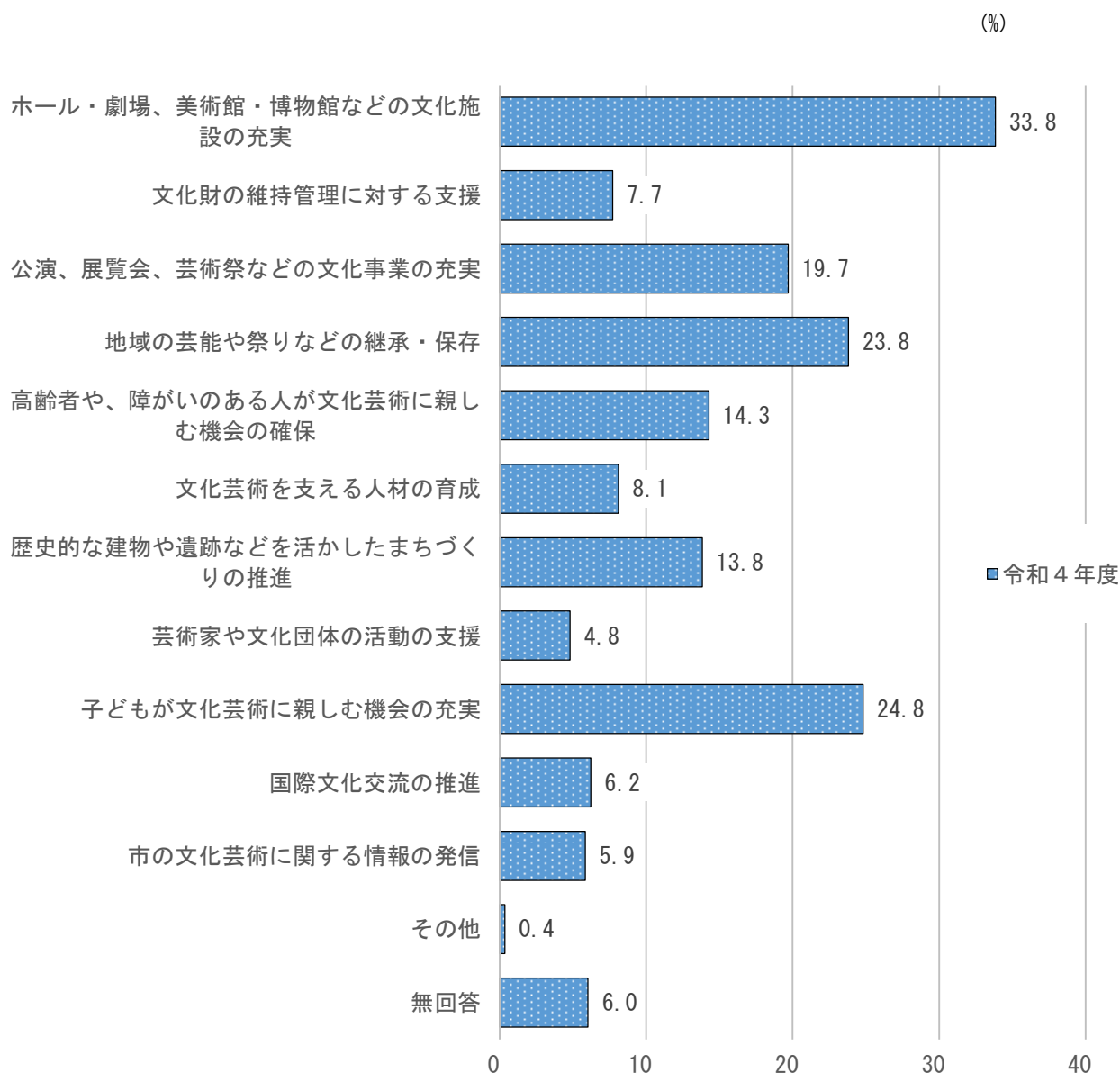


選択項目	令和4年度	
	人数	構成比
(1) 文学	249	11.3%
(2) 音楽	709	32.2%
(3) 美術	348	15.8%
(4) 写真	177	8.0%
(5) 演劇	142	6.4%
(6) 舞踊	63	2.9%
(7) 映画	1,081	49.0%
(8) 郷土芸能	111	5.0%
(9) 歴史	270	12.2%
(10) メディア芸術（漫画、アニメーション、コンピューターその他の電子機器等を利用した芸術）	476	21.6%
(11) 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊その他の我が国古来の伝統的な芸能）	147	6.7%
(12) 芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能 ※伝統芸能を除く。）	249	11.3%
(13) 生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）	156	7.1%
(14) 国民娯楽（囲碁、将棋その他の国民的娯楽）	92	4.2%
(15) その他	34	1.5%
無回答	360	16.3%
合計	4,664	-

(5) 文化芸術振興で力を入れるべきこと

問30 あなたは、文化芸術の振興を進めるうえで、どのようなことに力を入れるべきであるとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

文化芸術振興を進めるうえで力を入れるべきことは、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」が33.8%と最も多く、次いで「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」24.8%、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」23.8%となっています。



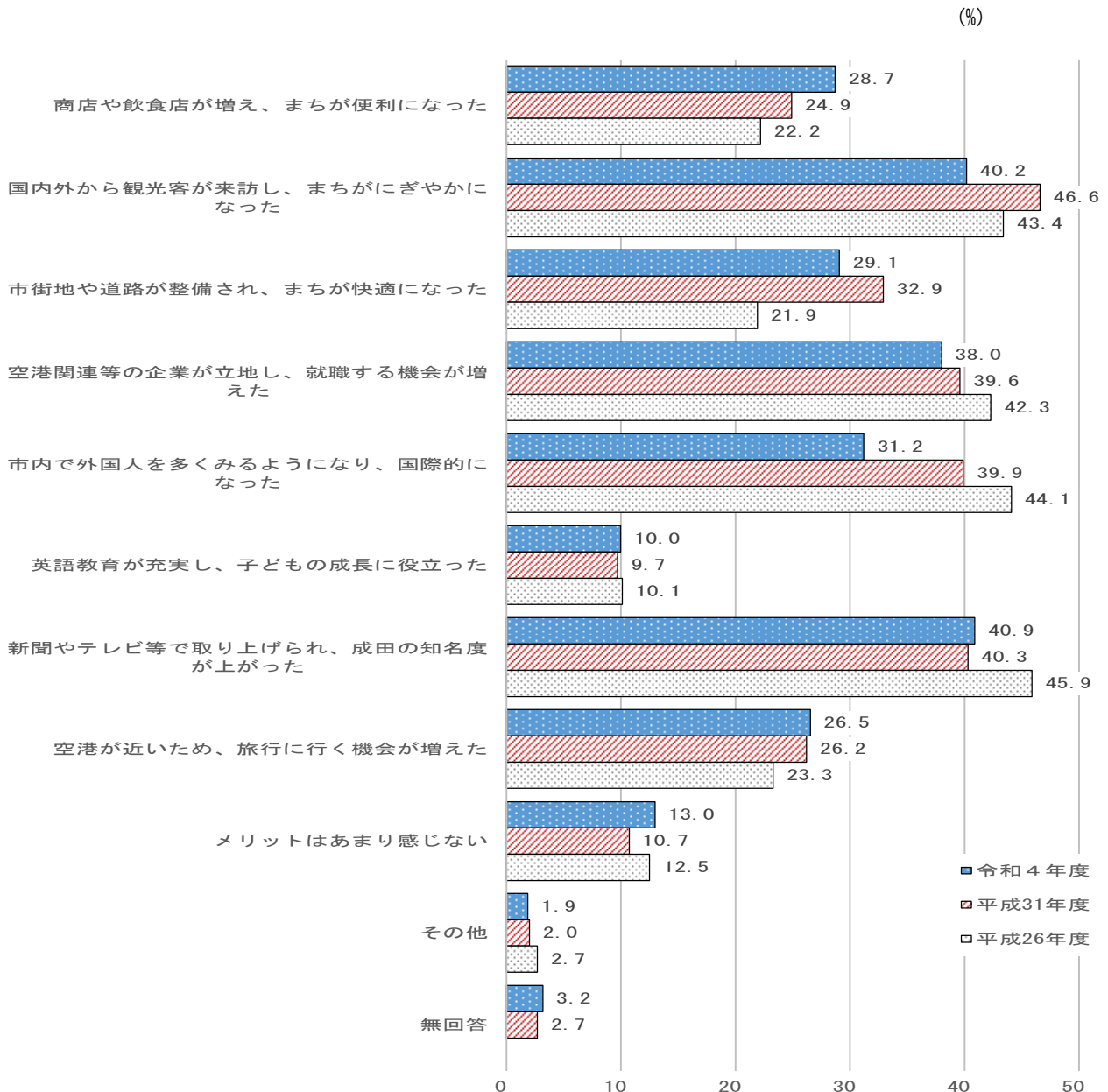
選択項目	令和4年度	
	人数	構成比
(1) ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	746	33.8%
(2) 文化財の維持管理に対する支援	170	7.7%
(3) 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	434	19.7%
(4) 地域の芸能や祭りなどの継承・保存	525	23.8%
(5) 高齢者や、障がいのある人が文化芸術に親しむ機会の確保	315	14.3%
(6) 文化芸術を支える人材の育成	179	8.1%
(7) 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	305	13.8%
(8) 芸術家や文化団体の活動の支援	106	4.8%
(9) 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	547	24.8%
(10) 国際文化交流の推進	137	6.2%
(11) 市の文化芸術に関する情報の発信	129	5.9%
(12) その他	8	0.4%
無回答	133	6.0%
合計	3,734	-

【d 空港・都市基盤について】

(1) 成田空港が立地するメリット

問31 成田空港が立地することについて、どのようなメリットがあると思いますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

成田空港が立地することのメリットは、「新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった」が40.9%と最も多く、次いで「国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった」40.2%、「空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた」38.0%となっています。経年比較では、「国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった」「市内で外国人を多くみるようになり、国際的になった」がコロナ禍の影響か、減少傾向となっています。



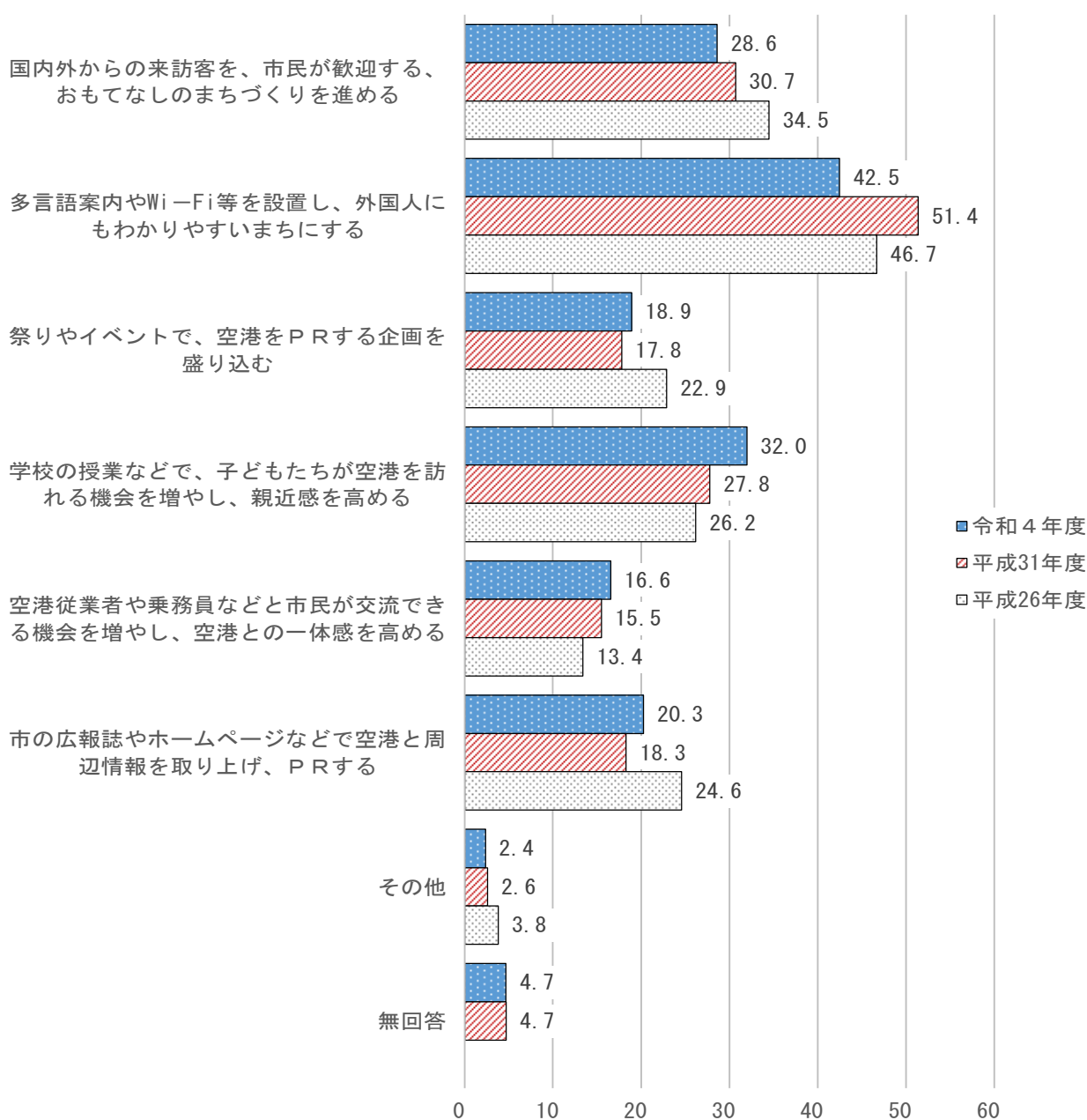
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 商店や飲食店が増え、まちが便利になった	633	28.7%	542	24.9%	961	22.2%
(2) 国内外から観光客が来訪し、まちがにぎやかになった	886	40.2%	1,013	46.6%	1,877	43.4%
(3) 市街地や道路が整備され、まちが快適になった	641	29.1%	716	32.9%	948	21.9%
(4) 空港関連等の企業が立地し、就職する機会が増えた	838	38.0%	862	39.6%	1,828	42.3%
(5) 市内で外国人を多くみるようになり、国際的になった	688	31.2%	868	39.9%	1,904	44.1%
(6) 英語教育が充実し、子どもの成長に役立った	220	10.0%	210	9.7%	435	10.1%
(7) 新聞やテレビ等で取り上げられ、成田の知名度が上がった	902	40.9%	877	40.3%	1,983	45.9%
(8) 空港が近いため、旅行に行く機会が増えた	585	26.5%	571	26.2%	1,006	23.3%
(9) メリットはあまり感じない	286	13.0%	232	10.7%	540	12.5%
(10) その他	41	1.9%	43	2.0%	116	2.7%
無回答	70	3.2%	58	2.7%	-	-
合計	5,790	-	5,992	-	11,598	-

(2) 成田空港の魅力を高め地域で支えるための取り組み

問32 成田空港の魅力を高め、地域で支えていくためには、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

成田空港の魅力を高め、地域で支えていくための望ましい取り組みは、「多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする」が42.5%と最も多く、次いで「学校の授業などで、子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、親近感を高める」32.0%、「国内外からの来訪客を、市民が歓迎する、おもてなしのまちづくりを進める」28.6%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

(%)



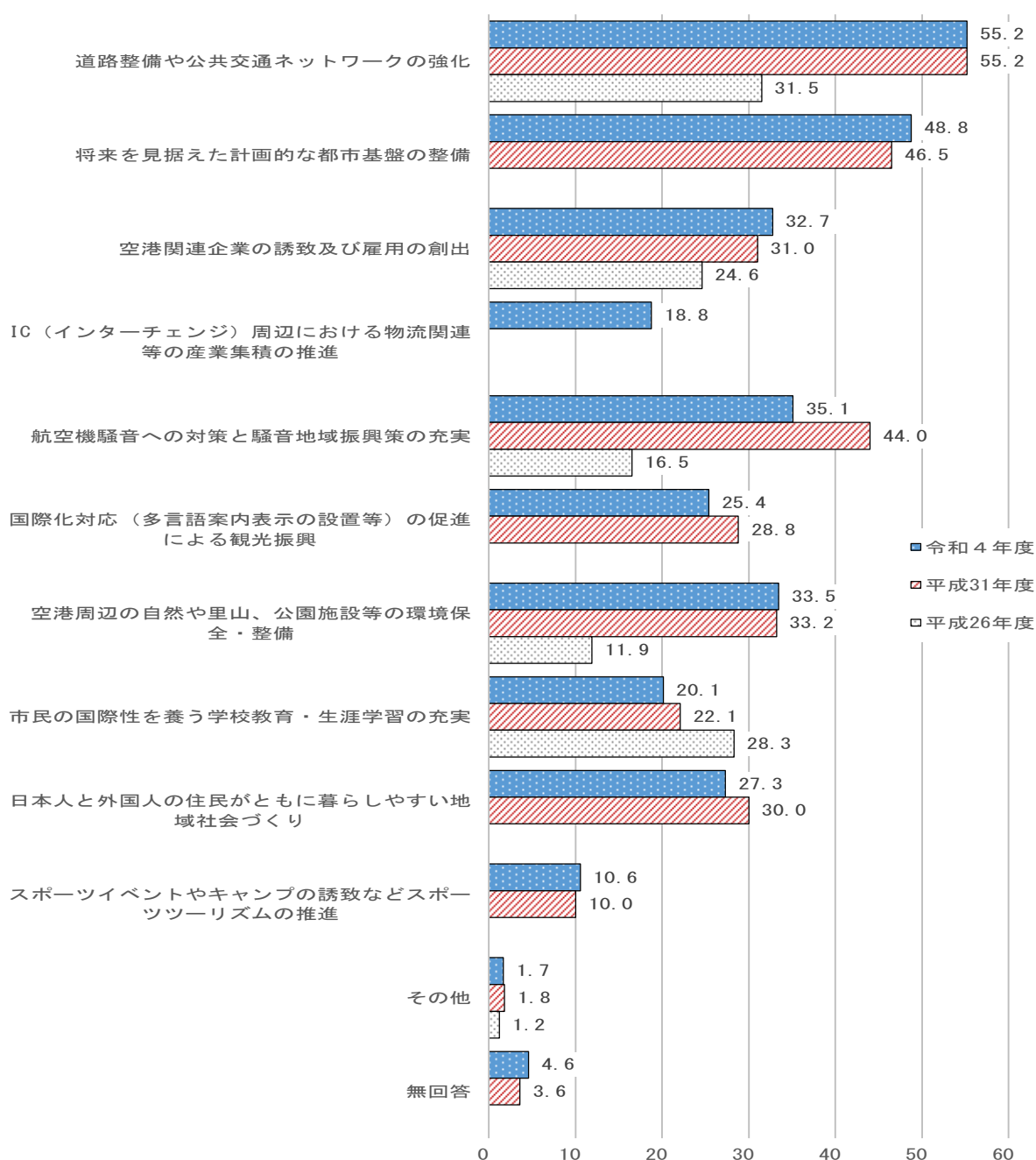
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 国内外からの来訪客を、市民が歓迎する、おもてなしのまちづくりを進める	631	28.6%	668	30.7%	1,439	34.5%
(2) 多言語案内やWi-Fi等を設置し、外国人にもわかりやすいまちにする	937	42.5%	1,119	51.4%	1,950	46.7%
(3) 祭りやイベントで、空港をPRする企画を盛り込む	417	18.9%	387	17.8%	955	22.9%
(4) 学校の授業などで、子どもたちが空港を訪れる機会を増やし、親近感を高める	705	32.0%	605	27.8%	1,092	26.2%
(5) 空港従業者や乗務員などと市民が交流できる機会を増やし、空港との一体感を高める	365	16.6%	338	15.5%	561	13.4%
(6) 市の広報誌やホームページなどで空港と周辺情報を取り上げ、PRする	447	20.3%	399	18.3%	1,028	24.6%
(7) その他	52	2.4%	56	2.6%	159	3.8%
無回答	103	4.7%	102	4.7%	-	-
合計	3,657	-	3,674	-	7,184	-

(3) 空港を活かしたまちづくりで重要なこと

問33 成田空港では、新たな滑走路の建設を含めた更なる機能強化が進められていますが、空港を活かしたまちづくりを進めるうえで、今後どのような取り組みが重要になると思いますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

空港を活かしたまちづくりで重要な取り組みは、「道路整備や公共交通ネットワークの強化」が55.2%と最も多く、次いで「将来を見据えた計画的な都市基盤の整備」48.8%、「航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実」35.1%となっています。経年比較では、「航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実」の減少幅がやや大きくなっています。

(%)



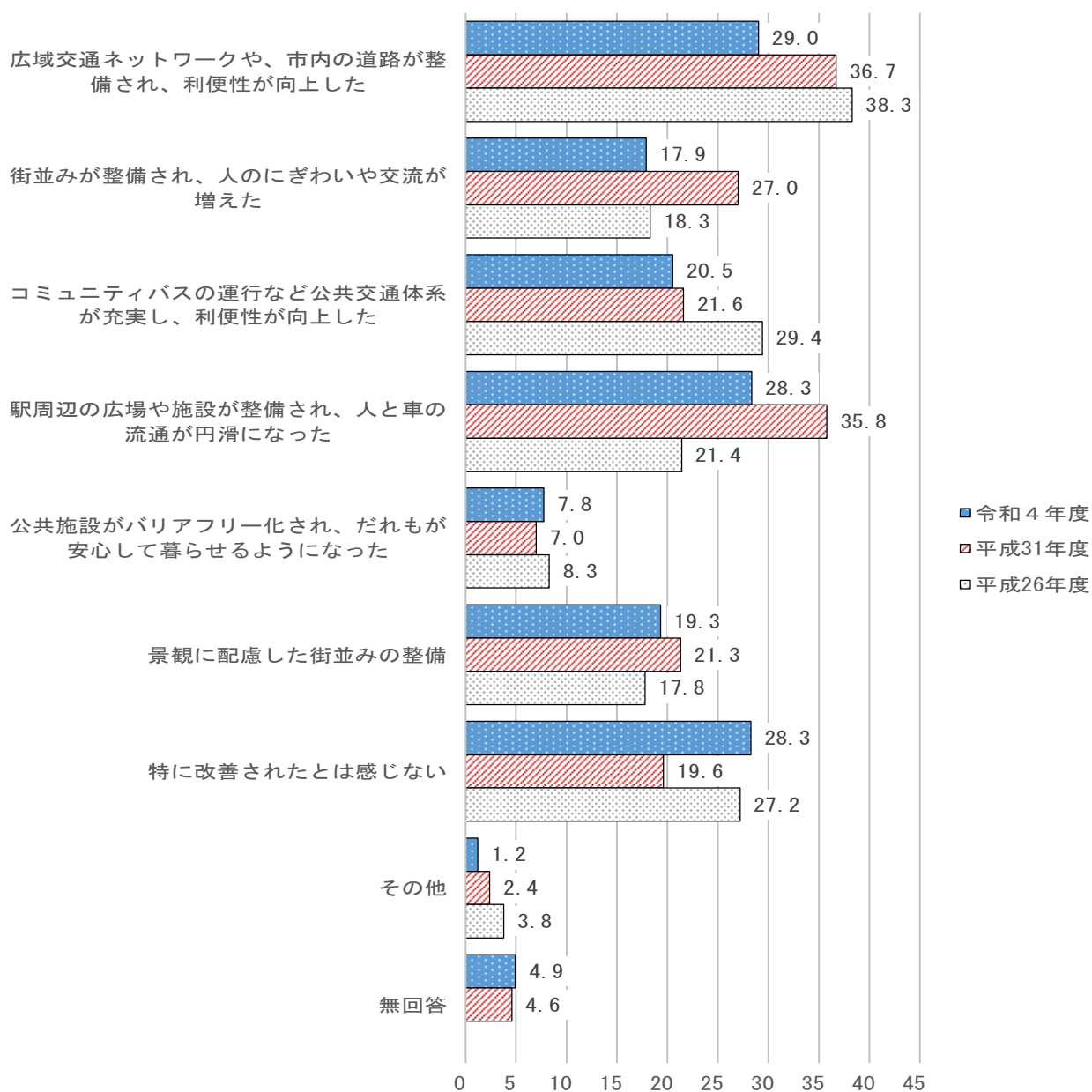
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 道路整備や公共交通ネットワークの強化	1,217	55.2%	1,201	55.2%	1,330	31.5%
(2) 将来を見据えた計画的な都市基盤の整備	1,075	48.8%	1,012	46.5%	-	-
(3) 空港関連企業の誘致及び雇用の創出	722	32.7%	675	31.0%	1,040	24.6%
(4) IC（インターチェンジ）周辺における物流関連等の産業集積の推進	414	18.8%	-	-	-	-
(5) 航空機騒音への対策と騒音地域振興策の充実	774	35.1%	957	44.0%	695	16.5%
(6) 国際化対応（多言語案内表示の設置等）の促進による観光振興	560	25.4%	626	28.8%	-	-
(7) 空港周辺の自然や里山、公園施設等の環境保全・整備	738	33.5%	722	33.2%	504	11.9%
(8) 市民の国際性を養う学校教育・生涯学習の充実	444	20.1%	481	22.1%	1,194	28.3%
(9) 日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい地域社会づくり	602	27.3%	653	30.0%	-	-
(10) スポーツイベントやキャンプの誘致などスポーツツーリズムの推進	233	10.6%	218	10.0%	-	-
(11) その他	37	1.7%	40	1.8%	52	1.2%
無回答	101	4.6%	79	3.6%	-	-
合計	6,917	-	6,614	-	4,815	-

(4) 都市基盤で改善されたと感じるもの

問34 あなたが成田市内における都市基盤について、以前と比べて改善されていると感じているものはどれですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

改善されていると感じる都市基盤は、「広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した」が29.0%と最も多く、次いで「駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった」「特に改善されたと感じない」がともに28.3%となっています。経年比較では、減少した項目が多い一方、「特に改善されたと感じない」が増加しています。

(%)

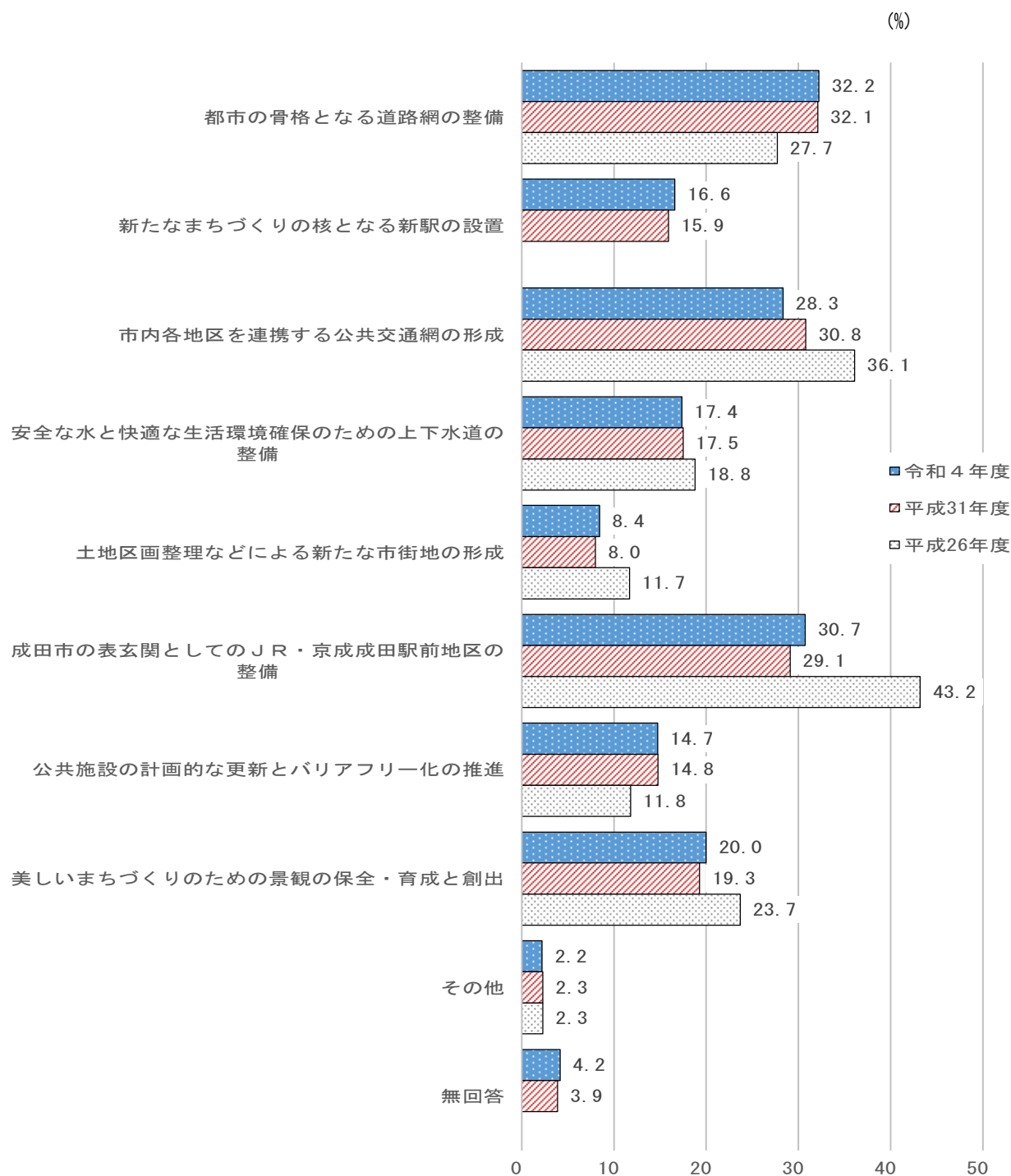


選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 広域交通ネットワークや、市内の道路が整備され、利便性が向上した	640	29.0%	799	36.7%	1,633	38.3%
(2) 街並みが整備され、人のにぎわいや交流が増えた	395	17.9%	587	27.0%	782	18.3%
(3) コミュニティバスの運行など公共交通体系が充実し、利便性が向上した	453	20.5%	469	21.6%	1,256	29.4%
(4) 駅周辺の広場や施設が整備され、人と車の流通が円滑になった	625	28.3%	779	35.8%	914	21.4%
(5) 公共施設がバリアフリー化され、だれもが安心して暮らせるようになった	171	7.8%	152	7.0%	353	8.3%
(6) 景観に配慮した街並みの整備	426	19.3%	464	21.3%	760	17.8%
(7) 特に改善されたとは感じない	623	28.3%	427	19.6%	1,160	27.2%
(8) その他	27	1.2%	53	2.4%	163	3.8%
無回答	109	4.9%	100	4.6%	-	-
合計	3,469	-	3,830	-	7,021	-

(5) 都市基盤の充実に望ましい取り組み

問35 成田市の都市基盤を充実させるために、どのような取り組みが望ましいとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

都市基盤を充実させるための望ましい取り組みは、「都市の骨格となる道路網の整備」が32.2%と最も多く、次いで「成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備」30.7%、「市内各地区を連携する公共交通網の形成」28.3%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 都市の骨格となる道路網の整備	711	32.2%	698	32.1%	1,170	27.7%
(2) 新たなまちづくりの核となる新駅の設置	366	16.6%	345	15.9%	-	-
(3) 市内各地区を連携する公共交通網の形成	625	28.3%	670	30.8%	1,522	36.1%
(4) 安全な水と快適な生活環境確保のための上下水道の整備	383	17.4%	381	17.5%	794	18.8%
(5) 土地区画整理などによる新たな市街地の形成	186	8.4%	173	8.0%	493	11.7%
(6) 成田市の表玄関としてのJR・京成成田駅前地区の整備	678	30.7%	633	29.1%	1,823	43.2%
(7) 公共施設の計画的な更新とバリアフリー化の推進	325	14.7%	321	14.8%	499	11.8%
(8) 美しいまちづくりのための景観の保全・育成と創出	441	20.0%	419	19.3%	1,000	23.7%
(9) その他	49	2.2%	51	2.3%	98	2.3%
無回答	92	4.2%	84	3.9%	-	-
合計	3,856	-	3,775	-	7,399	-

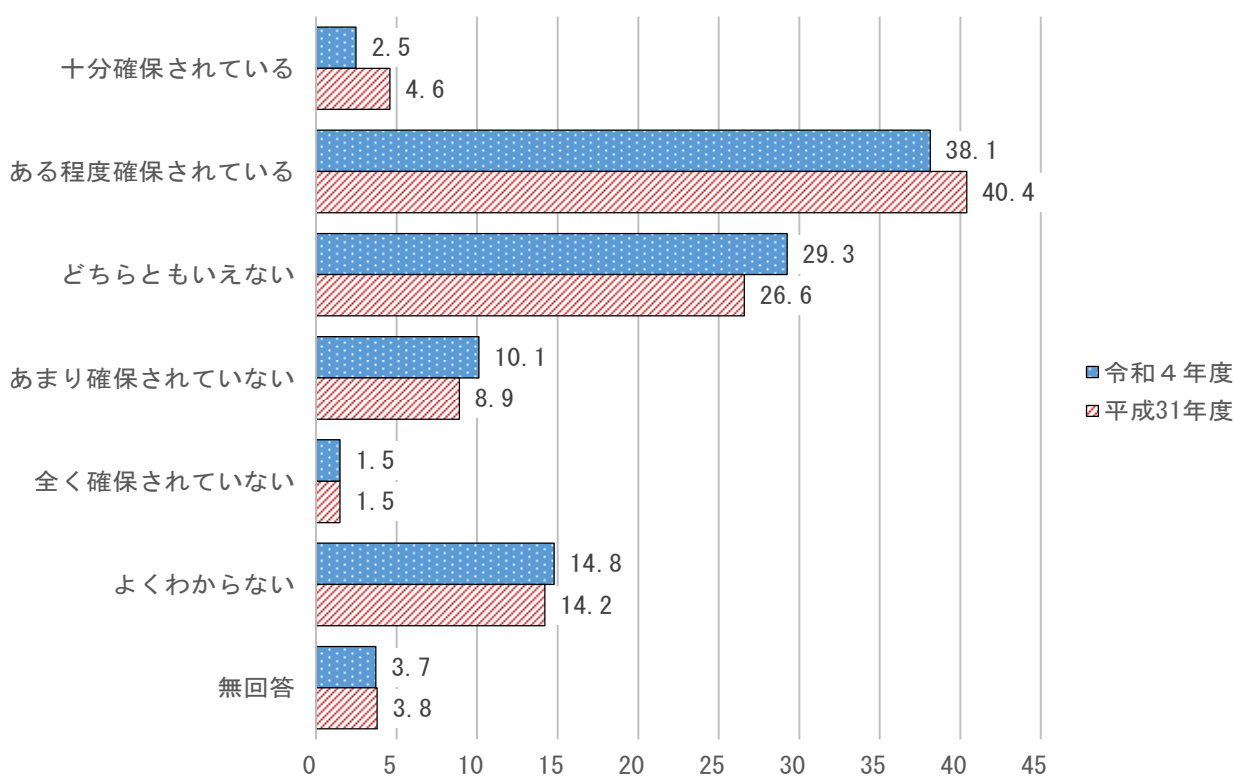
【e 産業振興について】

(1) 雇用の場の確保

問36 成田市には、「雇用の場」は確保されていると思いますか。あてはまる番号を一つだけ○で囲んでください。

成田市内に「雇用の場」が確保されていると思うかは、「ある程度確保されている」が38.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」29.3%、「よくわからない」14.8%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

(%)



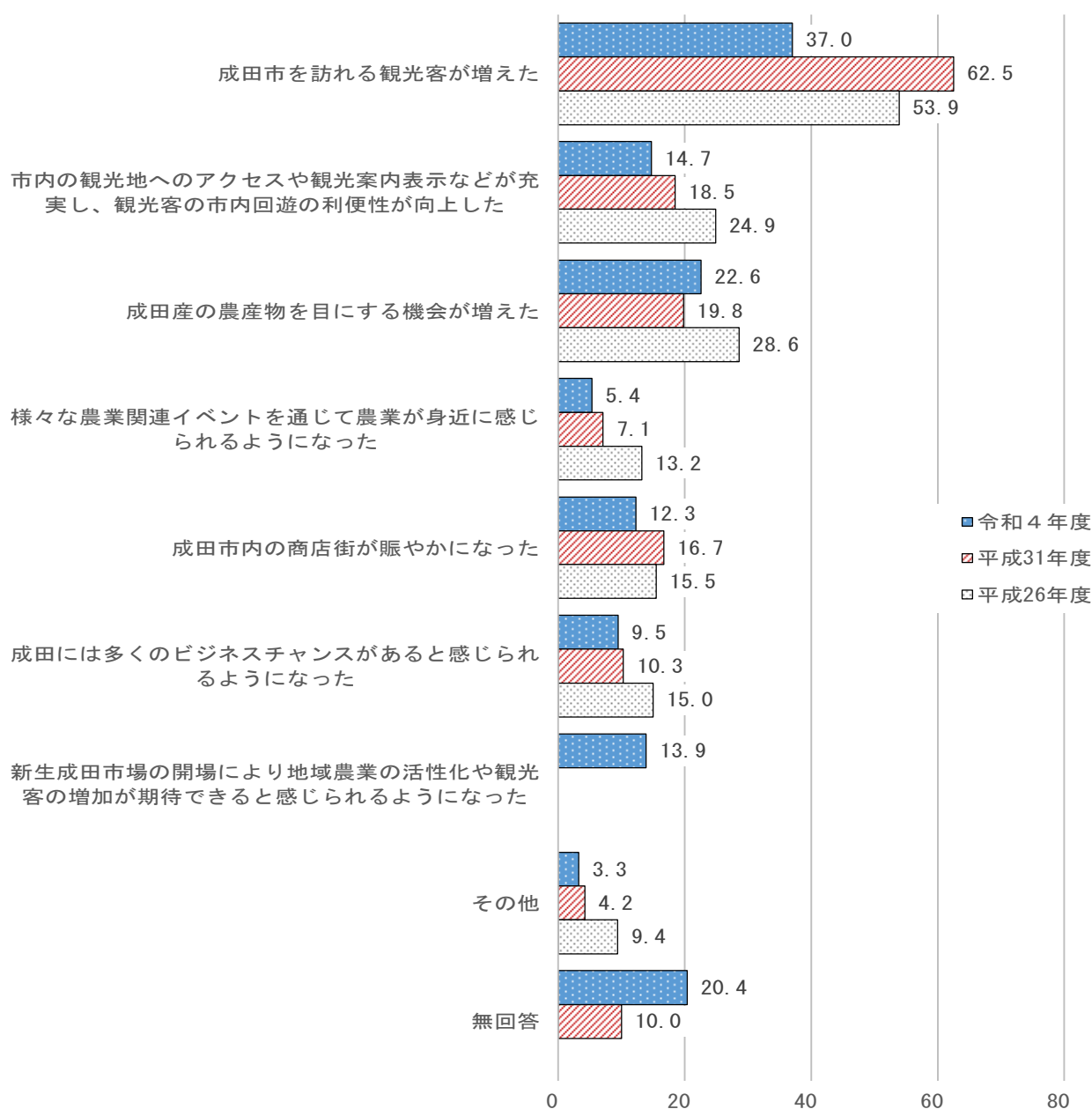
選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 十分に確保されている	55	2.5%	100	4.6%
(2) ある程度確保されている	841	38.1%	879	40.4%
(3) どちらともいえない	645	29.3%	579	26.6%
(4) あまり確保されていない	223	10.1%	193	8.9%
(5) 全く確保されていない	33	1.5%	33	1.5%
(6) よくわからない	326	14.8%	310	14.2%
無回答	82	3.7%	82	3.8%
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%

(2) 各産業の状況

問37 あなたは、成田市の各産業（観光業、農林水産業、商工業）の状況について、どのように感じていますか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください

各産業（観光業、農林水産業、商工業）の状況について感じていることは、「成田市を訪れる観光客が増えた」が37.0%と最も多く、次いで「成田産の農産物を目にする機会が増えた」22.6%、「市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した」14.7%となっています。経年比較では、コロナ禍の影響からか、「成田市を訪れる観光客が増えた」の減少幅が大きくなっています。

(%)



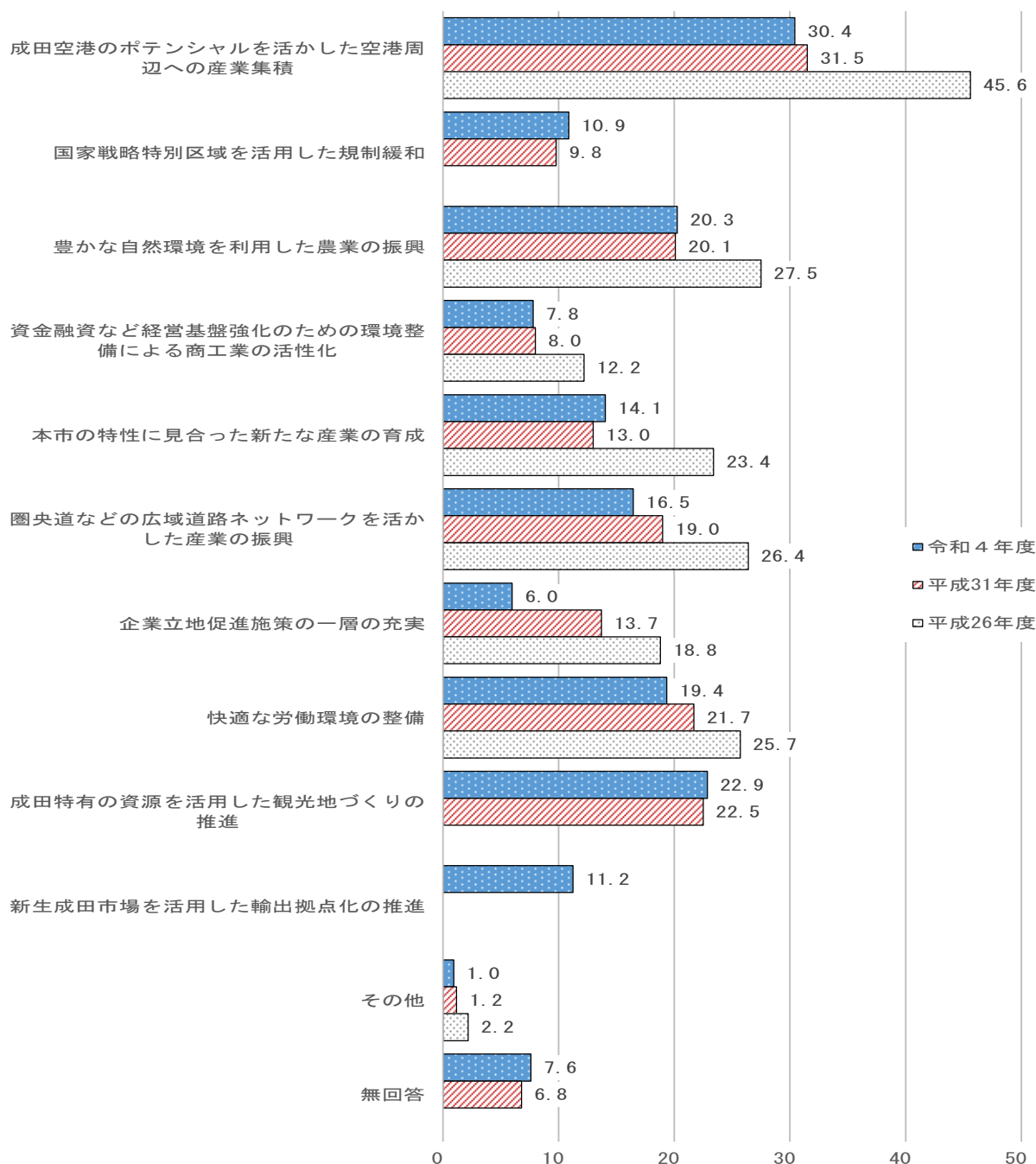
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 成田市を訪れる観光客が増えた	816	37.0%	1,361	62.5%	2,176	53.9%
(2) 市内の観光地へのアクセスや観光案内表示などが充実し、観光客の市内回遊の利便性が向上した	325	14.7%	403	18.5%	1,005	24.9%
(3) 成田産の農産物を目にする機会が増えた	498	22.6%	431	19.8%	1,152	28.6%
(4) 様々な農業関連イベントを通じて農業が身近に感じられるようになった	118	5.4%	154	7.1%	534	13.2%
(5) 成田市内の商店街が賑やかになった	271	12.3%	364	16.7%	627	15.5%
(6) 成田には多くのビジネスチャンスがあると感じられるようになった	209	9.5%	225	10.3%	607	15.0%
(7) 新生成田市場の開場により地域農業の活性化や観光客の増加が期待できると感じられるようになった	307	13.9%	-	-	-	-
(8) その他	72	3.3%	92	4.2%	378	9.4%
無回答	450	20.4%	217	10.0%	-	-
合計	3,066	-	3,247	-	6,479	-

(3) 産業振興で力を入れるべきこと

問38 成田市の産業振興のために、どのようなことに力を入れていくべきとお考えですか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

産業振興のために力を入れていくべきことは、「成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積」が30.4%と最も多く、次いで「成田特有の資源を活用した観光地づくりの推進」22.9%、「豊かな自然環境を利用した農業の振興」20.3%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

(%)



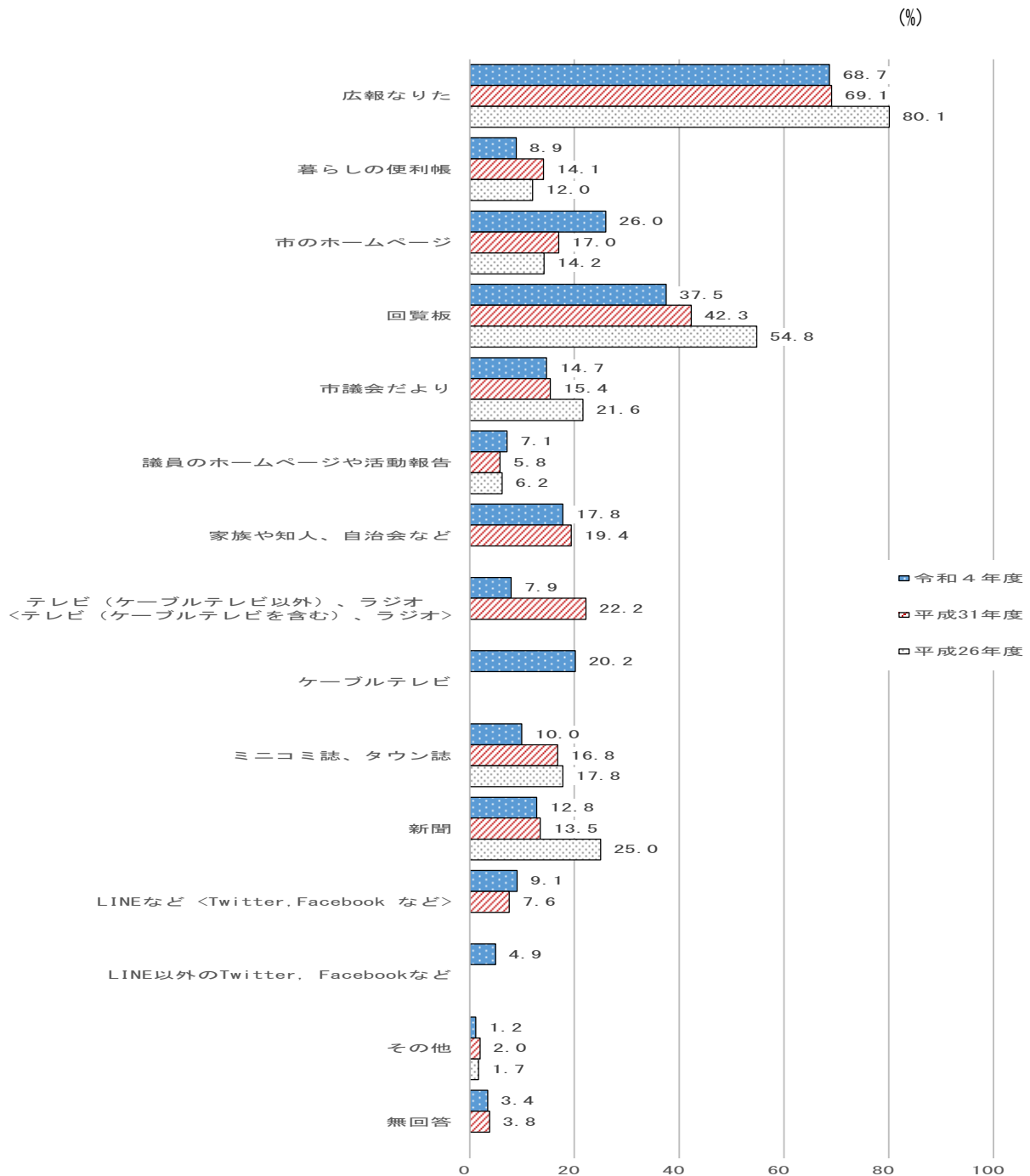
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 成田空港のポテンシャルを活かした空港周辺への産業集積	671	30.4%	685	31.5%	1,840	45.6%
(2) 国家戦略特別区域を活用した規制緩和	240	10.9%	213	9.8%	-	-
(3) 豊かな自然環境を利用した農業の振興	447	20.3%	438	20.1%	1,109	27.5%
(4) 資金融資など経営基盤強化のための環境整備による商工業の活性化	172	7.8%	173	8.0%	494	12.2%
(5) 本市の特性に見合った新たな産業の育成	310	14.1%	283	13.0%	943	23.4%
(6) 圏央道などの広域道路ネットワークを活かした産業の振興	363	16.5%	413	19.0%	,1064	26.4%
(7) 企業立地促進施策の一層の充実	132	6.0%	299	13.7%	758	18.8%
(8) 快適な労働環境の整備	427	19.4%	472	21.7%	1,037	25.7%
(9) 成田特有の資源を活用した観光地づくりの推進	504	22.9%	489	22.5%	-	-
(10) 新生成田市場を活用した輸出拠点化の推進	248	11.2%	-	-	-	-
(11) その他	21	1.0%	26	1.2%	88	2.2%
無回答	168	7.6%	147	6.8%	-	-
合計	3,703	-	3,638	-	6,269	-

【f 自治体経営について】

(1) 成田市に関する情報の入手手段

問39 あなたは、成田市に関する情報を何によって知ることが多いですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

成田市に関する情報の入手手段は、「広報なりた」が68.7%と最も多く、次いで「回覧板」37.5%、「市のホームページ」26.0%となっています。経年比較では、「市のホームページ」が増加傾向にあります。

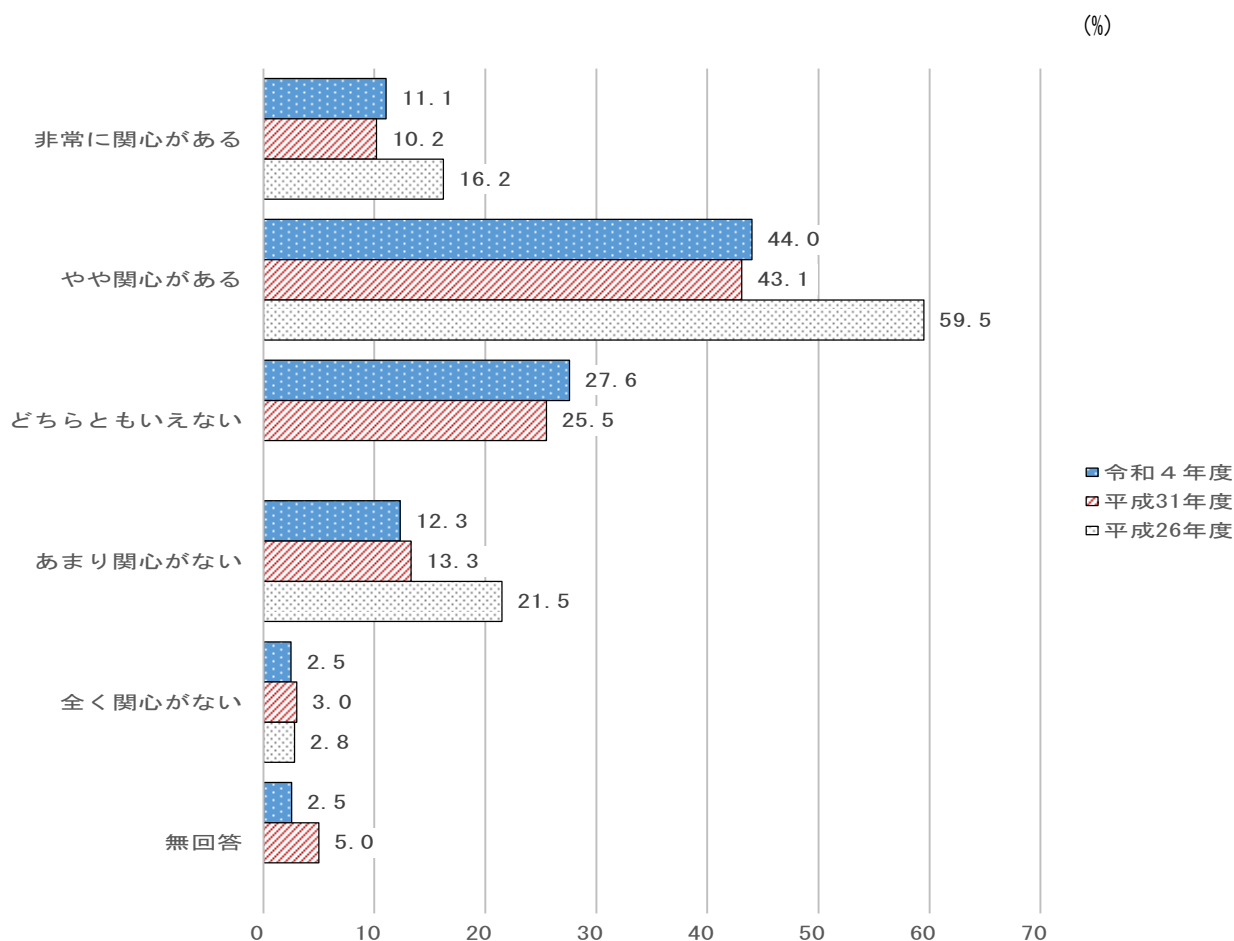


選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 広報なりた	1,514	68.7%	1,503	69.1%	3,510	80.1%
(2) 暮らしの便利帳	196	8.9%	307	14.1%	524	12.0%
(3) 市のホームページ	573	26.0%	369	17.0%	621	14.2%
(4) 回覧板	827	37.5%	921	42.3%	2,402	54.8%
(5) 市議会だより	324	14.7%	336	15.4%	946	21.6%
(6) 議員のホームページや活動報告	157	7.1%	126	5.8%	271	6.2%
(7) 家族や知人、自治会など	393	17.8%	422	19.4%	-	-
(8) テレビ（ケーブルテレビ以外）、 ラジオ〈テレビ（ケーブルテレビを 含む）、ラジオ〉	175	7.9%	483	22.2%	-	-
(9) ケーブルテレビ	445	20.2%	-	-	-	-
(10) ミニコミ誌、タウン誌	220	10.0%	366	16.8%	782	17.8%
(11) 新聞	283	12.8%	293	13.5%	1,095	25.0%
(12) LINE など（プッシュ型 SNS（ソーシ ヤル・ネットワーキング・サービ ス）） 〈Twitter, Facebook などの SNS〉	200	9.1%	166	7.6%	-	-
(13) LINE 以外の Twitter, Facebook など （プル型 SNS）	109	4.9%	-	-	-	-
(14) その他	26	1.2%	43	2.0%	74	1.7%
無回答	76	3.4%	82	3.8%	-	-
合計	5,518	-	5,417	-	10,225	-

(2) 市政に対する関心度

問40 あなたは、市政にどの程度関心をお持ちですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

市政に対する関心度は、「やや関心がある」が44.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」27.6%、「あまり関心がない」12.3%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 非常に関心がある	244	11.1%	221	10.2%	709	16.2%
(2) やや関心がある	970	44.0%	938	43.1%	2,602	59.5%
(3) どちらともいえない	608	27.6%	555	25.5%	-	-
(4) あまり関心がない	272	12.3%	289	13.3%	941	21.5%
(5) 全く関心がない	55	2.5%	65	3.0%	121	2.8%
無回答	56	2.5%	108	5.0%	-	-
合計	2,205	100.0%	2,176	100.0%	4,373	100.0%

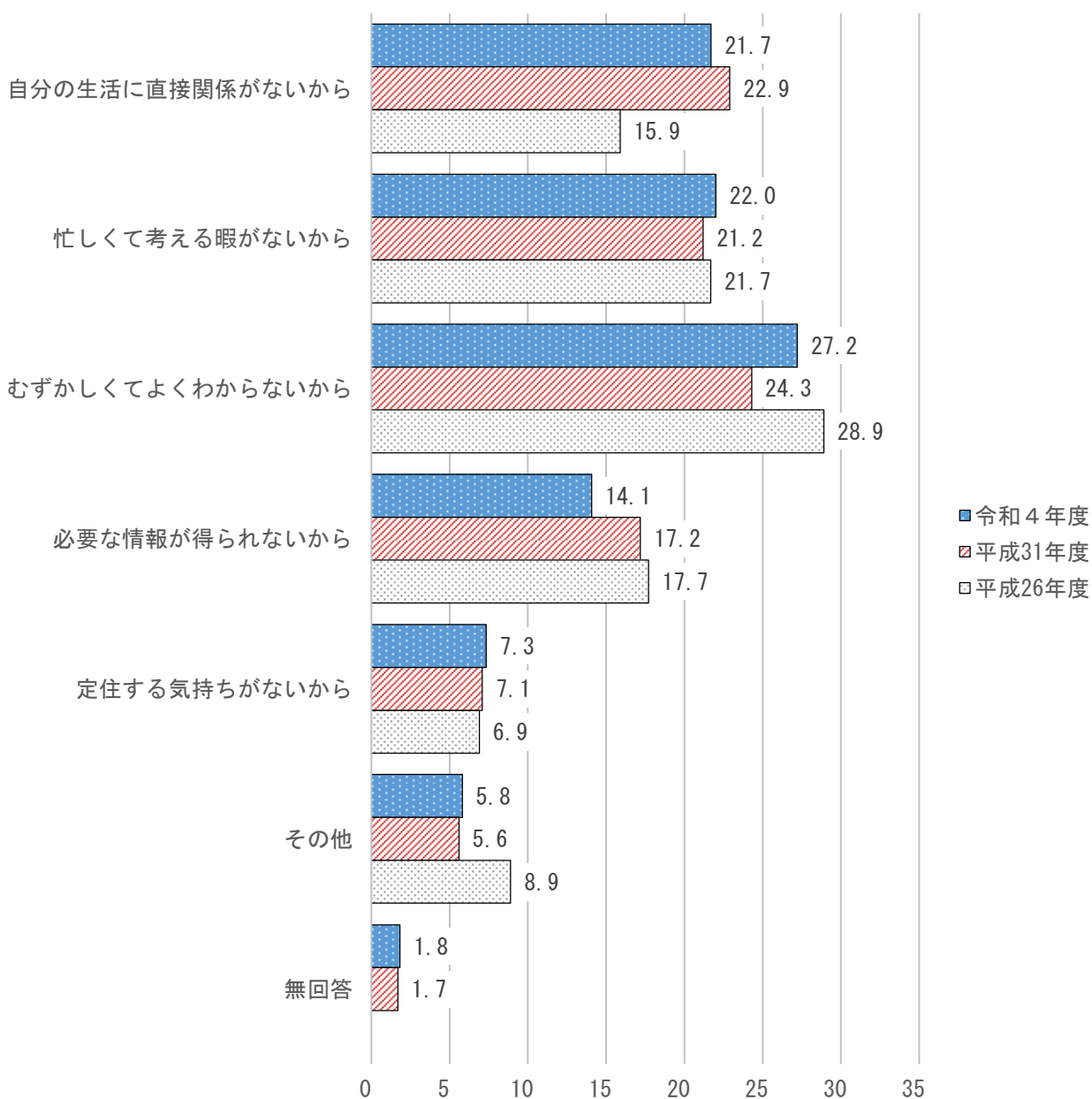
(3) 市政に関心がない理由

◆問40で「4」または「5」と答えた方におうかがいします。

問40-① その理由は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

市政に関心がない（または少ない）理由は、「むずかしくてよくわからないから」が27.2%と最も多く、次いで「忙しくて考える暇がないから」22.0%、「自分の生活に直接関係がないから」21.7%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

(%)



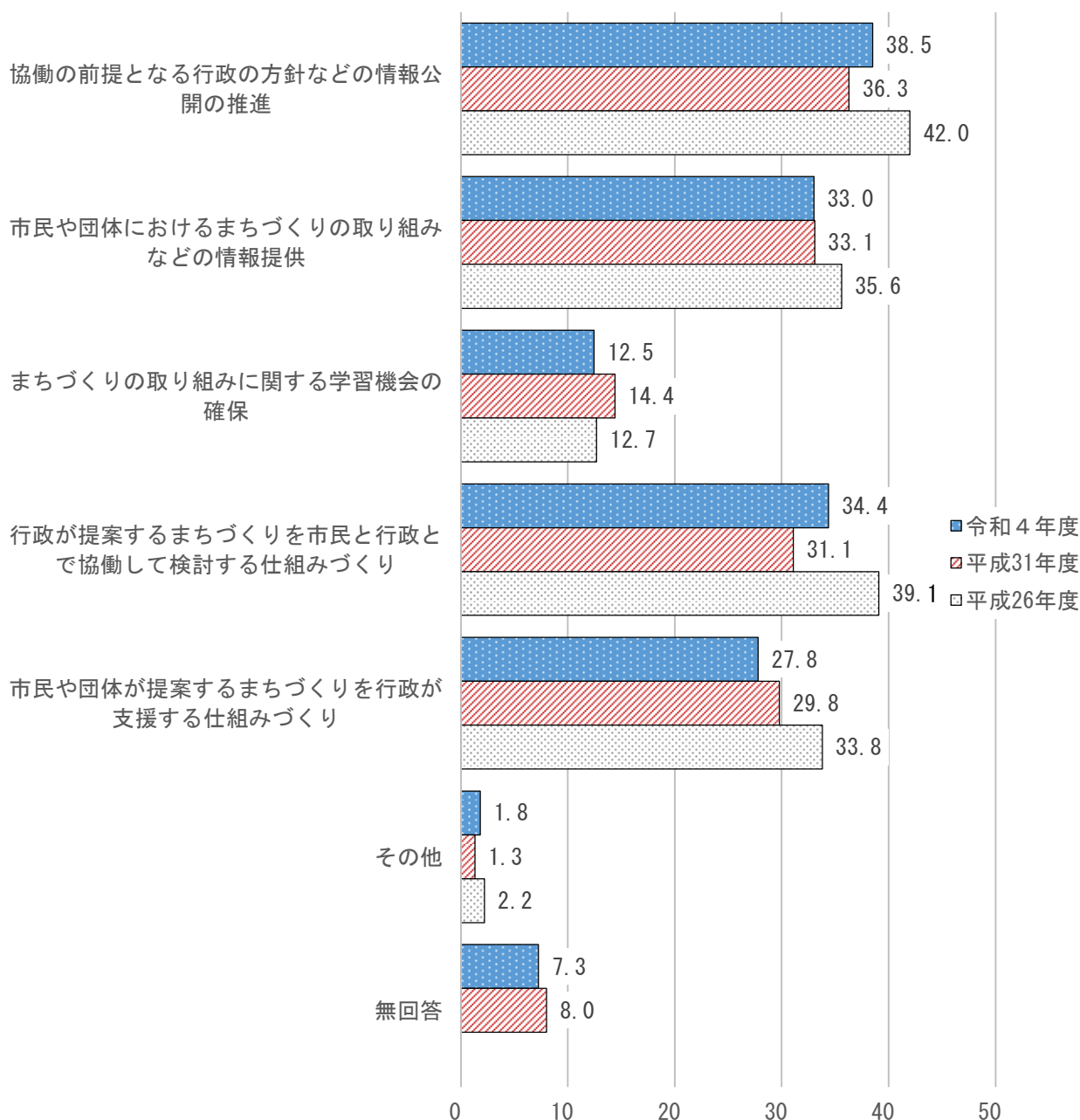
選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 自分の生活に直接関係がないから	71	21.7%	81	22.9%	162	15.9%
(2) 忙しくて考える暇がないから	72	22.0%	75	21.2%	222	21.7%
(3) むずかしくてよくわからないから	89	27.2%	86	24.3%	295	28.9%
(4) 必要な情報が得られないから	46	14.1%	61	17.2%	181	17.7%
(5) 定住する気持ちがないから	24	7.3%	25	7.1%	71	6.9%
(6) その他	19	5.8%	20	5.6%	91	8.9%
無回答	6	1.8%	6	1.7%	-	-
合計	327	100.0%	354	100.0%	2,176	100.0%

(4) 協働のまちづくりに必要な取り組み

問41 成田市では、市民と行政がともに考え行動する、協働のまちづくりを推進したいと考えています。協働のまちづくりの推進にあたって、どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

協働のまちづくりの推進にあたって必要な取り組みは、「協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進」が38.5%と最も多く、次いで「行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり」34.4%、「市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供」33.0%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。

(%)



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 協働の前提となる行政の方針などの情報公開の推進	849	38.5%	790	36.3%	1,776	42.0%
(2) 市民や団体におけるまちづくりの取り組みなどの情報提供	728	33.0%	720	33.1%	1,504	35.6%
(3) まちづくりの取り組みに関する学習機会の確保	275	12.5%	313	14.4%	535	12.7%
(4) 行政が提案するまちづくりを市民と行政とで協働して検討する仕組みづくり	758	34.4%	677	31.1%	1,653	39.1%
(5) 市民や団体が提案するまちづくりを行政が支援する仕組みづくり	613	27.8%	648	29.8%	1,426	33.8%
(6) その他	40	1.8%	28	1.3%	91	2.2%
無回答	160	7.3%	175	8.0%	-	-
合計	3,423	-	3,351	-	6,985	-

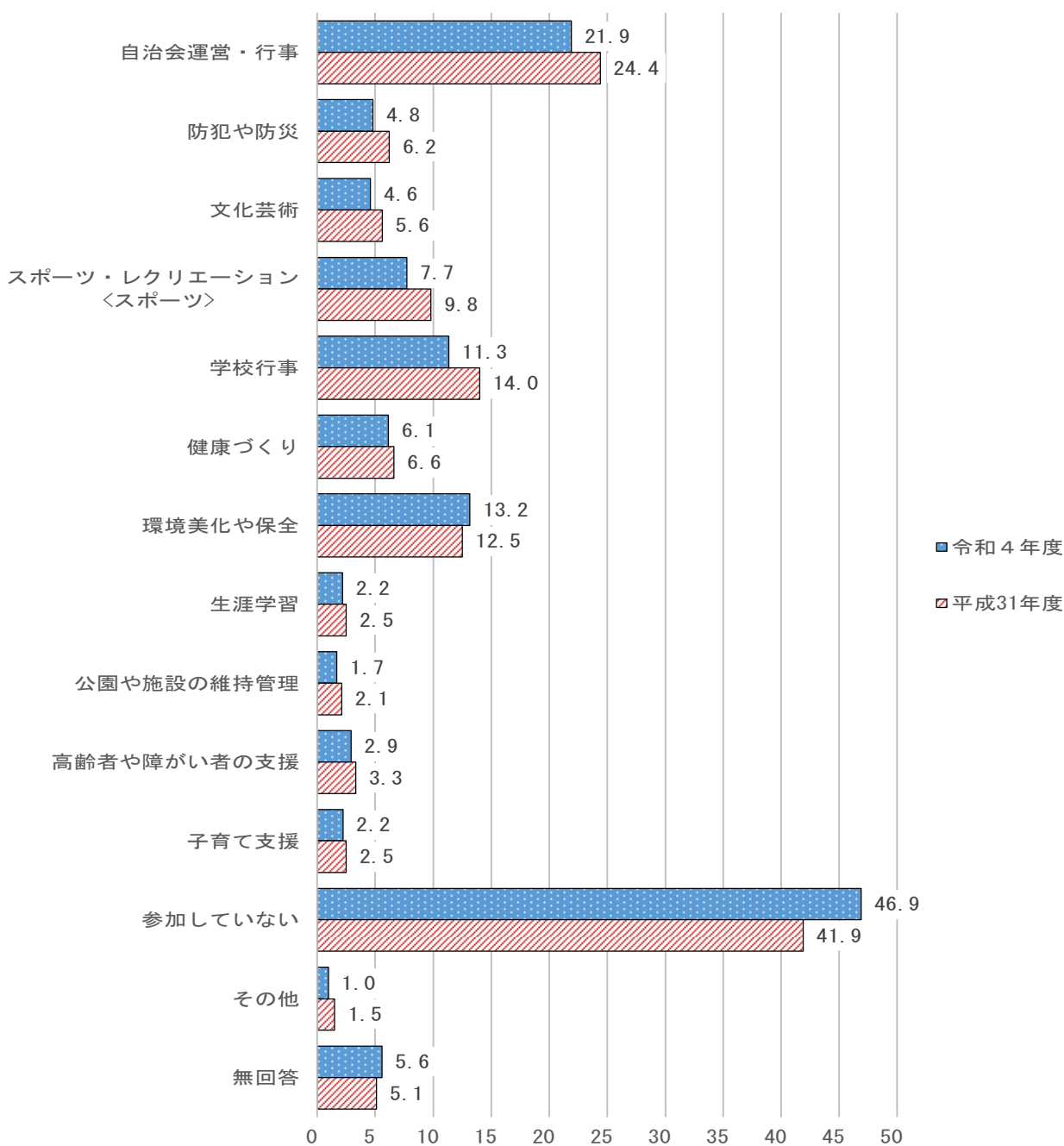
(5) 現在参加している地域活動

問42 あなたが現在参加している地域活動は何ですか。あてはまる番号すべてを○で囲んでください。

現在地域活動に「参加していない」が46.9%となっています。

「参加している」方の地域活動の種類は、「自治会運営・行事」が21.9%と最も多く、次いで「環境美化や保全」13.2%、「学校行事」11.3%となっています。経年比較では、「参加していない」がやや増加傾向にあります。

(%)

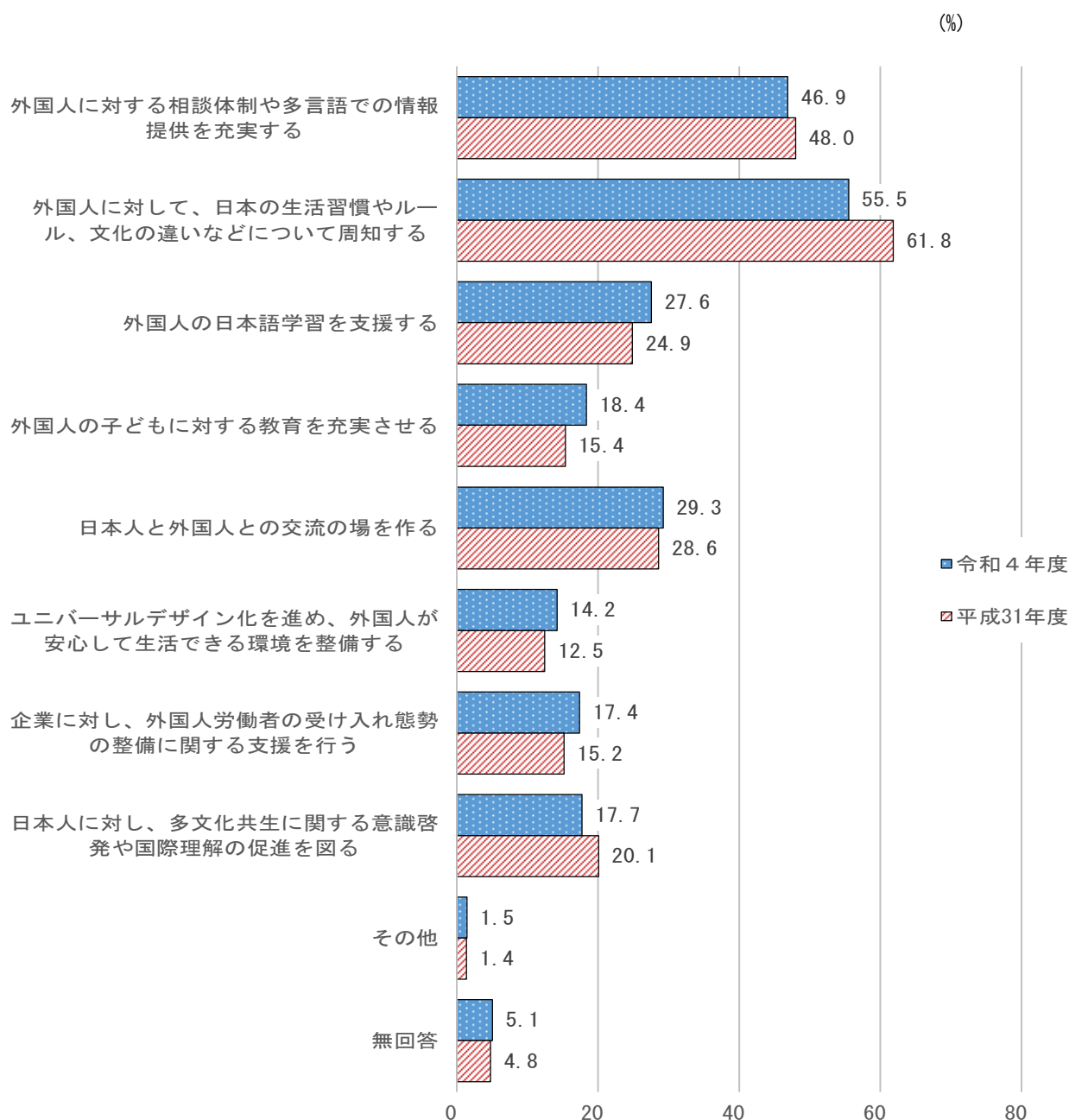


選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 自治会運営・行事	483	21.9%	532	24.4%
(2) 防犯や防災	106	4.8%	134	6.2%
(3) 文化芸術	101	4.6%	121	5.6%
(4) スポーツ・レクリエーション〈スポーツ〉	170	7.7%	214	9.8%
(5) 学校行事	250	11.3%	304	14.0%
(6) 健康づくり	135	6.1%	143	6.6%
(7) 環境美化や保全	290	13.2%	272	12.5%
(8) 生涯学習	48	2.2%	55	2.5%
(9) 公園や施設の維持管理	37	1.7%	45	2.1%
(10) 高齢者や障がい者の支援	64	2.9%	72	3.3%
(11) 子育て支援	49	2.2%	55	2.5%
(12) 参加していない	1,034	46.9%	911	41.9%
(13) その他	21	1.0%	33	1.5%
無回答	123	5.6%	112	5.1%
合計	2,911	-	3,003	-

(6) 日本人と外国人の共生社会

問43 日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号3つ以内を○で囲んでください。

日本人と外国人の住民がともに暮らしやすい社会にしていくため、行政が力を入れるべき取り組みは、「外国人に対して、日本の生活習慣やルール、文化の違いなどについて周知する」が55.5%と最も多く、次いで「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」46.9%、「日本人と外国人との交流の場を作る」29.3%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。



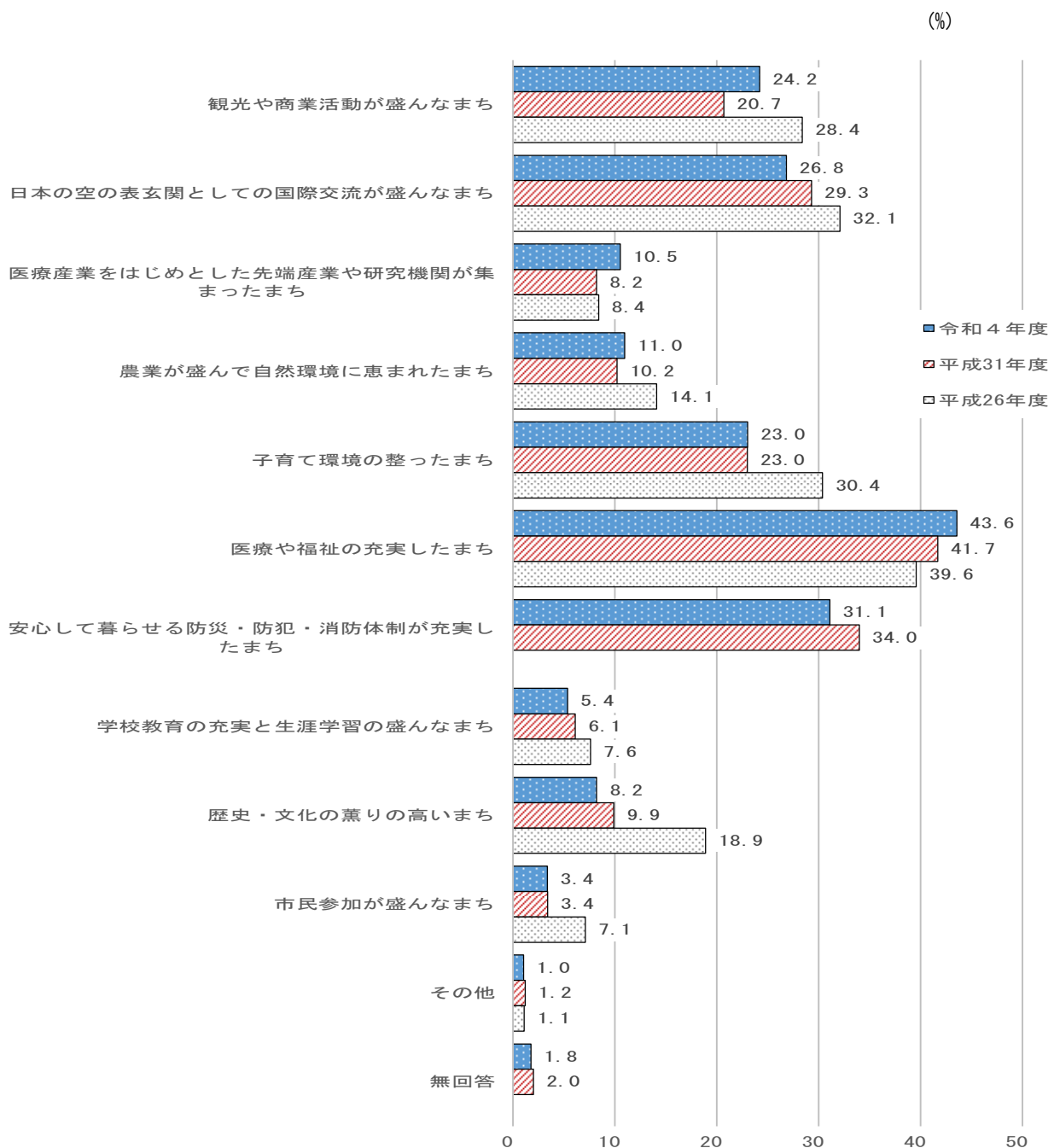
選択項目	令和4年度		平成31年度	
	人数	構成比	人数	構成比
(1) 外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する	1,034	46.9%	1,044	48.0%
(2) 外国人に対して、日本の生活習慣やルール、文化の違いなどについて周知する	1,224	55.5%	1,345	61.8%
(3) 外国人の日本語学習を支援する	608	27.6%	542	24.9%
(4) 外国人の子どもに対する教育を充実させる	406	18.4%	335	15.4%
(5) 日本人と外国人との交流の場を作る	645	29.3%	623	28.6%
(6) ユニバーサルデザイン化を進め、外国人が安心して生活できる環境を整備する	313	14.2%	271	12.5%
(7) 企業に対し、外国人労働者の受け入れ態勢の整備に関する支援を行う	384	17.4%	331	15.2%
(8) 日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解の促進を図る	391	17.7%	438	20.1%
(9) その他	32	1.5%	30	1.4%
無回答	112	5.1%	104	4.8%
合計	5,149	-	5,063	-

【g 成田市の発展方向について】

(1) 今後の成田市の方向性

問44 今後、成田市がどのようなまちになってほしいと思いますか。あてはまる番号2つ以内を○で囲んでください。

今後のまちへの希望については、「医療や福祉の充実したまち」が43.6%と最も多く、次いで「安心して暮らせる防災・防犯・消防体制が充実したまち」31.1%、「日本の空の表玄関としての国際交流が盛んなまち」26.8%となっています。経年比較では、概ね同様の傾向となっています。



選択項目	令和4年度		平成31年度		平成26年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
(1) 観光や商業活動が盛んなまち	534	24.2%	450	20.7%	1,207	28.4%
(2) 日本の空の表玄関としての国際交流が盛んなまち	592	26.8%	638	29.3%	1,367	32.1%
(3) 医療産業をはじめとした先端産業や研究機関が集まったまち	232	10.5%	179	8.2%	357	8.4%
(4) 農業が盛んで自然環境に恵まれたまち	242	11.0%	221	10.2%	600	14.1%
(5) 子育て環境の整ったまち	508	23.0%	501	23.0%	1,296	30.4%
(6) 医療や福祉の充実したまち	961	43.6%	907	41.7%	1,687	39.6%
(7) 安心して暮らせる防災・防犯・消防体制が充実したまち	686	31.1%	740	34.0%	-	-
(8) 学校教育の充実と生涯学習の盛んなまち	118	5.4%	132	6.1%	324	7.6%
(9) 歴史・文化の薫りの高いまち	181	8.2%	215	9.9%	805	18.9%
(10) 市民参加が盛んなまち	74	3.4%	74	3.4%	301	7.1%
(11) その他	23	1.0%	26	1.2%	45	1.1%
無回答	39	1.8%	43	2.0%	-	-
合計	4,190	-	4,126	-	7,989	-

